

町田の教育

2015

町田市教育委員会

目 次

【教育委員会】

1. 教育目標及び基本方針	2
2. 教育プラン	3
(1) 計画の構成	3
(2) 基本プラン	3
(3) 重点プラン	4
3. 教育委員会	6
(1) 教育委員会の委員	6
(2) 教育委員会の開催	7
(3) 2014 年度教育委員の主な活動 状況	11
(4) 教育委員会の組織と事務分掌	13
4. 教育予算	16
主な事業と予算 (2015 年度)	17

【学校教育】

1. 市立小・中学校の概要	20
(1) 学校一覧	20
(2) 学級編制	24
(3) 児童・生徒数及び学級数	24
(4) 通学区域	30
(5) 通学区域緩和制度	30
2. 教育環境	32
(1) 学校施設	32
(2) 学校図書館	38
3. 町田市の特色ある取組	40
(1) 小・中学校間の連携	40
(2) 学力向上	41
(3) 体力向上	44
(4) 防災教育	46
(5) 生活指導補助者派遣	46
(6) 科学教育センター	47
(7) 児童・生徒の文化・スポーツ活 動	48

4. 研修・研究	50
(1) 研修	50
(2) 研究	52
5. 特別支援教育	54
(1) 就学・進学相談	54
(2) 特別支援学級・特別支援教室	54
(3) 人的支援制度	57
(4) 連合行事	58
(5) 副籍制度	58
6. 教育相談等	59
(1) 教育相談	59
(2) 不登校児童・生徒支援	61
(3) まちだ JUKU	62
7. 家庭・地域と連携した学校づくり	63
(1) 学校支援地域理事・スクール ボード校	63
(2) 学校支援ボランティア	63
8. 教育のための支援	65
(1) 就学援助	65
(2) 通学費補助制度	66
(3) 校外学習への補助事業	67
(4) 奨学金制度	67
(5) 特別支援学級の就学奨励	68
9. 学校給食	69
(1) 指導目標・栄養管理・学校給食 摂取基準	69
(2) 衛生管理	70
(3) 食物アレルギー対応	71
(4) 町田市学校給食問題協議会	71
10. 学校保健	72
(1) 定期健康診断	72
(2) 学校環境衛生の確保	76
(3) 町田市学校保健会	76
(4) 日本スポーツ振興センター	76

【生涯学習】

1. 生涯学習	78
(1) 生涯学習審議会	78
(2) 社会教育委員	79
2. 歴史・文化財	80
(1) 自由民権資料館	80
(2) 考古資料室	81
(3) 文化財の保護	82
3. 生涯学習センター	87
(1) 施設概要	87
(2) 施設貸出	87
(3) 学習活動の支援	88
(4) 各種講座等の開催	91
(5) 町田市生涯学習センター運営 協議会	93
(6) 事業一覧 (2014 年度)	94
4. 図書館	100
(1) 市立図書館のあゆみ	100
(2) 市立図書館の概要	100
(3) 貸出サービス	101
(4) 移動図書館サービス	104
(5) リクエストサービス	104
(6) レファレンスサービス	105
(7) 障がい者サービス	105
(8) 視聴覚サービス	106
(9) 児童サービス	106
(10) ヤングアダルトサービス	106
(11) ホームページ上でのサービス	106
(12) 相互利用サービス	107
(13) 行事	107
(14) 町田市立図書館協議会	109
(15) 町田市子ども読書活動推進計 画	109
(16) 町田市子ども読書活動推進計 画推進会議	109

5. 町田市民文学館	110
(1) 施設概要	110
(2) 施設内容	110
(3) 利用案内	110
(4) 各種機能	110

【資料編】

1. 歴代教育委員	117
2. 附属機関委員	118
3. 小・中学校配置図	120
4. 社会教育施設配置図	122
5. 年表	124
6. 町田市子ども憲章	132
7. 問い合わせ先	133

教育委員会



1. 教育目標及び基本方針

教育委員会は、日本国憲法及び教育基本法の精神を基盤とし、町田市子ども憲章の趣旨を踏まえて、教育目標及び基本方針を定めています。

教育目標は、教育委員会が育てようとする人間像と目指すべき社会を表すものです。基本方針は、教育目標を実現するための施策の指針であり、以下の4つを掲げています。

教育目標

町田市教育委員会は、子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに、社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指します。

また、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指します。

基本方針1 子どもたちの生きる力と健やかな精神の育成

次代を担う子どもたちの、生涯にわたって学び続ける意欲を高め、健やかな精神、豊かな心、将来の職業や生活を見通して社会の中で自立的に生きていく力をはぐくみます。

基本方針2 学校の教育力の向上

様々な教育課題に対応し、子どもたちにとってよりよい教育を進めるために、教師の指導力を高め、教育環境の充実・整備を進めます。

基本方針3 家庭、地域、学校が連携した教育の推進

保護者や地域、関係諸機関と学校とが連携した教育の取組を推進し、子どもたちの健全育成や安全の確保を進めます。

基本方針4 生涯学習の推進

市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続け、支え合うことができる社会を目指し、学習の機会や場の充実、環境の整備を進めます。

2. 教育プラン

教育委員会では、2009年2月に策定した町田市教育振興基本計画である「町田市教育プラン」を、2014年2月に改定しました。改定後の計画では、これまでの取組による成果や課題を踏まえ、2014年度から2018年度までの5年間に推進する施策を示しています。

(1) 計画の構成

町田市教育プランは、教育委員会の教育目標及び基本方針を受け、それを実現するための教育施策を体系化した全体計画である「基本プラン」と、教育委員会が直面する課題解決に向けて重点的に取り組む事業を示す「重点プラン」で構成されています。

(2) 基本プラン

基本プランの施策体系は、以下のとおりです。

基本方針	基本施策	個別施策
1 子どもの生きる力と 健全な精神の育成	(1) 確かな学力の定着	学力向上策の推進
	(2) 豊かな心の醸成	人権教育の推進
		規範教育の推進
		問題行動の解消に向けた心の教育の推進
	(3) 健やかな体の育成	体力の向上
食育の推進		
(4) 自立心の醸成	キャリア教育の推進	
2 学校の教育力の向上	(1) 小・中学校間連携の推進	小中連携体制の構築
	(2) 教師力の向上	教員研修の充実
		教員の心の健康づくり
		特別支援教育の計画的な推進
	(3) 特別支援教育の充実	特別支援学級における支援
		通常の学級における支援
		特別支援教室等の整備
	(4) 教育環境の充実	安全で快適な教育環境の整備
		学校図書館の充実
		I C T環境の充実
校務の改善		
3 家庭、地域、学校が 連携した教育の推進	(1) 地域協働の学校づくり	学校支援センター等による地域連携の推進
		スクールボード校の充実
		大学との連携
		積極的な広報活動の推進
	(2) 健全育成の推進	保育園・幼稚園・高校等との連携強化
		教育相談の充実
	(3) 児童・生徒の安全の確保	防災教育の推進
		地域・関係機関と連携した災害への備え
通学路の安全確保の推進		

基本方針	基本施策	個別施策
4 生涯学習の推進	(1) 学習機会の提供	学習情報の収集及び発信
		講座・講演会等の充実
		関係機関と連携した学習機会の充実
	(2) 自主的な学習の支援	学習相談の充実
		学習資料の提供
		学習の場の提供
		学習成果を活かす機会の充実
	(3) 学習環境の整備	学習施設等の充実
		学習事業の効果的な運営
		生涯学習の調査・研究
	(4) 文化資源の 保全・活用の促進	文化資源の維持管理
		文化資源の魅力の発信

(3) 重点プラン

重点プランの事業体系は、以下のとおりです。

重点目標	重点事業
1 「知」「徳」「体」のバランス のとれた”町田っ子”を 育成する	小中一貫町田っ子カリキュラムの推進
	学力向上推進プランの策定及び推進
	小中9年間を見通した学力向上策の推進
2 いじめ問題、不登校、 暴力行為等への対応を 強化する	教育相談体制の充実
	いじめ問題への対応
	不登校児童・生徒への対応
	暴力行為等への対応
3 教育環境の整備を推進する	中規模改修の実施
	校舎等の改築の実施
	トイレ改修の実施
	防音工事の実施
	学校体育館の非構造部材の耐震化工事の実施
	学校図書館の蔵書整備
4 東日本大震災を教訓として 災害に備える	防災マニュアルの策定
	防災教育デーの実施
5 効率的な学校運営体制を 実現する	学校文書ファイリングシステムの構築
	校務の合理化・効率化に向けた基本方針の策定及び推進
6 特別支援教育の充実を図る	町田市特別支援教育推進計画の策定及び推進
	特別支援教室及び特別支援学級の整備
	人的支援活用制度の再構築

重点目標	重点事業
7 家庭、地域、学校が協力した 学校運営を推進する	学校支援センター事業の推進
	学校評価の推進
8 生涯学習を広める	若年層への学習機会の提供
	学習機会の充実に向けた連携の強化
	生涯学習情報の充実
	学習成果を活かす仕組みの充実
	地域活動の支援
9 図書館の利便性を高める	I C タグの導入
	地域のサービス拠点の整備
	地域資料の活用の推進
10 文化資源の活用を推進する	遺跡の整備
	文学館の企画展示の充実



3. 教育委員会

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方公共団体が教育、学術、文化に関する事務を処理するために、市長から独立した行政委員会として設置された合議制の執行機関です。

(1) 教育委員会の委員

教育委員会は、5人の委員で組織されています。委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が議会の同意を得て任命します。任期は4年です。

委員長は、委員のうちから選挙によって選ばれ、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表します。任期は1年ですが、再選が可能です。

委員長職務代理者は、委員長に事故があるとき、または委員長が欠けたときに委員長の職務を代行します。

教育長は、委員のうちから教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属職員を指揮監督します。

なお、2015年4月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、従来の教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置など、新たな教育委員会制度の形が規定されました。

しかし、町田市においては、改正後の同法の附則2条の規程により、未だ改正時に在職する教育長の任期中であるため、経過措置として、従来どおりの制度を継続しています。



佐藤委員長



高橋委員



森山委員



八並委員



坂本教育長

教育委員会委員（2015年4月現在）

職名	氏名	任期
委員長	さとう のぼる 佐藤 昇	2012.4.1～2016.3.31
委員長職務代理者	たかはし けいこ 高橋 圭子	2012.7.1～2016.6.30
委員	もりやま けんいち 森山 賢一	2014.10.28～2018.10.27
委員	やつなみ きよこ 八並 清子	2014.10.28～2018.10.27
教育長	さかもと しゅういち 坂本 修一	2014.4.1～2018.3.31

(2) 教育委員会の開催

教育委員会の会議は、「町田市教育委員会会議規則」の定めるところにより、毎月1回定例会が開催されるほか、必要に応じて臨時会が開催されます。また、これらの会議とは別に、教育行政全般について協議するために協議会が開催されます。2014年度には、定例会12回、臨時会5回が開かれ、下表の議案が付議され、可決されました。



月日	会議名	付議案件	
4/1	第1回臨時会	議案第1号	教育長の人事に関し議決を求めることについて
4/11	第1回定例会	議案第2号	教育委員会職員の4月11日付け人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第3号	町田市公立学校教職員の新規採用に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第4号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
5/2	第2回定例会	議案第5号	町田市立学校学校支援地域理事の任命について
		議案第6号	町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
		議案第7号	町田市立学校設置条例の一部を改正する条例について
		議案第8号	2014年度町田市人権教育推進委員会委員の委嘱について
		議案第9号	町田市立小学校教科用図書採択方針、選定基準及び評価方法について
		議案第10号	町田市立小学校教科用図書調査協議会委員の委嘱について
		議案第11号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第12号	町田市情緒障がい学級（不登校）入退級相談委員会委員の指名について
		議案第13号	第29期町田市社会教育委員の委嘱について
		議案第14号	第2期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について
6/5	第3回定例会	議案第15号	PTA連合組織役員への感謝状の贈呈について
		議案第16号	第2期町田市生涯学習センター運営協議会委員の委嘱について
		議案第17号	町田市立図書館協議会委員の委嘱について
		議案第18号	町田市立学校学校支援地域理事の任命について
		議案第19号	町田市立学校教職員安全衛生管理規則の一部を改正する規則について
		議案第20号	町田市学校安全衛生推進会議及び衛生委員会規程の一部を改正する規程について
		議案第21号	町田市東京都立高等学校等入学者選抜に係る成績一覧表調査委員会委員の委嘱について
		議案第22号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
		議案第23号	町田市障がい児就学相談委員会委員の委嘱又は指名（解嘱・解任）について
		議案第24号	町田市特別支援教育推進計画検討委員会委員の委嘱又は指名について
		議案第25号	第29期町田市社会教育委員の委嘱及び解嘱について
		議案第26号	第2期町田市生涯学習審議会委員の委嘱及び解嘱について
		議案第27号	町田市国史跡高ヶ坂石器時代遺跡整備検討委員会委員の委嘱について
		議案第28号	町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の委嘱等及び解嘱等について

7/4	第4回定例会	議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 議案第34号	町田市立学校学校支援地域理事の任命について 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 町田市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 町田市障がい児就学相談委員会委員の指名について 第2期町田市生涯学習センター運営協議会委員の委嘱について
8/1	第5回定例会	議案第35号 議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号	町田市立学校学校支援地域理事の任命について 町田市教育委員会の2013年度の施策等の点検及び評価報告書について 町田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例について 町田市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則について 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
8/25	第2回臨時会	議案第40号 議案第41号 議案第42号	2015年度使用教科用図書（小学校）の採択について 2015年度使用教科用図書（中学校）の採択について 2015年度使用教科用図書（特別支援学級）の採択について
9/2	第6回定例会	議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号	町田市立学校学校支援地域理事の解職の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の死亡に係る報告の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 町田市いじめ防止基本方針の策定について 都費負担教職員の服務事故に係る処分内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
10/3	第7回定例会	議案第49号 議案第50号 議案第51号	都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
11/7	第8回定例会	議案第52号 議案第53号 議案第54号 議案第55号 議案第56号 議案第57号 議案第58号 議案第59号	教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 副校長の解任に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 副校長の任命（新任）に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の服務事故に係る処分内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 町田市立学校職員の兼業等及び教育公務員の教育に関する兼職等に関する事務取扱規程の一部を改正する規程について 町田市文化財保護条例の一部を改正する条例について 町田市立図書館設置条例の一部を改正する条例について
12/12	第9回定例会	議案第60号 議案第61号 議案第62号 議案第63号 議案第64号 議案第65号 議案第66号 議案第67号	教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の死亡に係る報告の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 学校支援ボランティアへの感謝状の贈呈について 中学生職場体験推進事業功労事業所への感謝状の贈呈について まちだ市民大学HATSプログラム委員の委嘱について 都費負担教職員の身分上の措置に係る処分内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

1/9	第 10 回定例会	議案第68号 議案第69号 議案第70号 議案第71号 議案第72号 議案第73号 議案第74号 議案第75号	町田市教育委員会児童生徒表彰について 町田市教育委員会感謝状の贈呈について 町田市立学校学校支援地域理事の解職の臨時専決処理に関し承認を 求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて 町田市学校保健功労者の表彰及び感謝状の贈呈について 町田市指定有形文化財の指定について 教育委員会職員の12月31日付け及び1月1日付け人事異動の臨時専 決処理に関し承認を求めることについて
2/6	第 11 回定例会	議案第76号 議案第77号 議案第78号 議案第79号 議案第80号	町田市立学校学校支援地域理事の解職の臨時専決処理に関し承認を 求めることについて 町田市教育委員会いじめ問題対策委員会及び町田市いじめ問題調査 委員会条例の制定について 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて 都費負担教職員の休職に係る内申について
2/6	第 3 回臨時会	議案第81号	平成27年度町田市公立学校校長・副校長の人事異動及び統括校長の 任用について
2/20	第 4 回臨時会	議案第82号	町田市教育委員会児童生徒表彰について
3/13	第 12 回定例会	請願第1号 議案第83号 議案第84号 議案第85号 議案第86号 議案第87号 議案第88号 議案第89号 議案第90号 議案第91号 議案第92号 議案第93号 議案第94号 議案第95号 議案第96号 議案第97号 議案第98号 議案第99号 議案第100号 議案第101号 議案第102号 議案第103号 議案第104号 議案第105号 議案第106号 議案第107号 議案第108号 議案第109号 議案第110号	地方教育行政法の改定に伴う町田市における教育行政の組織と運 営の改編に関する請願・・・不採択 町田市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について 町田市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則について 町田市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する 規則について 教育長の権限に属する事務の一部を委任する規程の一部を改正する 規程について 町田市教育委員会文書管理規程の一部を改正する規程について 職員のサービスの宣誓に関する取扱規程の一部を改正する規程について 町田市教育委員会訓令令達式に関する規程の一部を改正する規程 について 町田市教育委員会公印規程の一部を改正する規程について 町田市立小・中学校教科用図書採択要綱の一部改正について 町田市立図書館設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める 規則について 町田市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する 規則について 町田市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について 町田市教育委員会職員等表彰規程の一部を改正する規程について 町田市教育委員会職員の職名に関する規則に基づく教育委員会の 指定に関する規程の一部を改正する規程について 教職員への感謝状の贈呈について 教育委員会職員の2月9日付け及び2月15日付け人事異動の臨時専 決処理に関し承認を求めることについて 町田市立学校学校支援地域理事の解職の臨時専決処理に関し承認を 求めることについて 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて 学校医等の委嘱について 町田市立学校職員勤務規程の一部を改正する規程について 町田市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程について 町田市立学校職員の兼業等及び教育公務員の教育に関する兼職等に 関する事務取扱規程の一部を改正する規程について 都費負担教職員の勤務事故に係る処分内申の臨時専決処理に関し承 認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて 都費負担教職員の配偶者同行休業に係る内申の臨時専決処理に関し 承認を求めることについて 平成27年度 町田市公立学校教育職員の人事異動に係る内申の臨時 専決処理に関し承認を求めることについて 条件附採用期間にある教育職員の正式採用決定に係る内申の臨時専

		議案第111号 議案第112号	決処理に関し承認を求めることについて 町田市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則について 町田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
3/31	第5回臨時会	議案第113号 議案第114号 議案第115号	教育委員会職員の3月31日付け人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 教育委員会職員の4月1日付け人事異動について 教育委員会職員の3月28日付け人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて



(3) 2014 年度教育委員の主な活動状況

(2) で挙げた会議等のほか、以下のような活動を行い、教育委員会としての考えや思いを広め、更に、さまざまな活動を称え激励し、また現場の状況や生の声を把握することにより、教育行政の一層の充実に努めています。

2014 年度の活動内容	
儀式・表彰式、市議会、教育委員会連合会、校長会等への出席	○教職員の辞令交付式 ○町田市議会定例会・臨時会本会議 (定例会 4 回、臨時会 1 回：教育委員長、教育長) ○東京都教育施策連絡協議会 ○東京都市町村教育委員会連合会の総会・理事会・研修会 ○市町村教育委員会研究協議会 ○東京都市教育長会の会議・研修会 ○全国都市教育長協議会 ○関東甲信越静市町村教育委員会連合会の総会・研修会 ○定例校長会・副校長会
学校への訪問	○市教委訪問 (15 校) ※ 1 ○指導主事訪問 (16 校) ※ 2 ○研究発表会 (5 校) ※ 3 ○道徳授業地区公開講座 (19 校) ※ 4 ○その他 (各校の入学式・卒業式、運動会・体育祭、セーフティ教室、周年記念式典等のほか、日常の授業見学など)
市や学校の連合団体等が主催する研修会等への参加	○夏季休業中の授業力研修・教育課題研修 ○小・中学校教育研究会の総会・研究発表会 ○学校支援ボランティアコーディネーターミーティング ○特別支援教育コーディネーター研修 ○町田市教育講演会など
教育機関の事業や生涯学習施設の展示会・講座等への参加	○小・中学校科学教育センター事業 ○生涯学習センター事業 (まちだ市民大学 HATS、ことぶき大学、平和祈念事業など) ○生涯学習センターまつり ○文学館まつり ○自由民権資料館まつり ○文学館・国際版画美術館・自由民権資料館等の企画展やオープニングセレモニー ○障がい者青年学級開級式・成果発表会など

市や市民団体等が主催する文化・スポーツ等の行事・式典への参加	○小学校合同音楽会 ○中学校連合音楽会（吹奏楽・合唱） ○中学校連合演劇発表会 ○町田市公立小中学校作品展 ○二十祭まちだ（成人式） ○社会を明るくする運動町田大会 ○町田市こどもマラソン大会 ○中学校連合陸上競技大会
P T Aや市民団体等との懇談	○公立小学校 PTA 連絡協議会の総会・研修会 ○中学校 PTA 連合会の総会・懇談会・交流会 ○都立学校 PTA 連合会の総会 ○市長・市議会議員との意見交換会 ○障がい児保護者団体との懇談会など
その他教育に関連した活動	○町田市防災会議 ○青少年問題協議会など

※ 1 市教委訪問 ・ ・ 教育長以下、学校教育部の管理職が学校を訪問するもので、各学校が抱える教育上の諸課題について、その実態を把握し、解決の方途を見出すために実施するものです。全学級の授業参観や教職員との協議・懇談会等を通じて、児童・生徒の教育指導、指導内容・方法、教材・用具、施設・設備、教育環境、保健衛生等、広い視野から教育上の諸課題について話し合い、学校と市教委との連携を深めるねらいがあります。4年に1度は各校を訪問することになります。

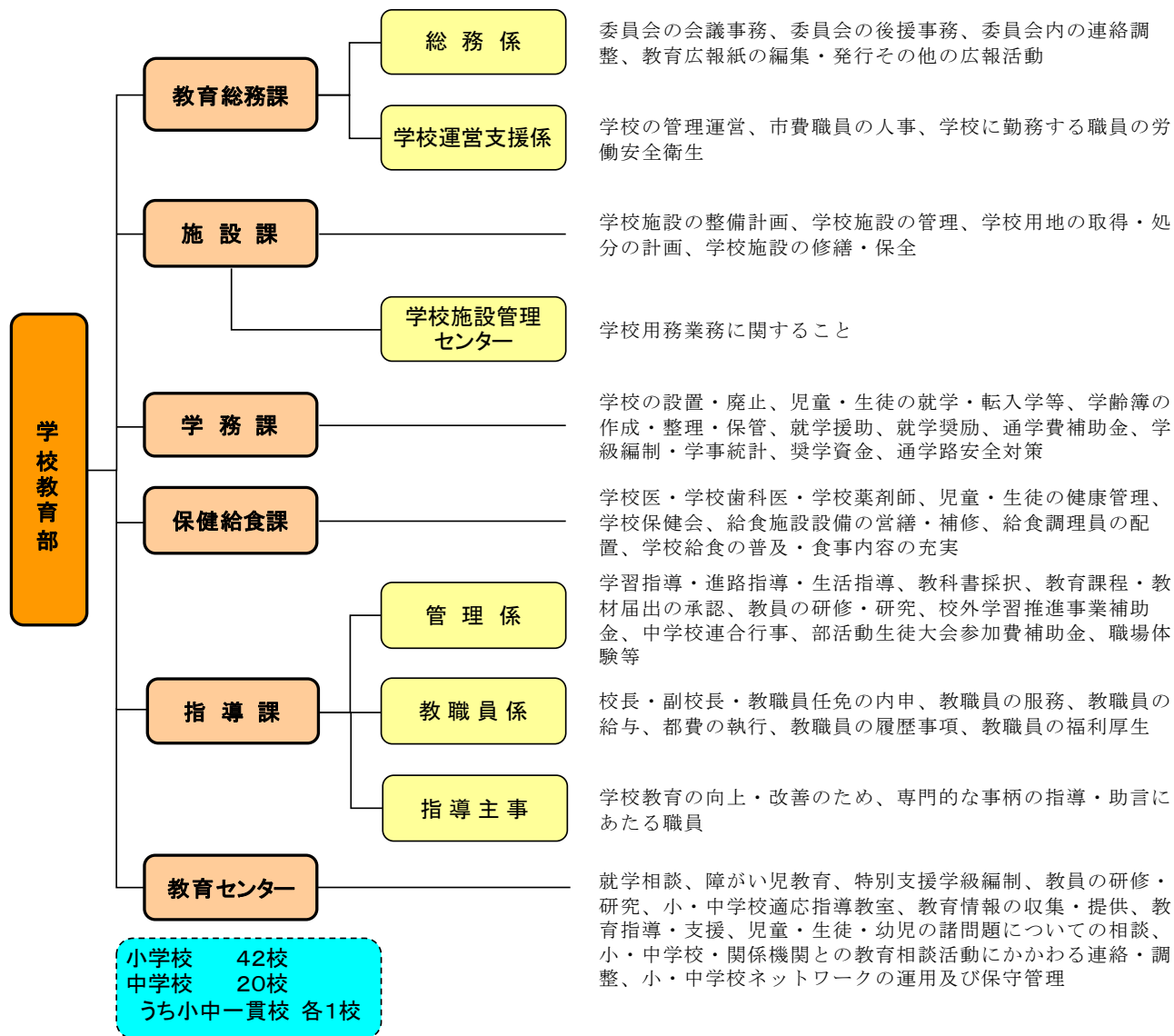
※ 2 指導主事訪問 ・ ・ 指導主事が学校を訪問するもので、各学校の状況に応じ、児童・生徒の指導上の諸問題を中心に、その学校のもつ課題について教職員とともに具体的な解決の方法を見出すために実施するものです。上記の市教委訪問と比較して、研究推進と授業改善に比重をかけています。教育委員も各学校の状況を知るために、この指導主事訪問に同行しています。4年に1度は各校を訪問することになります。

※ 3 研究発表会 ・ ・ 教育委員会が例示するテーマを参考にして、各学校が研究主題を決めて取り組むものです。ここ数年各学校の研究意欲は高く、研究推進校、研究校がその成果や知見を広く内外に公开发表しました。

※ 4 道徳授業地区公開講座 ・ ・ 東京都の「心の東京革命」の一環として全都の公立学校で開催しているもので、各学校での道徳の授業を保護者や地域の方々など、広く市民に公開しています。併せて、子どもの健全育成や子育てについての講演会を開催したり、授業後に意見交換会などを行ったりして、家庭・学校・地域社会が一体となった道徳教育を推進していくとともに、子どもたちの健全育成を図っています。

（４）教育委員会の組織と事務分掌

教育委員会事務局は、教育長の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属する事務を処理します。



市立学校に勤務する職員数（2015年5月1日現在）

①教職員数（都費職員）

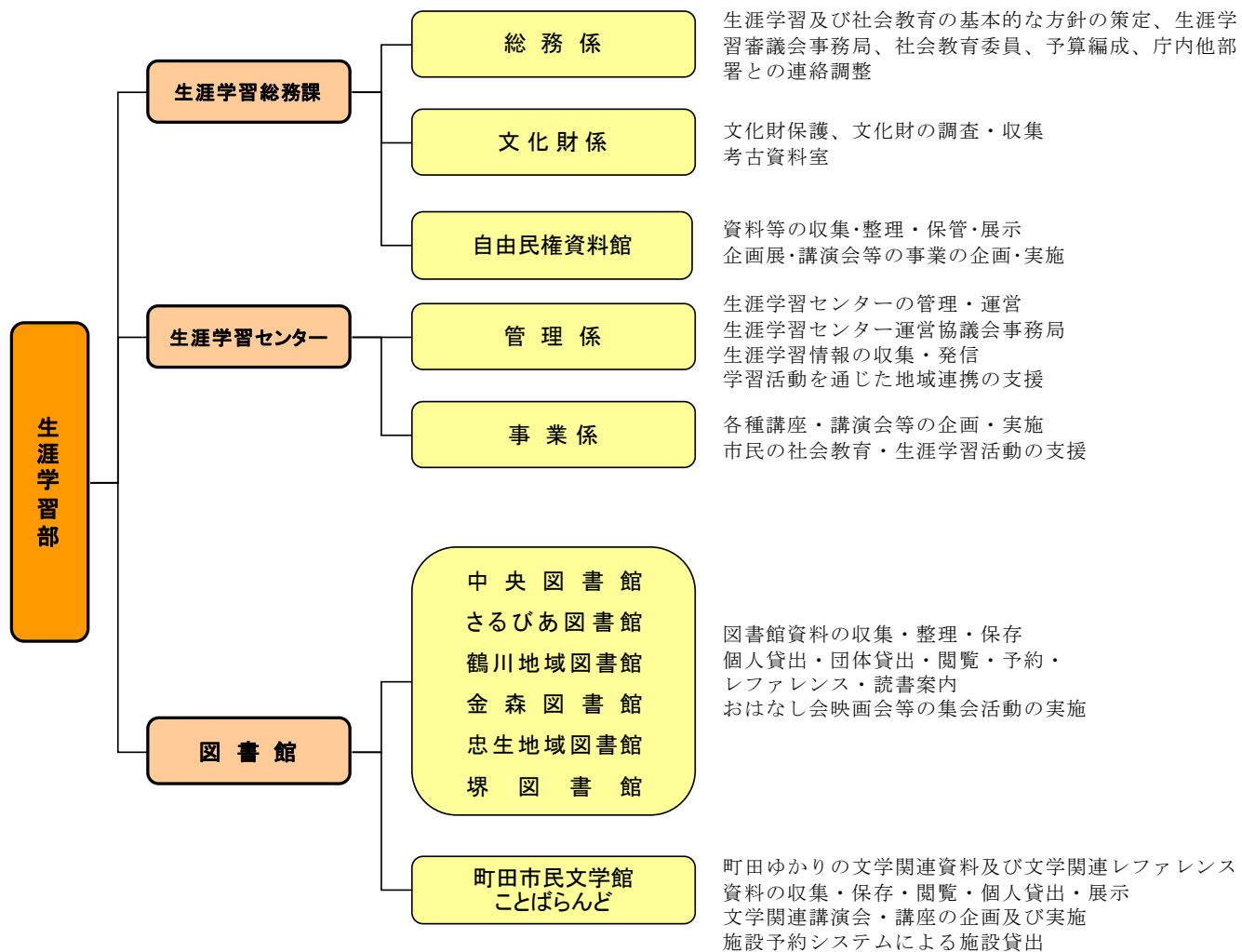
（人）

区分	教員						事務職員	栄養士	合計
	校長	副校長	教諭	栄養教諭	養護教諭	小計			
小学校	41	42	1,001	2	46	1,132	42	19	1,193
中学校	20	20	565	0	22	627	20	0	647
合計	61	62	1566	2	68	1,759	62	19	1,840

②学校勤務職員数（市費職員）

（人）

区分	学校事務	一般用務	給食調理	栄養士	合計
小学校	42	43	56	21	162
中学校	20	20	0	0	40
合計	62	63	56	21	202

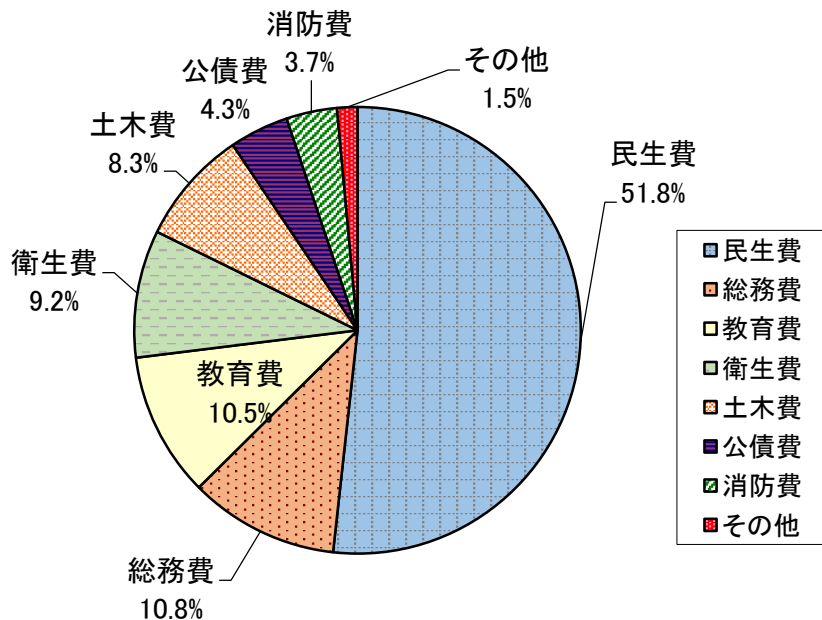




4. 教育予算

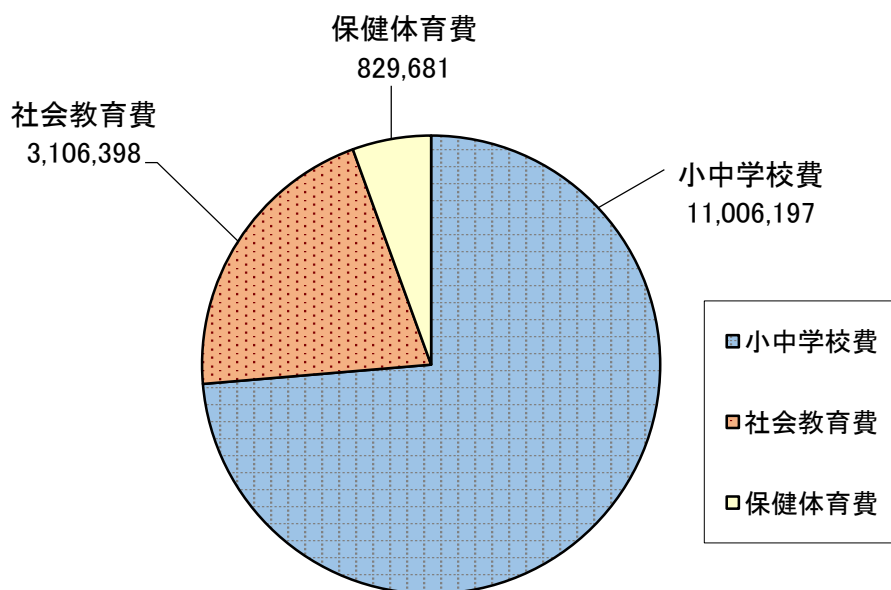
2015 年度の一般会計当初予算歳出のうち、教育費は 149 億 4,227 万 6 千円で、全体の 10.5%の割合となっています。

一般会計当初予算歳出にみる教育費の割合



款	予算額(千円)	比率
民生費	73,915,014	51.8%
総務費	15,466,795	10.8%
教育費	14,942,276	10.5%
衛生費	13,178,643	9.2%
土木費	11,864,860	8.3%
公債費	6,122,571	4.3%
消防費	5,239,434	3.7%
その他	2,100,708	1.5%
合計	142,830,301	100.0%

教育費当初予算歳出の内訳（単位：千円）



項	予算額(千円)	比率
小中学校費	11,006,197	73.7%
社会教育費	3,106,398	20.8%
保健体育費	829,681	5.6%
合計	14,942,276	100.0%

主な事業と予算(2015 年度)

【学校教育】

(単位：千円)

事業	内容	予算額
奨学金の支給	高等学校等に在学し、成績が優秀で経済的理由により修学が困難な方に月額 8,700 円を支給します。	15,556
教育の研究	研究推進校(10校) 研究校(10校)の研究を助成、小・中学校教育研究会への助成、校内研究会講師謝礼の支払い、国・都委託研究事業を実施します。	11,538
学校の管理運営	小学校 42 校、中学校 20 校の教材物品の購入費、警備の委託料、光熱水費などです。	1,286,387
学校の維持	小・中学校 62 校の施設・設備を維持するため、修繕・補修工事等を行います。	120,622
特別支援学級の運営	小学校には、固定制として知的障がい学級を 20 校、肢体不自由学級を 2 校、情緒障がい学級を 2 校、通級制として弱視学級を 1 校、難聴学級を 2 校、言語障がい学級を 2 校、情緒障がい学級を 7 校、中学校には、固定制として知的障がい学級を 10 校、肢体不自由学級を 1 校、通級制として情緒障がい学級 3 校、難聴学級を 1 校設置しています。	253,193
就学の援助	小・中学校に在籍し、経済的理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に、学用品・通学用品費、夏季施設費、給食費などを補助します。	363,697
特別支援学級在籍児童・生徒の保護者への補助	小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者に、学用品・通学用品費、給食費などを補助します。(保護者の所得により、補助の内容が変わります。)	34,702
通学費の援助	小・中学校に在籍し、自宅から学校までの距離が小学校 1.5km・中学校 2 km 以上で、公共交通機関で通学している児童・生徒の保護者に、定期代の 2/3 の金額を補助します。(区域外就学者、指定校変更者(特認地区を除く。))及び通学区域緩和制度利用者は対象になりません。)	11,657
集団宿泊事業	小学 5・6 年生、中学 1・2・3 年生の宿泊行事に対し、交通費の一部を補助し、看護師を派遣します。(引率教員入場料も含まれる。)	90,678
社会科見学の補助	小学 3 年生の社会科市内施設見学のバス代を補助します。	9,695
生活指導補助者の派遣	小学校に入学したばかりの新 1 年生が学校生活に慣れるまでの約 2 ヶ月間、補助者を派遣します。	24,385
健康診断	学校保健安全法に基づき、定期健康診断を行います。	58,814
小学校給食	単独校方式により小学校全校で完全給食を実施します。	736,227
中学校給食	給食を希望する生徒に、業者が調理し学校に配送する弁当形式の給食(弁当併用外注方式)を提供するため、調理・配送等の委託をします。	94,570
学校ネットワーク	学校ネットワークの保守管理や拡張整備、インターネット通信費、教育用パソコンの整備などを行います。	285,192
学校施設の整備	校舎内部の改修や防音工事など、既存施設の整備を進めるとともに、老朽化した学校の改築工事を行います。	4,315,870

【生涯学習】

(単位：千円)

事業	内容	予算額
自由民権資料館	自由民権資料館の施設管理と、自由民権運動や町田市域の歴史に関する史料の収集・整理・保管・市民への公開を行います。また、常設展示に加えて企画展や講演会のほか、市民向け講座、図書の刊行を行います。	23,855
文化財の保護	文化財保護審議会の運営、指定文化財（国・都・市）の保存・活用、無形民俗文化財の保護・育成、文化財図書刊行事業、埋蔵文化財の発掘調査、考古資料室の管理・市民への開放などを行います。	111,272
生涯学習センターの管理	生涯学習センターの施設管理と、学習室、ホール、音楽室などの施設の貸出しを行います。	133,945
団体活動の援助	社会教育関係団体が実施する学習会や講演会に対し、講師費用の一部を補助します。	1,175
学校の教室開放	市民の生涯学習の場として、小学校3校、中学校1校の特別教室を市民団体に開放します。	2,189
公民館事業	あらゆる世代の市民を対象に、年間を通じて幅広いテーマの講座や講演会、イベントなどを開催します。	1,973
市民大学事業	市民一人一人が創造的で充実した人生を送ることができるように、また、地域づくりや地域文化の創造に主体的に参加してもらえるように、各種の講座事業を実施します。	4,985
家庭教育支援事業	家庭教育を支える担い手となる人材や団体の育成及び現役の子育て世代を対象とした講座等を実施します。	2,667
障がい者青年学級	主に知的障がい者を対象に、音楽、運動、演劇などのグループ活動を通じた社会参加や学習活動の場を提供します。	8,341
ことぶき大学事業	60歳以上の市民を対象に、音楽、歴史、文学など、幅広い分野の連続講座を実施します。	1,140
さがまちコンソーシアム連携事業	(社)相模原・町田大学地域コンソーシアム（略称：さがまちコンソーシアム）に加盟し、講座の開催や地域情報紙の発行などを行います。	4,500
図書館の管理運営	中央図書館、さるびあ図書館、鶴川駅前図書館、鶴川図書館、金森図書館、忠生図書館、木曽山崎図書館、堺図書館の施設管理と、図書などの貸出・閲覧を行います。また、ICタグシステムの維持管理を行います。	744,384
文学館の管理	町田市民文学館ことばらんの施設管理及び施設の貸出しを行います。	43,018
文学館の事業	年4回の展覧会や講演会、講座などを開催します。また、町田ゆかりの作家に関わる資料等を収集するとともに資料の貸出・閲覧を行います。	15,540



学校教育



1. 市立小・中学校の概要

2015 年 5 月 1 日現在、町田市には 42 校の市立小学校と 20 校の市立中学校（うち小中一貫校 1 校）があります。

学校一覧、学級編制、児童・生徒数及び学級数、通学区域並びに通学区域緩和制度については、次のとおりです。

（１）学校一覧

① 小学校

（2015 年 5 月 1 日現在）

No.	学校名	所 在 地	電 話	開 校 年 月 日	開 校 記念日	校長名
1	町田第一小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-machida1/	中町 1-20-30	722・3105	明 6. 5. 1	6 月 11 日	宮島 徹
2	町田第二小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-machida2/	原町田 4-26-40	722・3316	昭 27. 4. 1	6 月 25 日	貝原 俊明
3	町田第三小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-machida3/	本町田 1212	722・3329	昭 27. 4. 1	6 月 10 日	黒沢志津夫
4	町田第四小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-machida4/	森野 2-21-28	722・3727	昭 30. 4. 1	6 月 15 日	丸 節子
5	町田第五小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-machida5/	玉川学園 4-14-7	725・8178	昭 38. 4. 1	6 月 1 日	樋口 明
6	町田第六小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-machida6/	南大谷 1260	722・3659	昭 40. 4. 1	6 月 1 日	武藤 雄丈
7	南大谷小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-minamioya/	南大谷 811-1	725・2551	昭 49. 4. 1	6 月 10 日	西岡 郁雄
8	藤の台小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-fujinodai/	金井町 3040-15	726・1005	昭 48. 4. 1	6 月 1 日	山下 勝弘
9	本町田東小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-honmachida-e/	本町田 3350	722・8193	昭 45. 4. 1	6 月 22 日	土田 昇
10	本町田小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-honmachida/	本町田 2032	721・5561	平 14. 4. 1	6 月 24 日	渡辺 恒彦
11	南第一小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-minami1/	鶴間 187	795・2274	明 6. 6. 10	6 月 10 日	佐野 友隆
12	南第二小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-minami2/	成瀬 7-11-1	727・0805	明 6. 6. 1	6 月 1 日	麻生 豊

13	南第三小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-minami3/	金森東 1-2-1	722・2663	昭 33. 4. 1	6 月 2 日	吉田 孔一
14	南第四小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-minami4/	金森東 3-21-1	796・1326	昭 43. 4. 1	5 月 21 日	宇田 陽一
15	つくし野小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-tsukushino/	つくし野 2-21-11	795・3295	昭 47. 4. 1	5 月 27 日	金子 謙
16	小川小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-ogawa/	小川 3-10-1	795・0002	昭 50. 4. 1	6 月 9 日	中田 和夫
17	成瀬台小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-narusedai/	成瀬台 2-5-2	723・3001	昭 50. 4. 1	6 月 10 日	櫻井 幹也
18	鶴間小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-tsuruma/	鶴間 1083	796・1951	昭 52. 4. 1	6 月 9 日	小林 光市
19	高ヶ坂小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-kougasaka/	高ヶ坂 6-7-1	725・4295	昭 53. 4. 1	6 月 1 日	原田 好美
20	成瀬中央小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-narusechuo/	成瀬 2-8	728・6020	昭 54. 4. 1	6 月 10 日	大泉 永
21	南成瀬小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-minaminaruse/	南成瀬 3-6	726・1080	昭 55. 4. 1	6 月 16 日	中山 晴義
22	南つくし野小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-minamitukusino/	南つくし野 2-4-8	796・1950	昭 55. 4. 1	6 月 10 日	秋元みさ子
23	鶴川第一小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-tsurukawa1/	野津田町 1290	735・1234	明 41. 4. 1	10 月 6 日	中村 雄一
24	鶴川第二小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-tsurukawa2/	能ヶ谷 7-24-1	735・5498	昭 39. 5. 1	5 月 1 日	後藤 良秀
25	鶴川第三小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-tsurukawa3/	鶴川 6-5	735・2127	昭 43. 1. 8	10 月 2 日	鈴木みどり
26	鶴川第四小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-tsurukawa4/	鶴川 3-22	735・2868	昭 46. 4. 1	6 月 20 日	山崎 聡
27	金井小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-kanai/	金井町 2612-183	735・0010	昭 53. 4. 1	6 月 1 日	清水 淳
28	大蔵小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-okura/	大蔵町 286	734・2321	昭 55. 4. 1	6 月 16 日	石井 正広

29	三輪小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-miwa/	三輪町 330-1	044・988・ 5214	昭 57. 4. 1	6 月 7 日	増川 知子
30	忠生小学校 (旧忠生第一小学校) http://www.machida-ty. ed. jp/e-tadao1/	忠生 3-10-2	791・1021	大元. 9. 1	6 月 13 日	池田 雅志
31	小山田小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-oyamada/	上小山田町 614	797・1824	昭 27. 5. 20	5 月 20 日	富田 逸夫
32	忠生第三小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-tadao3/	木曽東 3-11-3	791・0721	昭 37. 4. 1	6 月 12 日	西久保律子
33	山崎小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-yamasaki/	忠生 2-15-26	793・2004	昭 55. 4. 1	6 月 10 日	伊藤 昌克
34	小山田南小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-oyamadaminami/	小山田桜台 2-7	797・4541	昭 59. 4. 1	5 月 30 日	松本 啓吾
35	木曽境川小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-kisosakaigawa/	木曽西 1-9-1	791・2086	平 13. 4. 1	11 月 1 日	宇賀神礼子
36	七国山小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-nanakuniyama/	山崎町 1314-2	791・2171	平 15. 4. 1	6 月 23 日	山本 弘明
37	図師小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-zushi/	図師町 239-19	789・6361	平 21. 4. 1	1 月 30 日	北澤 正博
38	小山小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-oyama/	小山町 944	797・2733	明 6. 5. 1	5 月 1 日	篠田 康昌
39	小山ヶ丘小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-oyamagaoka/	小山ヶ丘 5-37	770・6251	平 17. 4. 1	11 月 12 日	室屋 憲一
40	小山中央小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-oyamagaoka/	小山ヶ丘 3-7-1	798・0670	平 22. 4. 1	1 月 29 日	岡部ひとみ
41	相原小学校 http://www.machida-ty. ed. jp/e-aihara/	相原町 1673	771・2341	明 7. 7. 20	6 月 20 日	小林 憲市
42	大戸小学校 (小中一貫ゆくのき学園) http://www.machida-ty. ed. jp/e-ohto/	相原町 3765-3	782・9091	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	守屋 裕一

② 中学校

(2015 年 5 月 1 日現在)

No.	学校名	所 在 地	電 話	開 校 年 月 日	開 校 記念 日	校長名
1	町田第一中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida1/	中町 1-27-5	722・2420	昭 22. 4. 1	5 月 26 日	花田 英樹
2	町田第二中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida2/	南大谷 1327	722・1101	昭 32. 4. 1	5 月 6 日	富田 直人
3	町田第三中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida3/	本町田 1853	722・6095	昭 43. 4. 1	5 月 27 日	風間 茂
4	南大谷中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-minamiooya/	南大谷 985-1	723・5567	昭 50. 4. 1	5 月 27 日	橋本 雅彦
5	南中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-minami/	金森 3-27-1	796・2248	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	大川 武司
6	つくし野中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-tsukushino/	南つくし野 2-14-2	795・0323	昭 50. 9. 1	9 月 30 日	天利 公一
7	成瀬台中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-narusedai/	成瀬台 2-5-1	728・6030	昭 54. 4. 1	5 月 26 日	石上 昌弘
8	南成瀬中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-minaminaruse/	南成瀬 7-7-1	729・3441	昭 57. 4. 1	6 月 1 日	吉川 篤
9	鶴川中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-tsurukawa/	小野路町 1905-1	735・2405	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	岩田 敏行
10	鶴川第二中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-tsurukawa2/	鶴川 6-4	734・4343	昭 48. 4. 1	6 月 1 日	千田 実
11	薬師中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-yakushi/	金井 1-20-1	725・5002	昭 46. 4. 1	6 月 1 日	中村伊佐夫
12	真光寺中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-shinkoji/	真光寺 3-8-1	734・4605	昭 55. 4. 1	5 月 1 日	高橋 洋文
13	金井中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-kanai/	金井 6-15-1	734・0259	昭 59. 4. 1	6 月 1 日	奥山 拓雄
14	忠生中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-tadao/	忠生 3-14-1	791・0821	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	大石 龍
15	山崎中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-yamasaki/	山崎町 1445	793・1021	昭 54. 4. 1	6 月 2 日	萩原 和彦

16	木曽中学校 http://www.machida-ty. ed. jp/j-kiso/	木曽西 2-4-9	792・3081	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	山口 好司
17	小山田中学校 http://www.machida-ty. ed. jp/j-oyamada/	小山田桜台 1-12	797・4545	昭 59. 4. 1	6 月 25 日	石田 匡志
18	小山中学校 http://www.machida-ty. ed. jp/j-oyama/	小山ヶ丘 1-2-4	798・1251	平 24. 4. 1	1 月 11 日	井手 伊澄
19	堺中学校 http://www.machida-ty. ed. jp/j-sakai/	相原町 752	771・2348	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	比良田健一
20	武蔵岡中学校（小中一貫ゆくのき学園） http://www.machida-ty. ed. jp/j-musashioka/	相原町 3865	782・9155	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	守屋 裕一

（２）学級編制

小・中学校の学級編制については、毎年度、４月１日を基準日として、教育委員会が定める「学級編制基準」に従い、行うことになっています。

町田市では、1985 年度まで小・中学校全校において全学年が「45 人学級」で編制されていましたが、小学校においては 1986 年度から、中学校においては 1989 年度から、それぞれ第 1 学年が「40 人学級」となり、1991 年度からは、小・中学校の全学年が「40 人学級」で編制されることになりました。

以後、この「40 人学級」での編制が続きましたが、2011 年 4 月の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正に伴い、東京都教育委員会の「学級編制基準」が改正され、2011 年度から、小学校第 1 学年においては「35 人学級」編制となりました。

また、2012 年度から小学校第 2 学年、2013 年度から中学校第 1 学年においても「35 人学級」編制となりました。

（３）児童・生徒数及び学級数

市制が施行された 1958 年は、人口 60,957 人、小学校 12 校で児童数 8,766 人、中学校 6 校で生徒数 3,460 人でした。その後、高度経済成長期を迎え、都心から郊外へと人口移動がみられる中で、町田市は都心から比較的近距離であり、交通の利便性のあるベッドタウンとして注目され発展しました。とりわけ 1960 年代後半から 1980 年代前半にかけては、大規模集合住宅が相次いで建設され、急激な人口増加を生み、児童・生徒数は年々増え続け、児童数は 1980 年に 36,928 人（41 校）、生徒数は 1985 年に 17,689 人（20 校）と、それぞれピークに達しました（児童・生徒総数のピークは 1982 年の 51,769 人）。

その後、出生率の低下等により、児童・生徒数は減少傾向となりましたが、マンション建設や宅地開発等により、児童数は 2001 年度、生徒数は 2006 年度から再び増加傾向となりました。さら

に、区画整理事業による市内周縁部の開発等により、地域によっては急激に児童・生徒数が増加してきました。しかし、2011 年度以降、児童数が再び減少傾向に転じています。

2015 年度の学級数及び児童・生徒数は、5 月 1 日現在、小学校においては、通常学級 712 学級、児童数 22,740 人、特別支援学級 55 学級、児童数 347 人となっており、中学校においては、通常学級 301 学級、生徒数 10,696 人、特別支援学級 30 学級、生徒数 192 人となっています。



2015 年 5 月 1 日 児童・生徒数/学級数（通常の学級）

2015年5月1日 児童・生徒数 /学級数 (通常の学級)		児 童 ・ 生 徒 数							学 級 数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	町 田 第 一 小 学 校	97	97	102	103	101	87	587	3	3	3	3	3	3	18
	町 田 第 二 小 学 校	59	60	71	53	62	65	370	2	2	2	2	2	2	12
	町 田 第 三 小 学 校	69	94	62	91	83	91	490	2	3	2	3	3	3	16
	町 田 第 四 小 学 校	91	102	101	95	84	103	576	3	3	3	3	3	3	18
	町 田 第 五 小 学 校	111	96	90	79	78	95	549	4	3	3	2	2	3	17
	町 田 第 六 小 学 校	45	39	56	65	49	62	316	2	2	2	2	2	2	12
	南 大 谷 小 学 校	104	119	109	87	108	73	600	3	4	3	3	3	2	18
	藤 の 台 小 学 校	87	102	90	103	96	88	566	3	3	3	3	3	3	18
	本 町 田 東 小 学 校	27	35	38	52	54	71	277	1	1	1	2	2	2	9
	本 町 田 小 学 校	70	67	62	76	90	82	447	2	2	2	2	3	3	14
	南 第 一 小 学 校	101	91	90	94	68	94	538	3	3	3	3	2	3	17
	南 第 二 小 学 校	64	60	67	75	50	82	398	2	2	2	2	2	3	13
	南 第 三 小 学 校	63	60	55	67	64	92	401	2	2	2	2	2	3	13
	南 第 四 小 学 校	74	85	75	85	87	82	488	3	3	2	3	3	3	17
	つくし野小 学 校	52	66	65	66	60	78	387	2	2	2	2	2	2	12
	小 川 小 学 校	76	93	80	98	107	109	563	3	3	2	3	3	3	17
	成 瀬 台 小 学 校	110	98	101	118	99	128	654	4	3	3	3	3	4	20
	鶴 間 小 学 校	98	81	103	85	75	88	530	3	3	3	3	2	3	17
	高 ケ 坂 小 学 校	68	52	53	64	66	64	367	2	2	2	2	2	2	12
	成 瀬 中 央 小 学 校	42	54	29	30	36	32	223	2	2	1	1	1	1	8
	南 成 瀬 小 学 校	70	81	70	87	97	96	501	2	3	2	3	3	3	16
	南つくし野小 学 校	116	113	107	126	124	136	722	4	4	3	4	4	4	23
	鶴 川 第 一 小 学 校	144	125	166	131	143	133	842	5	4	5	4	4	4	26
	鶴 川 第 二 小 学 校	95	89	106	89	101	110	590	3	3	3	3	3	3	18
	鶴 川 第 三 小 学 校	100	84	84	89	105	94	556	3	3	3	3	3	3	18
	鶴 川 第 四 小 学 校	100	111	107	110	142	140	710	3	4	3	3	4	4	21
	金 井 小 学 校	89	102	104	99	105	119	618	3	3	3	3	3	3	18
	大 蔵 小 学 校	136	126	134	153	119	153	821	4	4	4	4	3	4	23
	三 輪 小 学 校	89	108	85	87	86	108	563	3	4	3	3	3	3	19
	忠 生 小 学 校	86	86	81	89	102	111	555	3	3	2	3	3	3	17
	小 山 田 小 学 校	63	65	82	78	79	88	455	2	2	3	2	2	3	14
	忠 生 第 三 小 学 校	87	87	100	97	64	90	525	3	3	3	3	2	3	17
	山 崎 小 学 校	62	62	64	55	58	65	366	2	2	2	2	2	2	12
	小 山 田 南 小 学 校	107	115	91	106	102	85	606	4	4	3	3	3	3	20
	木 曾 境 川 小 学 校	70	85	57	66	82	66	426	2	3	2	2	3	2	14
	七 国 山 小 学 校	111	136	104	116	120	104	691	4	4	3	3	3	3	20
	図 師 小 学 校	99	107	118	108	95	98	625	3	4	3	3	3	3	19
	小 山 小 学 校	132	147	179	144	120	134	856	4	5	5	4	3	4	25
	小 山 ケ 丘 小 学 校	124	139	131	129	139	127	789	4	4	4	4	4	4	24
	小 山 中 央 小 学 校	152	155	180	151	140	126	904	5	5	5	4	4	4	27
	相 原 小 学 校	68	84	93	93	90	107	535	2	3	3	3	3	3	17
	小中一貫ゆくのき学園(大戸小学校)	24	34	25	28	23	23	157	1	1	1	1	1	1	6
	計	3,632	3,792	3,767	3,817	3,753	3,979	22,740	120	126	114	116	114	122	712
	町 田 第 一 中 学 校	251	251	297				799	7	7	8				22
	町 田 第 二 中 学 校	178	179	178				535	5	5	5				15
	町 田 第 三 中 学 校	155	126	140				421	4	4	4				12
	南 大 谷 中 学 校	157	159	140				456	4	4	4				12
	南 中 学 校	232	259	270				761	7	7	7				21
	つくし野中 学 校	260	283	252				795	7	8	7				22
	成 瀬 台 中 学 校	143	151	180				474	4	4	5				13
	南 成 瀬 中 学 校	192	212	188				592	5	6	5				16
	鶴 川 中 学 校	178	185	168				531	5	5	5				15
	鶴 川 第 二 中 学 校	252	297	283				832	7	8	8				23
	薬 師 中 学 校	123	121	144				388	4	3	4				11
	真 光 寺 中 学 校	109	132	118				359	4	4	3				11
	金 井 中 学 校	147	170	159				476	5	5	4				14
	忠 生 中 学 校	225	213	192				630	6	6	5				17
	山 崎 中 学 校	135	120	101				356	4	3	3				10
	木 曾 中 学 校	108	129	114				351	4	4	3				11
	小 山 田 中 学 校	165	170	179				514	5	5	5				15
	小 山 中 学 校	257	272	251				780	8	7	7				22
	堺 中 学 校	195	194	183				572	6	5	5				16
	小中一貫ゆくのき学園(武蔵岡中学校)	22	30	22				74	1	1	1				3
	計	3,484	3,653	3,559				10,696	102	101	98				301

2015年5月1日 児童・生徒数/学級数（特別支援学級）

		種別	児童・生徒数							学級数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
2015年5月1日 児童・生徒数／学級数（特別支援学級）	町田第一小学校	知的	1	1	2	4	2	1	11	2
		情緒		1	1	5	2	3	12	2
	町田第二小学校	知的	2	5	2	2	3	2	16	2
	町田第四小学校	情緒								8
	町田第五小学校	知的	3	1	0	1	2	3	10	2
	町田第六小学校	肢体	1	1	0	3	0	0	5	1
	南大谷小学校	知的	1	3	5	4	2	3	18	3
	藤の台小学校	知的	0	0	0	0	5	5	10	2
	本町田東小学校	弱視								1
		難聴								1
		言語								2
	本町田小学校	知的	1	4	5	2	2	11	25	4
	南第二小学校	知的	0	5	3	1	3	4	16	2
	南第四小学校	知的	1	7	3	2	4	1	18	3
		情緒	0	1	3	1	3	2	10	2
	成瀬台小学校	情緒								5
	成瀬中央小学校	情緒								2
	南成瀬小学校	情緒								7
	南つくし野小学校	知的	5	3	3	5	5	3	24	3
	鶴川第二小学校	知的	3	0	1	3	2	0	9	2
	鶴川第三小学校	情緒								6
	鶴川第四小学校	知的	3	4	3	3	5	4	22	3
	金井小学校	知的	2	2	0	4	3	2	13	2
	忠生小学校	知的	2	3	3	3	3	4	18	3
	忠生第三小学校	情緒								6
	山崎小学校	肢体	0	1	0	0	1	2	4	1
		難聴								1
	小山田南小学校	知的	2	1	4	3	4	2	16	2
	木曽境川小学校	知的	2	3	0	2	3	4	14	2
	七国山小学校	知的	3	4	9	8	6	1	31	4
	図師小学校	情緒								6
	小山小学校	知的	1	2	3	5	1	2	14	2
	小山ヶ丘小学校	知的	1	0	3	3	2	1	10	2
	小山中央小学校	知的	1	1	0	2	2	3	9	2
		情緒								8
	相原小学校	知的	1	2	1	1	2	5	12	2
	計(固定学級)		36	55	54	67	67	68	347	55
	町田第一中学校	知的	6	3	9				18	3
		肢体	2	4	3				9	2
	町田第二中学校	難聴								1
		情緒								6
	町田第三中学校	情緒								2
	南大谷中学校	知的	5	6	3				14	2
	南中学校	知的	2	4	5				11	2
	つくし野中学校	知的	7	9	11				27	4
	成瀬台中学校	知的	3	5	4				12	2
	鶴川中学校	知的	9	7	5				21	3
	薬師中学校	知的	10	3	2				15	2
	忠生中学校	知的	9	12	7				28	4
	山崎中学校	知的	9	4	7				20	3
	小山中学校	情緒								4
	堺中学校	知的	7	6	4				17	3
	計(固定学級)		69	63	60				192	30

※着色部分は、通級制及び巡回制

児童・生徒数・学級数の推移（通常の学級）

（各年５月１日現在）

年度	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	学級数	児童・生徒数
1989	44	721	24,855	20	370	14,763	64	1,091	39,618
1990	44	719	24,162	20	355	13,520	64	1,074	37,682
1991	44	711	23,376	20	350	12,912	64	1,061	36,288
1992	44	698	22,699	20	333	12,221	64	1,031	34,920
1993	44	681	22,171	20	313	11,512	64	994	33,683
1994	44	672	21,605	20	303	11,047	64	975	32,652
1995	44	655	20,968	20	291	10,554	64	946	31,522
1996	44	638	20,104	20	291	10,420	64	929	30,524
1997	44	613	19,444	20	281	10,110	64	894	29,554
1998	44	613	19,062	20	275	9,892	64	888	28,954
1999	44	604	18,747	20	262	9,471	64	866	28,218
2000	44	600	18,675	20	257	9,182	64	857	27,857
2001	43	603	18,831	20	252	8,893	63	855	27,724
2002	41	616	19,411	20	247	8,725	61	863	28,136
2003	39	628	20,013	20	241	8,453	59	869	28,466
2004	39	639	20,582	20	240	8,287	59	879	28,869
2005	40	656	21,418	20	236	8,215	60	892	29,633
2006	40	669	21,973	20	242	8,393	60	911	30,366
2007	40	686	22,572	20	244	8,660	60	930	31,232
2008	40	696	23,111	20	255	9,091	60	951	32,202
2009	41	710	23,398	20	259	9,235	61	969	32,633
2010	42	715	23,687	20	265	9,444	62	980	33,131
2011	42	720	23,554	19	272	9,732	61	992	33,286
2012	42	735	23,407	20	281	10,076	62	1,016	33,483
2013	42	726	23,259	20	291	10,398	62	1,017	33,656
2014	42	724	23,020	20	294	10,576	62	1,018	33,596
2015	42	712	22,740	20	301	10,696	62	1,013	33,436

児童・生徒数・学級数の推移（特別支援学級）

（各年５月１日現在）

年度	小 学 校		中 学 校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童・生徒数
1989	29	116	14	87	43	203
1990	30	113	13	67	43	180
1991	30	120	13	63	43	183
1992	30	123	14	61	44	184
1993	31	130	12	62	43	192
1994	35	123	12	62	47	185
1995	36	119	16	66	52	185
1996	36	139	16	68	52	207
1997	38	145	15	64	53	209
1998	36	152	15	67	51	219
1999	37	146	17	77	54	223
2000	38	160	21	86	59	246
2001	39	160	20	93	59	253
2002	31	167	15	85	46	252
2003	36	199	15	81	51	280
2004	37	222	16	98	53	320
2005	41	246	17	104	58	350
2006	44	268	22	125	66	393
2007	51	299	20	120	71	419
2008	48	302	23	148	71	450
2009	48	312	27	179	75	491
2010	51	320	30	209	81	529
2011	51	314	34	221	85	535
2012	51	318	31	205	82	523
2013	52	331	30	197	82	528
2014	53	332	29	184	82	516
2015	55	347	30	192	85	539

（４）通学区域

小・中学校では、住所により通学する学校（指定校）が定められています。これは、市内に小学校または中学校が２校以上あるときには、就学すべき学校を指定しなければならないとする学校教育法施行令第５条第２項の規定を根拠としています。この指定された学校に通学すべき地域を通学区域といいます。

（５）通学区域緩和制度

通学区域緩和制度（2013 年度から名称変更）は、入学に際し、保護者やお子さんが通学区域により指定された学校（指定校）以外の小・中学校への入学を希望できる制度です。希望できる対象学年は、翌年度に入学する新小学１年生、新中学１年生で、２年生以上の児童・生徒は対象になりません。

町田市では 2004 年 4 月入学者から、通学区域緩和制度の前身である学校選択制度を実施していましたが、2011 年 7 月に「町田市立学校選択制度等検討委員会」を発足し、制度の在り方について再検討を行いました。

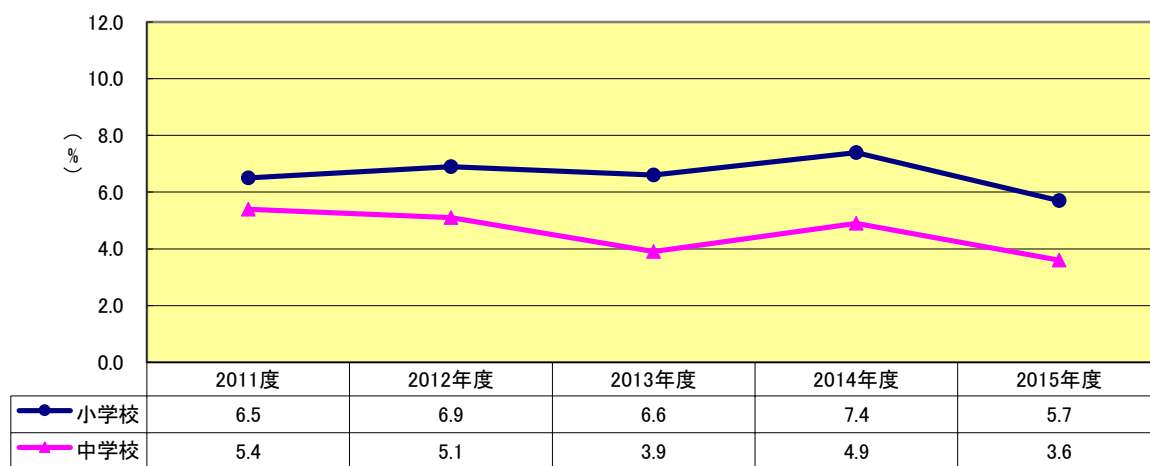
その結果、児童の通学上の安全を確保するために、小学校については、入学希望校を居住地に関わらず自由に選択できる自由選択制から、指定校の隣接校もしくは通学距離が片道 1.5 k m 未満の学校とする隣接区域選択制への変更等を行い、名称を現在の「通学区域緩和制度」に改め、2013 年度入学者から運用を開始しています。

2004 年度の制度発足以来、多くの児童・生徒がこの制度により希望の小・中学校に入学しています。

入学児童・生徒数と通学区域緩和制度（旧学校選択制度）利用者数（人）（各年度入学時点）

年度		2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
区分						
新小学 1 年生	入学児童数	3, 715	3, 732	3, 742	3, 786	3, 621
	うち制度利用者数	241	259	246	282	206
新中学 1 年生	入学生徒数	3, 448	3, 381	3, 528	3, 618	3, 474
	うち制度利用者数	185	173	139	179	125

通学区域緩和制度利用率の推移



２．教育環境

子どもたちの学校生活や学習活動をより充実させるため、学校施設や学校図書館などの教育環境の整備を進めています。

（１）学校施設

① 学校施設一覧

(2015 年 5 月 1 日現在)

小学校	体育館		25m プール		校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普通	特別
町田第一小学校	平 14. 9	1,259	平 14. 9	10	12,570	4,979	37	5,016	22	12
町田第二小学校	昭 48. 3	668	昭 44. 7	10	9,923	4,330	74	4,404	14	13
町田第三小学校	昭 49. 11	684	昭 46. 7	10	13,892	4,823	419	5,242	17	13
町田第四小学校	昭 49. 6	691	昭 44. 7	10	15,677	5,490	85	5,575	18	21
町田第五小学校	昭 48. 3	681	昭 44. 7	09	12,426	5,314	46	5,360	19	18
町田第六小学校	昭 47. 3	701	昭 44. 7	10	15,702	5,559	105	5,664	15	16
南大谷小学校	昭 51. 9	706	昭 49. 7	10	14,099	5,258	119	5,377	23	8
藤の台小学校	昭 49. 11	726	昭 48. 7	10	13,322	5,835	92	5,927	21	16
本町田東小学校	昭 49. 5	736	昭 46. 7	10	16,771	5,706	17	5,723	9	21
※ ¹ 本町田小学校	(昭 53. 6)	659	(昭 52. 6)	10	17,509	5,746	172	5,918	19	17
南第一小学校	昭 46. 2	675	昭 57. 3	10	13,650	5,910	68	5,978	17	15
南第二小学校	昭 53. 7	743	昭 54. 3	10	16,500	5,970	62	6,032	15	14
南第三小学校	昭 49. 9	723	昭 52. 6	10	11,063	4,964	96	5,060	13	22
南第四小学校	昭 48. 10	678	昭 44. 7	10	15,825	5,323	331	5,654	21	15
つくし野小学校	昭 48. 3	668	昭 46. 7	10	15,197	4,156	106	4,262	12	13
小川小学校	昭 52. 8	703	昭 50. 7	10	16,076	5,776	51	5,827	17	18
成瀬台小学校	昭 52. 7	703	昭 50. 6	10	16,513	6,483	95	6,578	20	19
鶴間小学校	昭 53. 7	710	昭 52. 6	10	19,910	5,115	186	5,301	17	10
高ヶ坂小学校	昭 54. 5	683	昭 53. 6	10	18,639	3,656	948	4,604	12	11
成瀬中央小学校	昭 55. 3	682	昭 54. 6	10	16,509	4,720	169	4,889	8	11
南成瀬小学校	昭 55. 5	780	昭 55. 6	10	16,228	6,139	13	6,152	16	20
南つくし野小学校	昭 55. 3	694	昭 55. 5	10	14,653	6,448	13	6,461	27	10
鶴川第一小学校	昭 47. 3	668	昭 44. 8	10	19,362	4,577	121	4,698	23	7
鶴川第二小学校	昭 48. 2	668	昭 41. 6	10	21,571	5,442	1110	6,552	21	17
鶴川第三小学校	昭 49. 11	724	昭 44. 8	10	19,828	7,070	27	7,097	18	30
鶴川第四小学校	昭 49. 12	724	昭 46. 7	10	19,829	6,634	91	6,725	24	23
金井小学校	昭 53. 5	708	昭 53. 7	10	16,072	5,361	71	5,432	20	10
大蔵小学校	昭 55. 3	695	昭 55. 7	10	19,223	5,458	1,119	6,577	23	14
三輪小学校	昭 57. 7	725	昭 57. 7	10	13,812	5,026	0	5,026	19	10

※ ² 忠生小学校	昭 47. 3	668	昭 45. 9	10	14, 228	5, 246	1, 391	6, 637	22	15
小山田小学校	昭 55. 11	888	昭 55. 10	10	18, 617	4, 157	782	4, 939	14	9
忠生第三小学校	昭 51. 6	689	昭 44. 7	10	13, 138	5, 586	82	5, 668	17	22
山崎小学校	昭 55. 3	732	昭 55. 6	10	16, 299	5, 236	141	5, 377	13	17
小山田南小学校	昭 59. 3	710	昭 59. 5	10	17, 833	6, 321	670	6, 991	23	14
※ ¹ 木曽境川小学校	(昭 53. 5)	681	(昭 52. 6)	10	16, 735	5, 501	225	5, 726	15	16
※ ¹ 七国山小学校	(昭 51. 3)	653	(昭 51. 6)	10	22, 772	4, 928	1, 345	6, 273	26	12
図師小学校	平 21. 3	1, 161	平 21. 3	11. 4	20, 542	7, 043	0	7, 043	20	20
小山小学校	昭 51. 9	714	昭 53. 6	10	20, 716	6, 433	120	6, 553	26	13
小山ヶ丘小学校	平 17. 3	1, 045	平 17. 3	10	15, 743	8, 402	0	8, 402	26	18
小山中央小学校	平 22. 2	1, 101	平 22. 2	11. 2	29, 125	8, 236	0	8, 236	23	19
相原小学校	昭 48. 3	668	昭 61. 5	10	13, 246	6, 145	33	6, 178	20	16
※ ³ 大戸小学校	昭 58. 4	753	昭 58. 5	10	26, 738	5, 476	0	5, 476	9	20

※¹ は学校適正規模適正配置事業に伴う統合校で、（ ）内は旧施設完成年月となります。

※² 忠生第一小学校は、2011 年 9 月 1 日より、忠生小学校に校名変更しました。

※³ 大戸小学校は小中一貫校（大戸小学校と武蔵岡中学校＝ゆくのき学園）に整備したため、大戸小学校内にある教室数には中学校使用分も含まれます。

(2015 年 5 月 1 日現在)

中学校	体育館		25m プール		校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普 通	特 別
町田第一中学校	平 4. 8	1, 366	平 4. 8	11	15, 113	6, 749	1, 369	8, 118	25	23
町田第二中学校	昭 57. 3	976	昭 43. 8	11	17, 684	6, 562	208	6, 770	15	25
町田第三中学校	昭 47. 3	702	昭 44. 12	11	14, 196	5, 470	78	5, 548	12	22
南大谷中学校	昭 51. 7	944	昭 50. 6	11	19, 026	6, 263	164	6, 427	16	17
南中学校	平 11. 2	1, 924	平 11. 2	11	24, 928	7, 099	94	7, 193	23	19
つくし野中学校	昭 51. 6	983	昭 51. 7	11	16, 527	7, 676	150	7, 826	27	20
成瀬台中学校	昭 54. 5	992	昭 54. 6	11	16, 502	8, 231	143	8, 374	16	26
南成瀬中学校	昭 57. 3	1, 084	昭 57. 3	11	19, 962	6, 680	0	6, 680	16	23
鶴川中学校	平 14. 1	1, 293	平 14. 1	11	19, 656	10, 821	0	10, 821	16	25
鶴川第二中学校	昭 48. 10	772	昭 48. 8	11	16, 520	7, 490	146	7, 636	23	17
薬師中学校	昭 47. 3	710	昭 46. 7	11	20, 048	6, 539	83	6, 622	14	22
真光寺中学校	昭 55. 5	947	昭 55. 6	11	17, 940	6, 179	148	6, 327	11	16
金井中学校	昭 59. 5	1, 048	昭 59. 5	11	20, 323	5, 385	32	5, 417	14	13

中学校	体育館		25m プール		校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普 通	特 別
忠生中学校	平 5. 8	2,206	平 5. 8	11	22,021	7,966	86	8,052	21	21
山崎中学校	昭 54. 5	1,005	昭 54. 6	11	22,042	6,813	160	6,973	16	21
木曽中学校	昭 58. 3	1,031	昭 58. 5	11	21,599	6,455	0	6,455	11	19
小山田中学校	昭 59. 3	1,085	昭 59. 3	11	21,274	5,312	949	6,261	15	20
小山中学校	平 24. 2	1,231	平 24. 2	13	26,148	9,361	0	9,361	23	24
堺中学校	平 20. 2	1,234	平 20. 2	11	14,907	7,600	66	7,666	18	21
武蔵岡中学校	昭 58. 5	904	昭 58. 5	11	29,574	3,981	0	3,981	0	17

② 学校施設の整備

耐震補強工事が 2010 年度に完了し、小・中学校の耐震化率 100%を達成しました。2011 年度以降は、重点事業として、老朽化した施設の学習環境改善を目的とした改築事業やトイレ改修事業、および航空機騒音の学習への影響を軽減するための防音事業を実施しています。また、安全、快適な学習環境を確保するため、体育館等の高所に設置された設備等の落下防止（防災機能強化事業）や建物の長寿命化、省エネを目指した施設改修工事を進めています。

2014 年度は、トイレ改修事業 5 校、校庭芝生化事業 3 校、防音事業 3 校、中規模改修事業 4 校、防災機能強化事業 33 校の工事を行いました。また、鶴川第一小学校（校舎・プール棟）の改築工事に着手しました（2014－2015 年度 2 ヶ年事業）。

2014 年度 主な整備実績

工事内容	小学校	中学校
トイレ改修事業	南第一小学校 南第二小学校 小川小学校 相原小学校	町田第三中学校 鶴川第二中学校
校庭芝生化事業	鶴川第二小学校 鶴川第三小学校	成瀬台中学校
防音事業（※ 1）	町田第二小学校（1 年度目） 藤の台小学校（2 年度目）	町田第三中学校（2 年度目）
中規模改修事業	大蔵小学校 山崎小学校	山崎中学校 木曽中学校
防災機能強化事業（※ 2）	13 校	20 校

※ 1 防音事業は、原則として各校 2 年度にわたって実施しています。

※ 2 防災機能強化事業は、2014 年度に 33 校、2015 年度に 29 校を実施し、全校の施工が完了する予定です。

③ 学校施設増改築のあゆみ

※建築面積とは保有面積のことであり、数値は建築時のものです。

学 校 名	1 期				2 期				3 期				4 期				5 期			
	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室
町 田 第 一 小 学 校	昭44.7	給(140) 3,947㎡	26	4	平14.9	1,032㎡	0	3												
町 田 第 二 小 学 校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭45.8	給(144) 1,600㎡	9	1	昭47.9	370㎡	訪問学級		昭55.8	911㎡	4	2				
町 田 第 三 小 学 校	昭41.3	747㎡	4	2	昭43.7	571㎡	6	0	昭45.10	給(146) 1,782㎡	10	1	昭49.11	1,857㎡	7	4				
町 田 第 四 小 学 校	昭46.5	1,244㎡	11	0	昭47.9	給(200) 1,236㎡	5	0	昭48.1	1,826㎡	11	4	昭49.6	1,198㎡	5	3				
町 田 第 五 小 学 校	昭42.3	630㎡	6	0	昭45.6	604㎡	3	3	昭51.8	2,907㎡	12	3	昭52.12	給(271) 1,139㎡	6	2				
町 田 第 六 小 学 校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭41.12	659㎡	3	0	昭42.9	給(151) 451㎡	5	0	昭44.6	941㎡	8	0	昭47.3	1,679㎡	5	4
南 大 谷 小 学 校	昭48.12	給(293) 3,820㎡	20	4	昭51.9	1,438㎡	5	3												
藤 の 台 小 学 校	昭48.3	給(347) 4,007㎡	22	5	昭49.11	1,578㎡	7	4	昭51.6	370㎡	4	0								
本 町 田 東 小 学 校	昭45.7	2,349㎡	12	3	昭46.3	1,311㎡	9	1	昭48.7	1,368㎡	11	0	昭49.5	678㎡	0	4	平2.12	給(251)		
本 町 田 小 学 校	平15.3	給(344) 5,918㎡	18	11																
南 第 一 小 学 校	昭41.3	1,820㎡	10	4	昭44.2	507㎡	6	0	昭45.8	909㎡	8	0	昭54.9	給(265) 2,626㎡	4	4				
南 第 二 小 学 校	昭53.7	給(307) 6,018㎡	25	6																
南 第 三 小 学 校	昭46.3	1,185㎡	11	0	昭47.8	給(204) 488㎡	3	0	昭48.5	889㎡	5	1	昭49.9	2,402㎡	8	5				
南 第 四 小 学 校	昭42.2	766㎡	4	2	昭42.10	1,260㎡	11	0	昭44.10	給(144) 960㎡	4	1	昭48.3	1,385㎡	7	2	昭52.12	999㎡	4	2
つ く し 野 小 学 校	昭46.3	1,147㎡	6	1	昭47.3	給(163) 1,511㎡	9	2	昭49.10	1,711㎡	11	3								
小 川 小 学 校	昭50.3	3,025㎡	13	3	昭51.6	1,029㎡	7	0	昭52.8	666㎡	0	4	昭53.8	1,149㎡	8	3	昭51.3	給(300)		
成 瀬 台 小 学 校	昭50.3	2,771㎡	11	3	昭51.5	1,846㎡	11	1	昭52.7	666㎡	0	4	昭53.8	1,413㎡	15	0	昭60.2	給(233)		
鶴 間 小 学 校	昭52.3	3,814㎡	15	5	昭53.7	1,554㎡	6	0	昭62.2	給(223)										
高 ケ 坂 小 学 校	昭53.5	3,799㎡	12	5	昭55.3	給(181)			平3.3	424㎡	0	1								
成 瀬 中 央 小 学 校	昭54.5	給(333) 5,088㎡	20	5																
南 成 瀬 小 学 校	昭55.5	給(255) 6,127㎡	25	9																
南 つ く し 野 小 学 校	昭55.5	給(254) 6,461㎡	26	8																

学 校 名	1 期				2 期				3 期				4 期				5 期			
	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室
鶴川第一小学校	昭41.3	1,603㎡	12	3	昭41.5	866㎡	6	0	昭45.3	619㎡	3	1	昭50.7	1,234㎡	6	2	昭55.3	給(241)		
鶴川第二小学校	昭48.10	1,738㎡	13	1	昭49.11	1,875㎡	10	2	昭51.6	1,730㎡	3	3	昭60.3	給(212)			平20.3	1,119㎡	4	2
鶴川第三小学校	昭42.9	2,268㎡	12	2	昭44.11	874㎡	8	0	昭47.3	1,858㎡	7	4	昭49.11	1,983㎡	8	6	昭54.3	給(321)		
鶴川第四小学校	昭46.3	3,308㎡	20	3	昭48.3	給(238) 1,665㎡	8	3	昭49.12	666㎡	0	4	昭50.6	1,178㎡	8	0				
金井小学校	昭53.3	給(293) 5,432㎡	24	5																
大蔵小学校	昭55.5	給(252) 5,554㎡	25	5	平17.11	132㎡	0	1	平19.3	443㎡	4	2	平19.3	891㎡	4	2				
三輪小学校	昭57.7	給(256) 4,349㎡	15	6	平4.2	662㎡	4	1												
忠生小学校	昭42.1	1,406㎡	14	0	昭43.7	1,245㎡	4	2	昭45.6	781㎡	5	1	昭48.7	1,803㎡	6	4	昭57.3	給(179)		
小山田小学校	昭55.11	給(220) 4,157㎡	11	5	昭63.3	179㎡	2	0	平18.3	498㎡	2	2								
忠生第三小学校	昭49.11	2,626㎡	20	0	昭52.12	給(250) 2,882㎡	10	7												
山崎小学校	昭55.5	給(257) 5,377㎡	21	6																
小山田南小学校	昭59.3	給(244) 4,845㎡	18	5	昭60.3	1,688㎡	9	2	昭62.3	406㎡	2	1								
木曾境川小学校	平14.3	給(428) 6,407㎡	13	11																
七国山小学校	平16.3	給(395) 6,273㎡	20	9																
図師小学校	平21.3	給(394) 7,043㎡	17	19																
小山小学校	昭51.9	給(257) 5,237㎡	23	6	昭57.3	1,303㎡	8	2												
小山ヶ丘小学校	平17.3	給(505) 8,402㎡	26	15																
小山中央小学校	平22.2	給(485) 8,236㎡	22	17																
相原小学校	昭44.3	900㎡	8	0	昭46.3	488㎡	6	0	昭51.6	2,192㎡	10	4	昭52.12	給(389) 2,439㎡	6	3				
大戸小学校	昭58.5	給(251) 4,967㎡	18	6	平5.12	473㎡	2	0												

学 校 名	6期			
	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室
南 第 四 小 学 校	平15.3	給(88) 167m ²		
忠 生 小 学 校	平16.3	給(93) 1,338m ²	6	2

学 校 名	1 期				2 期				3 期				4 期				5 期			
	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室
町田第一中学校	昭37.8	1,987㎡	10	3	昭39.3	1,440㎡	9	3	昭45.7	1,320㎡	9	0	昭48.10	1,666㎡	0	8	昭51.8	514㎡	訪問学級	
町田第二中学校	昭47.12	1,445㎡	9	1	昭49.1	2,041㎡	14	3	昭50.12	3,052㎡	1	13								
町田第三中学校	昭43.3	2,981㎡	12	8	昭46.3	749㎡	6	0	昭47.3	683㎡	0	4	昭49.5	1,021㎡	6	2				
南大谷中学校	昭50.3	4,289㎡	18	7	昭51.7	784㎡	0	4	昭51.9	1,344㎡	7	0								
南中学校	昭43.8	762㎡	9	0	昭46.3	1,226㎡	6	2	昭47.3	2,116㎡	13	1	昭52.9	2,605㎡	4	9				
つくし野中学校	昭50.7	4,643㎡	17	8	昭53.8	2,164㎡	10	4	昭61.1	1,010㎡	3	3								
成瀬台中学校	昭54.5	5,987㎡	23	10	昭56.5	1,242㎡	10	1	昭61.5	1,145㎡	0	5								
南成瀬中学校	昭57.3	6,700㎡	30	9																
鶴川中学校	平13.1	5,369㎡	13	18																
鶴川第二中学校	昭48.3	3,123㎡	15	3	昭48.10	818㎡	0	4	昭50.7	1,355㎡	8	2	昭57.3	2,269㎡	7	4				
薬師中学校	昭46.3	3,378㎡	12	7	昭47.3	692㎡	0	4	昭50.7	1,026㎡	7	1	昭55.3	1,492㎡	12	0				
真光寺中学校	昭55.5	6,327㎡	21	10																
金井中学校	昭59.5	5,403㎡	15	9																
忠生中学校	昭48.7	2,146㎡	11	4	昭49.11	4,439㎡	12	10	昭56.5	1,225㎡	10	0								
山崎中学校	昭54.5	6,103㎡	22	9	昭62.3	870㎡	0	3												
木曾中学校	昭58.5	6,487㎡	20	10																
小山田中学校	昭59.3	4,499㎡	13	8	昭60.3	748㎡	3	2	昭62.3	397㎡	0	2	昭63.3	207㎡	2	0	平7.2	345㎡	1	1
小山中学校	平24.2	9,361㎡	24	26																
堺中学校	昭47.11	1,437㎡	12	0	昭48.8	2,096㎡	6	7	昭55.5	2,308㎡	4	3	昭50.2	292㎡		格枝室	平20.2	3,031㎡	校舍棟及び 体育館棟	
武蔵岡中学校	昭58.5	3,133㎡	9	5	平4.1	848㎡		2												

（２）学校図書館

学校図書館は、自由な読書活動の場として、学びの場として、子どもの成長を支える重要な拠点です。学校図書館をよりよいものとし、子どもたちの読書環境を充実させることで、豊かな知性や感性を養い「生きる力」をはぐくんでいきます。

① 町田市取組

・図書指導員の配置

学校図書館の充実を図るため、全校に図書指導員（2013 年度に学校図書ボランティアから名称変更）を配置しています。図書指導員は、蔵書管理、図書館の環境整備、教育指導支援（読み聞かせ、ブックトーク、委員会支援、調べ学習支援など）等を行っています。

・教員等の研修の充実

2014 年度は、学校図書館に関する研修を年 3 回開催しました。対象は、司書教諭、学校図書館担当教諭、初任者教諭及び図書指導員です。市立図書館・市民文学館職員からの実践事例紹介や、ワークショップ、ブックトークの実演などを通じて学校ですぐに役立つ研修を行いました。



ワークショップの様子

・市立図書館との連携

児童・生徒や学校の多様なニーズに応えるため、市立図書館では学校図書館支援貸出を実施し、市立図書館に所蔵している資料を貸し出して、学校図書館をサポートしています。

また、児童・生徒が図書館に行って調べ学習をしたり、市立図書館職員を学校に招き、授業で読み聞かせやブックトークをしたり、市立図書館の豊富な蔵書や知識・技能を有効活用しています。



小学校の学校図書館



中学校の学校図書館

② 学校図書館蔵書状況

文部科学省は、学校図書館の蔵書の充実を図るため、1993年に学校図書館図書標準を策定し、学級数に応じて整備すべき蔵書数を定めました。

教育委員会では、学校図書館の蔵書を計画的に整備していくため、2013年度に「町田市立学校図書館蔵書整備計画作成指針」を策定し、この指針に基づき、各校において「町田市立学校図書館蔵書整備計画」を作成しました。2018年度末までに全小・中学校で学校図書館図書標準の達成を目指します。

また、「読書センター」及び「学習・情報センター」機能を十分に果たすことができるよう、蔵書の整備を図っていきます。

小・中学校の蔵書整備状況（2014年度末）

学校図書館 図書標準達成率	小学校	中学校
100%以上	28校	6校
75%以上 100%未満	13校	8校
50%以上 75%未満	1校	6校



3. 町田市の特色ある取組

小・中学校に通う児童・生徒に対し、次の取組を行っています。

(1) 小・中学校間の連携

町田市では、小中9年間を見通して小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達に応じたきめ細やかな指導を行うため、小・中学校間の連携を推進しています。

① 小中一貫（連携）教育推進地区の指定

町田市では、2013年に小・中学校全62校を対象に、各中学校と、その中学校が進学先となる小学校をあわせたブロックである「小中一貫（連携）教育推進地区」を指定しました。この地区内の小・中学校が連携し、小中9年間を見通して、地域や児童・生徒の実態に応じた生活指導や学力向上に取り組むとともに、教員や児童・生徒の交流などを行います。

小中一貫（連携）教育推進地区一覧

地区	中学校	小学校			
1	町田第一中学校	町田第一小学校	町田第三小学校	町田第四小学校	
2	町田第二中学校	町田第二小学校	町田第六小学校	高ヶ坂小学校	
3	町田第三中学校	本町田小学校	忠生第三小学校		
4	南大谷中学校	町田第五小学校	南大谷小学校		
5	南中学校	南第一小学校	南第三小学校	南第四小学校	
6	つくし野中学校	つくし野小学校	小川小学校	鶴間小学校	南つくし野小学校
7	成瀬台中学校	成瀬台小学校	成瀬中央小学校		
8	南成瀬中学校	南第二小学校	南成瀬小学校		
9	鶴川中学校	鶴川第一小学校	大蔵小学校		
10	鶴川第二中学校	鶴川第二小学校	鶴川第三小学校	三輪小学校	
11	薬師中学校	藤の台小学校	本町田東小学校		
12	真光寺中学校	鶴川第四小学校			
13	金井中学校	金井小学校			
14	忠生中学校	忠生小学校	山崎小学校	図師小学校	
15	山崎中学校	七国山小学校			
16	木曽中学校	木曽境川小学校			
17	小山田中学校	小山田小学校	小山田南小学校		
18	小山中学校	小山小学校	小山中央小学校		
19	堺中学校	小山ヶ丘小学校	相原小学校		
20	武蔵岡中学校	大戸小学校			

② 小中一貫町田っ子カリキュラム

小中9年間を通した教育を推進するため、2014年に「規範教育・キャリア教育・食育」の3領域について改訂版「小中一貫町田っ子カリキュラム」を発行し、どの小・中学校でも効果的な学習ができるよう取り組んでいます。2013年度まで「小中一貫町田っ子カリキュラム」に含まれていた「英語教育」については、2014年度から「町田市小学校英語教育カリキュラム」として実施しています。

2014年度の小中一貫町田っ子カリキュラム（規範教育・キャリア教育・食育）の内容

	基礎期（小学校 1・2・3・4 年）	充実期（小学校 5・6年、中学校 1年）	発展期（中学校 2・3年）
小中一貫町田っ子カリ キュラム「規範教育」	ルール定着期	基礎的な教養期	実践・発展期
小中一貫町田っ子カリ キュラム「キャリア教 育」	働く大人の姿に触 れる学習期	働く意味・意義を考 える学習期	適性や進路を考え る学習期
小中一貫町田っ子カリ キュラム「食育」	基礎となる体験の 充実期	体験の充実と知識 の習得期	学んだことの実践 期

2014年度の町田市小学校英語教育カリキュラムの内容

	基礎期（小学校 5・6年）	充実期（中学校1 年）	発展期（中学校 2・3年）
町田市小学校英語教育 カリキュラム	コミュニケーション能力の素地を養 う	コミュニケーション能力の基礎を養う	

（２）学力向上

町田市では、小・中学校に通う児童・生徒の学力状況を分析し、その実態に沿った学力向上策を検討・提案する組織として、2013年度に「町田市学力向上推進委員会」を設置し、全市的に学力向上策に取り組んでいます。また、同一地域の小・中学校が連携して、地域ごとの学力上の課題を解決するための学力向上策にも取り組んでいます。

2015年3月には、全小・中学校で統一して取り組む「町田市学力向上推進プラン（第1期）」を策定しました。また、同年5月に「町田市学力向上推進フォーラム」を実施し、教職員、保護者、学校関係者、一般市民に対し、「町田市学力向上推進プラン（第1期）」の周知を図るとともに、これまでの学力向上に向けた取組とその成果について報告を行いました。

2014年度 「全国学力・学習状況調査」の町田市平均正答率

科目	小学6年生	中学3年生
国語 A	72.9%	80.3%
国語 B	54.8%	52.4%
算数（数学） A	78.0%	68.8%
算数（数学） B	58.8%	60.8%

※「国語 A 及び算数（数学） A」は主として知識に関する問題、「国語 B 及び算数（数学） B」は主として活用に関する問題を指しています

① 町田市学力向上推進委員会の設置

2013 年度に、小・中学校校長会の代表や教育委員会の職員で構成する「町田市学力向上推進委員会」を設置しました。委員会の設置期間は 2018 年度までの 5 年間です。委員会では学識経験者を顧問に迎え、小・中学校に通う児童・生徒の学力向上に向け学力向上策の検討・提案を行いました。

2014 年度 町田市学力向上推進委員会構成員

委員長	七国山小学校長	山本 弘明	委員	指導室長	宮田 正博
副委員長	小山田中学校長	橋本 雅彦	委員	指導課統括指導主事	小林 洋之
委員	町田第六小学校長	武藤 雄丈	委員	指導課指導主事	寺本 英雄
委員	南第一小学校長	佐野 友隆	委員	指導課指導主事	大山 聡
委員	忠生第三小学校長	西久保 律子	委員	指導課指導主事	井元 章二
委員	小山ヶ丘小学校長	室屋 憲一	委員	指導課指導主事	酒井 章
委員	町田第一中学校長	花田 英樹	委員	指導課指導主事	津島 弘和
委員	町田第二中学校長	富田 直人			

町田市学力向上推進委員会顧問

東京大学大学院	藤村 宣之 教授
---------	----------

2014年度 町田市学力向上推進委員会活動

「町田市学力向上推進プラン（第 1 期）」案の作成
学力向上推進フォーラムの開催準備
2015年度年間予定の確認と都学力調査結果についての考察
学力向上推進パイロット校での実践結果を受けた「協同的探究学習の手引き」の改訂に向けた検討
「学力向上に関わる実践資料集」の作成 (学力向上に関わる実践資料集：小・中学校各校が取り組んだ協同的探究学習の授業実践を記載した資料)

② 学力向上推進パイロット校の指定

小・中学校児童・生徒の学力向上のための指導法を開発し、その成果を検証する学校として、2013年度に小・中学校それぞれ2校ずつを「学力向上推進パイロット校」に指定しました。このパイロット校の指定期間は2年間です。パイロット校では、自分自身あるいは他者の知識を利用しながら考えを構成したり、その思考プロセスを表現して他者と共有して理解を深めたりする学習法である「協同的探究学習」を実践しました。パイロット校での実践結果を踏まえ、2014年3月に「協同的探究学習の手引き」を作成しました。

2013 年度・2014 年度 学力向上推進パイロット校一覧

科目	小学校	中学校
国語	南第一小学校	町田第一中学校
算数・数学	町田第六小学校	町田第二中学校

2015 年度・2016 年度 学力向上推進パイロット校一覧

科目	小学校	中学校
国語	つくし野小学校	鶴川中学校
算数・数学	忠生第三小学校	木曽中学校

③ 学力向上モデル地区の指定

全国学力・学習状況調査の結果からは、地域ごとに異なる学力上の課題があることが分かりました。地域ごとの学力上の課題を解決するため、2013 年度に小中一貫（連携）教育推進地区の全 20 地区のうち、5 地区を「学力向上モデル地区」に指定しました。このモデル地区では、民間教育機関と連携して学力調査を行い、調査結果からわかった課題を解決するための取組を行っています。

学力向上モデル地区（指定期間 2013 年度～2015 年度）

中学校	小学校	
町田第三中学校	本町田小学校	忠生第三小学校
南大谷中学校	町田第五小学校	南大谷小学校
薬師中学校	藤の台小学校	本町田東小学校
小山田中学校	小山田小学校	小山田南小学校
堺中学校	小山ヶ丘小学校	相原小学校

(3) 体力向上

町田市では、児童・生徒の体力の向上に向けて、次の取組を実施しています。

① 一校一取組

小・中学校各校では、児童・生徒の体力・運動能力に関する具体的な目標を定め、地域や学校の実態に合った取組を行う「一校一取組」を実施しています。

2014 年度 各校の一校一取組

【小学校】

学校名	取組名	学校名	取組名
町田第一小学校	町一スポーツタイム	南つくし野小学校	運動旬間（長縄・持久走）
町田第二小学校	体力向上旬間	鶴川第一小学校	朝スポ（朝のスポーツタイム） 縄跳び集会
町田第三小学校	全校大縄大会！	鶴川第二小学校	みんなで楽しく体力を伸ばそう！
町田第四小学校	町田第四小学校の一校一取組	鶴川第三小学校	リズム縄跳び
町田第五小学校	町田第五小学校の一校一取組	鶴川第四小学校	なわとび・タイム
町田第六小学校	スポーツマスターカード、マッスル週間、体育朝会、 5分間大縄大会、マラソンタイム	金井小学校	金井小学校の一校一取組
南大谷小学校	南大谷 JUMP&RUN	大蔵小学校	長縄タイム・短縄チャレンジ
藤の台小学校	藤の台小学校の一校一取組	三輪小学校	みわっこタイム
本町田東小学校	東っ子スポーツ	忠生小学校	走って GO 忠生小ランナー
本町田小学校	本町田小学校の一校一取組	小山田小学校	小山田小学校の一校一取組
南第一小学校	長縄 8 の字跳び大会	忠生第三小学校	忠三パワーアップタイム
南第二小学校	恩田川持久走大会	山崎小学校	マッスルタイム
南第三小学校	長縄大会、なわとびしよう	小山田南小学校	小山田南小学校の一校一取組
南第四小学校	南四体操（ソーラン節）	木曽境川小学校	体力向上月間
つくし野小学校	長縄集会、つくし野マラソン	七国山小学校	七国山マラソン
小川小学校	長縄チャレンジ、小川サーキット、持久走	図師小学校	図師小学校の一校一取組
成瀬台小学校	朝遊び	小山小学校	スポーツ月間（縄跳び・持久走）
鶴間小学校	鶴間小学校の一校一取組	小山ヶ丘小学校	大縄集会
高ヶ坂小学校	高ヶ坂小学校の一校一取組	小山中央小学校	小山中央小学校の一校一取組

成瀬中央小学校	成瀬中央小体力向上大作戦	相原小学校	レッツエンジョイ！相っ子なわとびタイム
南成瀬小学校	みんなで楽しく体力アップ	大戸小学校	体力づくり「持久走」、体力づくり「なわとび」

【中学校】

学校名	取組名	学校名	取組名
町田第一中学校	30秒腕立て伏せと30秒腹筋	薬師中学校	薬師中学校の各校一取組
町田第二中学校	町田第二中学校の各校一取組	真光寺中学校	「補強運動」＋「毎時間タイムトライアル」
町田第三中学校	町田第三中学校の各校一取組	金井中学校	金井中学校の各校一取組
南大谷中学校	駅伝の授業	忠生中学校	忠生中学校の各校一取組
南中学校	集団行動	山崎中学校	YTP2014 (YAMASAKI TRAINING PROGRAM 2014)
つくし野中学校	3T (Tsukushino Training Time)	木曽中学校	木曽中学校の各校一取組
成瀬台中学校	成瀬台中学校の各校一取組	小山田中学校	体力向上を目指した体づくり運動
南成瀬中学校	自分の体力を知ろう(体力向上に向けて)	小山中学校	コアトレーニング
鶴川中学校	鶴川中学校の各校一取組	堺中学校	堺中学校の各校一取組
鶴川第二中学校	鶴川第二中学校の各校一取組	武蔵岡中学校	持久走大会

② 体力向上推進校

特定の分野について研究主題を掲げ、全校体制で実践、研究にあたる学校である研究推進校のうち、体力の向上に関する研究を行う学校を「体力向上推進校」に指定し、研究費の助成を行っています。この体力向上推進校の研究内容は、他の小・中学校にも情報発信しました。

2014年度 体力向上推進校

対象校	研究主題
鶴間小学校	健やかな心と体を育てる ～互いに気付き 感じる 楽しい体づくり運動～

③ 小学校連合運動会

陸上運動や体づくり運動をととして学校間の競技交流、競技力及び体力の向上を図ることを目標として、2014年度は、南地区の複数の小学校が集まって小学校連合運動会を行いました。これを踏まえ、2015年度から、全小学校で近隣の複数の小学校が集まって小学校連合運動会を実施します。

2014年度 小学校連合運動会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
11月20日	南中学校	南第一小学校、南第三小学校、 南第四小学校	各学校の6年生 (約300名)

④ 町田市中学校対抗連合陸上競技大会

生徒にスポーツ実践の機会を与え、体力、技能の向上を図り、心身ともに健康な生徒を育成するとともに、スポーツ交流を通じて各学校間の親睦を図り生涯スポーツの基礎づくりに寄与することを目的として、町田市中学校対抗陸上競技大会を開催しています。

2014年度 町田市中学校対抗連合陸上競技大会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
10月8日	野津田競技場	市内中学校（私立学校を含む）	各中学校の選抜選手

（４）防災教育

小・中学校では、月1回の避難訓練日を教育課程に位置付け、学校生活のあらゆる時間帯での地震・火災等を想定して、避難の方法や行動の仕方を確実に身に付けさせるための訓練を行っています。

また、9月1日の「防災の日」には、小学校では保護者への引き渡し訓練、中学校では下校計画に基づいて帰路の安全を確認の上、帰宅方面別に集団下校等を行っています。

授業においては、「3・11を忘れない」（防災教育補助教材・東京都教育委員会作成）を活用した指導を、小学校は5・6年生、中学校は2・3年生で行っています。

さらに、2014年度からは、全ての中学校区で「防災教育デー」を設定し、各中学校区の小・中学校が共通の取組をすることで、大規模災害に対する備えを進めているところです。

（５）生活指導補助者派遣

小学校に入学したばかりの新1年生がスムーズに学校生活に慣れることができるように、約2ヶ月間、学級担任の補助者として生活指導補助者を派遣しています。登下校の指導、学校での約束事や学習規律の徹底、清掃・給食・安全指導補助など、学級担任と打ち合わせを行いながら必要な指導の補助を行います。

（６）科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学５年生、中学２年生から希望を募り、土曜日に研究活動を行っています。

運営は小・中学校の校長会が行い、理科専門の教員が実験や作業を指導しています。小学校科学教育センターは４月から翌年２月まで、教育センターをメイン会場として、年に１８回実施しています。中学校科学教育センターは７月から１２月まで、指導教員の所属する中学校で、年に１０回実施しています。閉講式には、それぞれ研究の成果を発表しています。

なお、２０１４年度は、小学生 ９０名、中学生 ３９名が参加しました。

２０１４年度 第 ５５ 回町田市小学校科学教育センター開催実績（９０人参加）

No.	日程	内容	会場
第 １ 回	４ 月 ２６ 日	開講式	市民フォーラム
第 ２ 回	５ 月 １７ 日	基礎研究①	教育センター
第 ３ 回	６ 月 １４ 日	基礎研究②（出前授業）	町田第一小学校
第 ４ 回	６ 月 ２１ 日	基礎研究③	教育センター
第 ５ 回	６ 月 ２８ 日	町田の自然を調べる① 川の生物観察（野外観察）	大地沢青少年センター
第 ６ 回	６ 月 ２８ 日	町田の自然を調べる① 川の生物観察（まとめ・自由研究①）	大地沢青少年センター
第 ７ 回	７ 月 ５ 日	自由研究②、海の事前学習	教育センター
第 ８ 回	７ 月 ３０ 日	海の生物観察（野外観察）	油壺海岸
第 ９ 回	７ 月 ３０ 日	海の生物観察（見学）	油壺海岸
第 １０ 回	９ 月 ６ 日	自由研究③	教育センター
第 １１ 回	９ 月 １３ 日	自由研究④	教育センター
第 １２ 回	９ 月 ２０ 日	自由研究⑤	教育センター
第 １３ 回	１０ 月 １１ 日	町田の自然を調べる② 雑木林の植物観察（野外観察）	かしの木山自然公園
第 １４ 回	１０ 月 １１ 日	町田の自然を調べる② 雑木林の植物観察（まとめ）	かしの木山自然公園
第 １５ 回	１０ 月 １８ 日	発展研究①	教育センター
第 １６ 回	１１ 月 １５ 日	発展研究②	教育センター
第 １７ 回	１２ 月 ６ 日	各組の自由研究発表	教育センター
第 １８ 回	２ 月 ２１ 日	閉講式	市民フォーラム

2014 年度 第 52 回町田市中学校科学教育センター開催実績（39 人参加）

No.	日程	内容	会場
第 1 回	7 月 5 日	開講式	教育センター
第 2 回	7 月 19 日	免疫について	町田第二中学校
第 3 回	7 月 24 日、25 日	光センサー	都立町田工業高校
第 4 回	9 月 27 日	カエルの解剖	南成瀬中学校
第 5 回	10 月 4 日	DNA の抽出実験	つくし野中学校
第 6 回	11 月 8 日	液体窒素	町田第一中学校
第 7 回	11 月 22 日	楽しい化学実験	忠生中学校
第 8 回	11 月 29 日	光の実験	つくし野中学校
第 9 回	12 月 6 日	化石でアクセサリーを作ろう	小山中学校
第 10 回	12 月 13 日	開講式	教育センター

（ 7 ） 児 童 ・ 生 徒 の 文 化 ・ ス ポ ー ツ 活 動

児童・生徒は学習活動や部活動等の時間における文化・スポーツ活動を通して、日々自己を磨き、高める活動を行っています。そして、その成果を各種大会で遺憾なく発揮し、優秀な成績を収めています。

① 連合行事の開催

児童・生徒が日ごろの活動成果を発表する場として次のような連合行事を開催しました。

連合行事（2014 年度の実施内容）

行 事 名		実施日	場 所
小学校	合同音楽会	10/21～ 10/23	町田市民ホール
中学校	陸上競技大会	10/7	陸上競技場
	音楽会（吹奏楽）	7/24	町田市民ホール
	音楽会（合唱）	10/24	町田市民ホール
	演劇発表会	11/2～ 11/3	ひなた村

② 町田市公立小・中学校作品展

毎年1月～2月に国際版画美術館で、日ごろの学習活動の成果を発表しています。小学校については書写と図画工作、中学校については美術作品を展示しています。



2014 年度 小学校図画工作展出品作品



2014 年度 中学校美術展出品作品

4. 研修・研究

学校の教育力の向上を図るため、次のとおり、教員を対象とした研修の実施や、教員・学校の研究活動の支援を行っています。

(1) 研修

「人格の完成」を目指す教育を支えているものは教員です。そのために、児童・生徒、保護者及び地域から信頼を得られるよう教員の資質の向上を常に図る必要があります。法令においても教員に対して絶えず自己研さんに励む責務を課すとともに、行政に対しても教員の研修の機会を付与する責務を課しています。教育委員会では、基本的な指導力及び専門的な指導力の向上を図るため、各種の研修を行っています。

また、毎年各学校から希望を募って、国や都の研修事業に研修生の派遣を行っています。

2014 年度 教育委員会実施研修一覧

No.	研修名	回数	参加人数	研修の目的
1	校長研修	2	61	学校教育における諸課題を多角的に認識するとともに、その解決に必要な教職員の意識改革と管理職のリーダーシップの在り方や新しい学校づくりを目指した学校経営の在り方を探る。
2	副校長研修	2	62	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
3	新任・転任校長・副校長研修会	1	31	教育委員会事務局各課から施策の概要等を説明する。
4	新任副校長研修	1	12	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
5	教務主任研修	3	62	主幹及び教務主任としての資質・能力の向上と教育課題への対応能力をはぐくむ。(2014 年度の重点課題は学力向上。)
6	生活指導主任研修	6	62	主幹及び生活指導主任としての資質・能力の向上と校内における調整能力をはぐくむ。
7	研究主任研修	3	62	研究主任や研究担当としての資質・能力の向上を図り、校内研究の推進能力を身に付ける。
8	新任主幹教諭研修	2	16	主幹教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
9	新任主任教諭研修	1	84	主任教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
10	10 年経験者研修	10	40	中堅教員としての資質・能力の向上を図る。
11	授業力アップ研修 【4 年次以上希望者】	8	4	授業における自己の課題を明らかにし、具体的解決策を研究する。
12	若手教員育成研修 【3 年次】	2	125	2 年次における研修内容を定着させるとともに、外部との連携・折衝力、学校経営力・組織貢献力について、講義や演習を通して学ぶ。
13	若手教員育成研修 【2 年次】	3	125	1 年次における研修内容を定着させるとともに、学習指導力、生活指導力・進路指導力を中心に、講義や演習を通して学ぶ。
14	若手教員育成研修 【1 年次】	10	100	新任教諭に対し、幅広い知見をもたせて児童・生徒及び保護者の期待に応えることができるようにするとともに、実践的指導力を培い、教員として資質・能力の向上を図る。

15	人権教育研修	3	62	各校での人権教育推進に向け、人権に関する諸課題について研修を深める。
16	学校図書館担当者 (司書教諭・図書指導員) 研修	3	110	司書教諭及び図書指導員の職務についての理解を深め、学校図書館の充実に資する。
17	特別支援教育に関する研修	13	62	特別支援教育を推進するため、コーディネーター、学級主任、学級担任の資質・能力の向上を図る。
18	授業力・教育課題研修	36	1300	授業力や新たな教育課題等への対応力を高める。
19	情報教育研修	2	62	情報モラル教育の在り方とセキュリティ対策に関する知識・技術について理解を深め、教育の情報化を推進するための資質及び指導力の向上を図る。
20	パソコン実技研修	18	20	コンピュータの操作技能を高め、授業での活用、教材作成等活用指導力の向上を図る。
21	熱中症予防対応研修	1	100	熱中症予防についての知識と具体的な対応策を理解する。
22	安全な水泳指導のための講習会	1	62	水泳指導の基本的な考え方や進め方について周知するとともに、小・中学校における安全管理、教職員及びプール指導員等の指導力向上及び事故防止の徹底を図る。 ※水泳指導責任者が各校において伝達講習会を行い報告書を提出する。
23	市内施設視察見学研修	1	120	町田市への転任者や初任者に対して、学習にも活用できるよう、市内の諸施設を紹介する。

2014 年度 研修生派遣先一覧

No.	研修名	派遣人数
1	東京教師道場	31 (うち3名は指導者として派遣)
2	東京都教育研究員	12
3	大学院設置基準第14条 適用大学院派遣研修	1

(2) 研究

小・中学校では、教員の資質向上及び各学校の課題解決のため、自主的に研究主題を設定して校内研究を進めています。

この中から、学校からの応募に基づき、市全体の教育課題に関する研究主題を掲げ、実践、研究にあたる学校を研究推進校に指定し、その研究費を助成しています。また、同様に各教科等の指導法や評価についての研究を進める学校を研究校に指定しています。研究推進校・研究校は、文部科学省、東京都教育委員会等の研究指定を受けることもあります。

さらに、その他の研究活動として、小・中学校の教員が各教科・領域の研究を行う教育研究会や、教育委員会が設置する「特別支援教育推進委員会」や「学力向上推進委員会」などの各種委員会があります。

2014 年度 研究推進校一覧

学校名	研究教科・領域	研究主題
町田第二小学校	国語科	論理的に考え、書くことができる子供の育成
南第三小学校	算数科	どの子も「わかって・楽しい」算数
鶴間小学校	体育科	健やかな心と体を育てる ～互いに気付き 感じる 楽しい体づくり運動～
高ヶ坂小学校	算数科	自分の考えを伝え合い、学び合う子供の育成 ～算数科における言語活動を通して～
成瀬中央小学校	算数科	自ら考え、進んで課題を解決しようとする児童の育成 ～算数科における基礎的・基本的な内容の定着を通して～
南成瀬小学校	社会科・生活科	一人一人が確かに考え、表現する授業の工夫 ～社会科・生活科の学習を通して～
小山小学校	生活科・総合的な学習の時間	地域に学び、地域に生きる小山っ子 ～探求的な学習における学習活動の工夫～
小山中央小学校	国語科	言語活動を通して、論理的思考力を育てる指導法の工夫 ～書く活動をベースとして「話す・聞く」力の伸長を図る～
山崎中学校	情報教育	タブレット PC や情報機器を活用した学習指導 ～学習意欲の向上にむけて～
ゆくのき学園	各教科等	同一校舎型の小中一貫教育 ～児童・生徒の基礎学力向上と体験的活動の充実～

2014 年度 研究校一覧

学校名	研究教科・領域	研究主題
町田第一小学校	道徳	豊かな心をもった児童の育成 ～自尊感情や自己肯定感を高める指導のあり方～
つくし野小学校	国語科	自分の考えをもち、豊かに表現する子供の育成 ～学習内容を大切に、基本的な表現方法を身につけさせる授業～
小川小学校	体育科	心も体も健康な子ども ～体育科・健康教育を通して～
成瀬台小学校	体育科	運動の楽しさや喜びを味わう子供 ～「わかる」「できる」「かかわる」陸上運動系の運動遊び・運動～
鶴川第一小学校	算数科	自ら学び、よく考える子供の育成 ～主に算数の学習を通して～
鶴川第三小学校	体育科	楽しく運動に取り組み、一人一人の力を伸ばす体育授業の工夫 ～技能習得を実感できる学習づくりの手だて～
忠生小学校	国語科	文章を根拠に自分の考えを表現する力を育てる学習指導の工夫 ～物語文・説明文を通して～
山崎小学校	算数科	「分かる楽しさ・できる喜び」のある算数科の学習 ～どの子にも計算力が身に付く指導の工夫～
木曽境川小学校	算数科	筋道を立てて考え、分かる喜びを感じられる子供の育成 ～算数科を通して～
南成瀬中学校	各教科等	言語活動を通じた思考力・判断力・表現力を育てる学習指導



5. 特別支援教育

障がいがあり、特別な支援を必要とする児童・生徒について、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行っています。

児童・生徒は、特別支援学級に籍を置いて、その障がいや発達に応じた指導を受けながら、一部の教科や給食などは通常の学級で交流学习をする、また、通常の学級で学びながら、ある一定の時間は通級制の学級に通って指導を受けたり、巡回制の学級で教師の訪問指導を受けたりするなど、様々な形で指導を受けています。

障がいのある児童・生徒は、障がいのない児童・生徒と共に学ぶことで、学習への意欲や社会性などをはぐくみます。障がいのない児童・生徒もまた、同じ社会の一員として認め合い、育ち合うことの意味について理解し、思いやりの心を身に付けていきます。

（１）就学・進学相談

障がいのある児童・生徒が、その程度や発達に応じた教育が受けられるように、就学・進学相談を行っています。

小学校や中学校への入学にあたっては、児童・生徒の観察や診察、保護者との面接の結果等から、どのような教育が望ましいか、「町田市障がい児就学相談委員会」が所見を出し、保護者の方と就学・進学先について考えていきます。「町田市障がい児就学相談委員会」は、専門的、総合的立場から判断する機関として設置されており、学校、教育関係、福祉・保育関係、医療関係等の専門家により構成されています。

また、入学後、その障がいや発達の状況に変化が生じたときや、現在の学級に適応が困難となったときにも、保護者から随時相談を受け付けています。

就学・進学相談 利用者数（人）

区分 \ 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
就学相談	158	143	168	175	176
進学相談	155	129	120	136	164

（２）特別支援学級・特別支援教室

① 特別支援学級

障がいがあることにより、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育の場として、一部の小・中学校に特別支援学級を設けています。特別支援学級では、児童・生徒の障がいや習熟度に応じた学習活動を行います。

小・中学校の特別支援学級は、1959年に町田第二小学校、1961年に町田第一中学校に知的障がい学級を開設したのにはじまり、2015年5月1日現在では、小学校30校、中学校13校に特別支援学級（知的障がい、情緒障がい、肢体不自由、弱視、難聴、言語障がいの6種別の学級）を設置しています。

これらの特別支援学級には、障がいの種別により、固定制、通級制、巡回制の3つの指導形態があります。

固定制は、通常の学級での学習では十分にその効果を上げることが困難な児童・生徒のために、障がいや発達の状態にふさわしい指導計画を作成し、指導を行う形態です。

通級制は、通常の学級での学習におおむね参加できるが、一部特別な指導を必要とする児童・生徒に対して、特定の時間だけ、特別な場に児童・生徒が通って指導を受ける形態です。

巡回制は、通級制の一形態で、教員が一部特別な指導を必要とする児童・生徒の在籍校を巡回して指導する形態です。

知的障がい、情緒障がい、肢体不自由の固定制学級では、校内の通常の学級との授業や学校行事での交流、他校の特別支援学級や特別支援学校との連合行事も盛んに行われています。

○ 知的障がい・情緒障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れがある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童・生徒の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、基礎的な能力を身に付ける学習や身辺自立の練習など、きめ細かい指導をしています。

また、卒業後のことも考えて、社会適応のための学習や自立活動も行っています。

○ 肢体不自由学級〈固定制〉

脳性マヒや進行性筋萎縮症などにより身体に不自由がある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では教科学習のほか、理学療法士、作業療法士による自立活動も行っています。

○ 弱視学級〈巡回制〉

治療をしても、メガネをかけても十分な視力を得ることができない児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、弱視学級の先生の指導を受けて、拡大鏡やレンズを使用した物の見方など、視覚をとおして物事を理解するための視知覚向上練習や、運動能力及び表現力を向上させるための練習などを行っています。

○ 難聴学級〈巡回制〉

補聴器を使用しても話し声を聞きとることが困難な児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、難聴学級の先生から、補聴器を使用しての聴能練習、発音の指導やグループ指導を受けています。

○ 言語障がい学級〈巡回制〉

口蓋裂（こうがいれつ）、吃音（きつおん）などにより、発音や話し方に課題のある児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、言語障がい学級の先生から、ことばや発音の指導等を受けています。

○ 情緒障がい学級〈通級制〉

情緒の不安定や社会性の未発達のため、対人関係や集団への適応に困難を示す、文字や計算など特定の分野に発達の偏りがある、などの児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、在籍校の通常の学級で勉強していますが、週 1 日程度、指定の情緒障がい学級設置校に通い、コミュニケーション能力を伸ばす、社会性を養うなどの指導を受けています。

2015 年度 特別支援学級

《小学校》

(2015 年 5 月 1 日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい・ 情緒障がい学級 《固定制》	53	337	町田第一小学校 南大谷小学校 南第二小学校 鶴川第二小学校 忠生小学校 七国山小学校 小山中央小学校	町田第二小学校 藤の台小学校 南第四小学校 鶴川第四小学校 小山田南小学校 小山小学校 相原小学校	町田第五小学校 本町田小学校 南つくし野小学校 金井小学校 木曾境川小学校 小山ヶ丘小学校
肢体不自由学級 《固定制》	2	9	町田第六小学校	山崎小学校	
弱視学級《巡回制》	1	6	本町田東小学校		
難聴学級《巡回制》	2	18	本町田東小学校	山崎小学校	
言語障がい学級 《巡回制》	4	60	本町田東小学校	成瀬中央小学校	
情緒障がい学級 《通級制》	46	423	町田第四小学校 鶴川第三小学校 小山中央小学校	成瀬台小学校 忠生第三小学校	南成瀬小学校 図師小学校

《中学校》

(2015 年 5 月 1 日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい学級 《固定制》	28	183	町田第一中学校 つくし野中学校 薬師中学校 堺中学校	南大谷中学校 成瀬台中学校 忠生中学校	南中学校 鶴川中学校 山崎中学校
肢体不自由学級 《固定制》	2	9	町田第一中学校		
難聴学級《巡回制》	1	4	町田第二中学校		

情緒障がい学級 《通級制》	12	110	町田第二中学校 町田第三中学校 小山中学校
------------------	----	-----	-----------------------

② 特別支援教室

通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、カーム・ダウン（落ち着かせること）や相談を行うための専用の教室として、毎年小・中学校ともに1校ずつ特別支援教室を設置しています。2015年5月1日現在、小学校8校、中学校8校に設置しています。

（３）人的支援制度

特別支援学級に在籍する児童・生徒だけでなく、通常の学級に在籍するLD（学習障がい）、ADHD（注意欠如・多動性障がい）、高機能自閉症等の児童・生徒も含め、特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活、また学校の教育活動をサポートするため、次の人的支援を行っています。

○ 特別支援教育支援員

特別支援教室を整備した学校に配置し、教員の補助者として、特別な支援が必要な児童・生徒の介助や安全への配慮を行い、児童・生徒の学校生活、学校の教育活動を支援しています。

○ 障がい児介助員

特定の特別支援学級などに配置し、教員の補助者として、特別な支援が必要な児童・生徒の介助や安全への配慮を行い、児童・生徒の学校生活、学校の教育活動を支援しています。

○ 特別支援教育専門家チーム

学校からの求めに応じ、大学教授などの特別支援に関する専門員（11名）が、学校に出向き、事例相談や校内研修での特別支援教育に関する講義などを行っています。

事例相談では学校に対し、特定の特別な支援を必要とする児童・生徒について、発達障がいの状況や課題に関して見解を示したり、必要な支援・配慮等を踏まえた学習指導や生活指導の具体策、保護者への支援にかかる方策、学校の組織的取組に関する改善策などについて指導・助言を行ったりしています。

○ 特別支援教育巡回相談員

通常の学級における特別な支援を要する児童・生徒に関する各校の実態を把握し、児童・生徒への指導や、管理職、特別支援教育コーディネーター、担任等への助言を行います。

また、特別な支援を要する児童・生徒への指導について、専門家チーム、関係諸機関への連絡・相談を円滑に行えるようにします。

○ 特別支援教育巡回指導員

心理系の大学院生や既卒者である指導員を週1回学校に派遣し、通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童・生徒に対する指導補助を行うとともに、心理的側面からの支援方法を学校と協議

します。

○ 特別支援学級専任相談員

通常の学級に在籍し、特別な支援が必要な児童・生徒への指導方法や対応についての助言を行います。また、特別支援学級の指導内容や方法について必要な助言を行います。

（４）連合行事

特別支援学級の児童・生徒は普段、少人数で指導を受けていますが、より大きな集団の中で交流することも必要です。そこで、いくつかの学級が連合して、宿泊学習、遠足、合同学習会等を実施しています。

2014 年度 実績

行事名	実施日	人数	場 所	備 考
町田の丘学園 交流会	5 月 20 日	245 人	町田の丘学 園体育館	中学校の特別支援学級と 町田の丘学園中学部の生 徒が一堂に会し、交流して います。
町田市中学校 連合マラソン大会	10 月 31 日	250 人	陸上競技場	中学校の特別支援学級と 町田の丘学園中学部の生 徒が、障がいの程度に応じ て参加しています。
スポーツ交流会	2 月 20 日	180 人	総合体育館	中学校の特別支援学級の 生徒が一堂に会し、スポー ツで交流しています。

（５）副籍制度

都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）をもち、直接的な交流や間接的な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度です。

副籍制度によって、地域指定校の学校行事や授業等への参加などの直接的な交流や、学校便りや学級便りの交換などの間接的な交流が行われています。交流の内容は、保護者の希望をもとに、都立特別支援学校と地域指定校との間で相談して決定します。



6. 教育相談等

すべての児童・生徒が家庭、学校、地域でいきいきと活動し、人間性豊かに成長するよう、いじめや不登校、子育てに伴う保護者の悩みなどの教育上の問題について、児童・生徒、保護者、学校等に対し、様々な支援・指導を行っています。

（１）教育相談

児童・生徒及び幼児の様々な教育上の問題について、専門の相談員が児童・生徒、保護者、学校・保育園・幼稚園関係者の相談に応じています。主な相談内容は、不登校、いじめ、体罰、集団不適應、友人関係、発達の問題、学習に関すること、生活面に関することなどですが、その他子どもの教育に関するあらゆる相談に応じています。

また、2013 年度から小・中学校全校に配置されたスクールカウンセラーが、家族や友人関係、学習や進学等の様々な悩みに関して、児童・生徒の相談に応じたり、児童・生徒の教育上の問題について保護者の相談に応じたりしています。

その他、学校だけでは支援が難しい課題を抱える児童・生徒に対して、スクールソーシャルワーカーが、社会福祉の専門的知識・技術を活用し、児童相談所、福祉事務所等の様々な関係機関と連携して、問題の解決に向けた支援を行っています。

専門の相談員による教育相談

区 分	相談日時	場所	担当	問い合わせ・予約
来所相談	月～金曜日及び第1・第3土曜日 午前8時30分～正午 午後1時～午後5時 ※ 予約制	教育センター	教育 相談員 (心理)	7 9 2 - 6 5 4 6
出張教育相談	「広報まちだ」にてお知らせ ※ 予約制	市民センター (なるせ駅前、 南、鶴川、忠生*、 堺、小山)	教職 経験者	
電話による 教育相談	月～金曜日 午前9時～正午 午後1時～午後4時30分		教職 経験者	7 9 2 - 6 5 4 8

* 2014 年度は山崎小学校にて実施

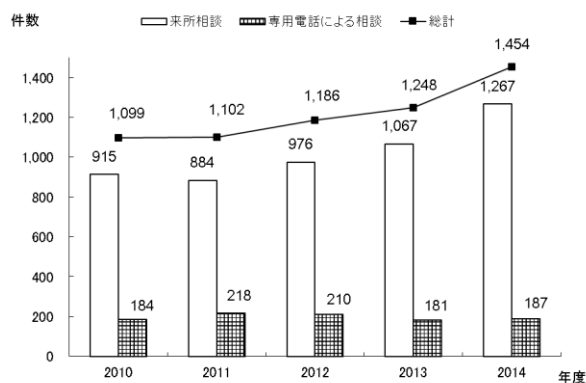
2014 年度 相談件数

相談内容	来所相談（出張相談含む）					電話 相談	合計 （件）
	就学前	小学生	中学生	高校生	その他		
不登校	1	131	229	69	9	31	470
発達障がい	10	240	77	3	2	20	352
育て方等	4	13	6	4	0	26	53
落ち着きなし	6	110	9	2	0	11	138
いじめ	1	9	2	0	1	9	22
学校等との関係	1	16	3	0	0	25	45
進路	3	9	3	1	5	9	30
知的発達	0	51	17	2	0	1	71
友人関係	0	9	4	1	0	23	37
反社会的行動	0	15	10	7	0	7	39
その他	11	88	59	10	4	25	197
合計	37	691	419	99	21	187	1454

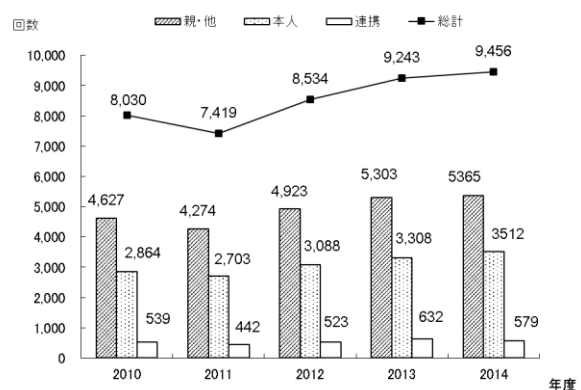
相談の対象年齢別割合（2014 年度）



相談件数の推移



相談回数（延べ）の推移



(2) 不登校児童・生徒支援

① 適応指導教室

小・中学校に在籍する児童・生徒の中には、心理的な要因により不登校又は不登校の傾向にある児童・生徒がいます。教育委員会では、そのような児童・生徒の学校復帰に向けた支援を目的として、2003 年度から小学校適応指導教室（けやき教室）を、2013 年度から中学校適応指導教室（くすのき教室）を設置しています。

開設時間は、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 3 時までです。社会性・協調性を育てるための体験的活動や学習内容の補充、生活リズムの調整、自信を取り戻すための励ましなど、児童・生徒の状況に応じて、保護者と相談の上、具体的な指導内容を決めて指導を行い、学校復帰に向けた支援を行っています。

けやき教室通室児童数

年 度	人 数 (人)
2010 年度	10
2011 年度	12
2012 年度	14
2013 年度	13
2014 年度	9

くすのき教室通室生徒数

年 度	人 数 (人)
2013 年度	16
2014 年度	10

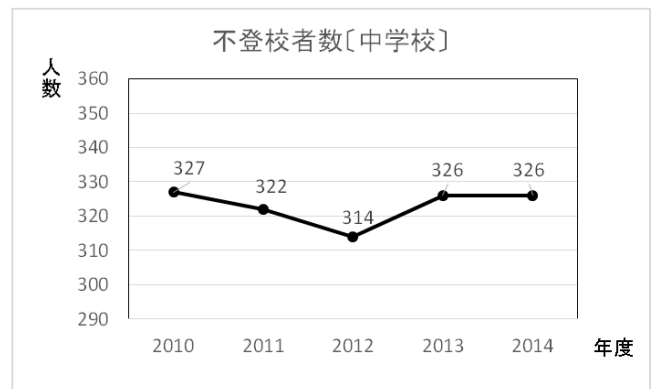
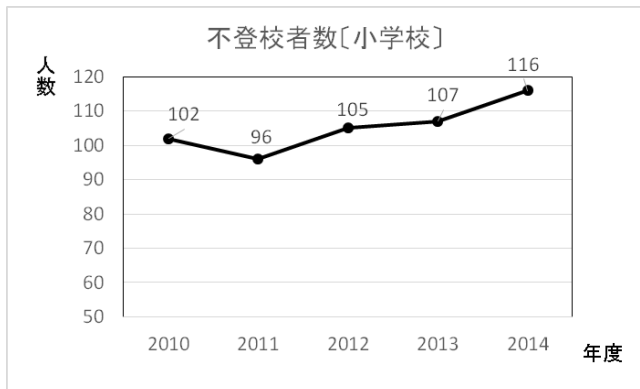
② 「e-ラーニング」による学習支援

不登校児童・生徒への対応のための事業として、2007 年度から桜美林大学と連携して、e-ラーニングによる学習支援を行っています。これは、不登校の児童・生徒が自宅等のパソコンを使い、インターネット上のドリル学習を進めるプログラムです。

2014 年度は、児童・生徒、保護者の希望により 10 名分の ID・パスワードを配付しました。



不登校児童・生徒数の推移（過去 5 年間）



（３）まちだJUKU

学習の妨げとなる暴力行為を繰り返す生徒に対し、一定期間、個別指導を行うことにより、当該生徒の問題行動を改善するとともに、健全な学校生活を送ることができるよう支援することを目的として、2013年度にまちだJUKUを開設しました。

まちだJUKUは、問題行動を繰り返す生徒が在籍する中学校の校長からの要請に応じて、まちだJUKU専門チームの指導員を中学校に派遣し、在籍校の教員と一緒に一人一人の生徒に対して個別学習・カウンセリングなどを、原則として1週間行います。



7. 家庭・地域と連携した学校づくり

家庭・地域・学校が連携・協働し、地域の資源などを生かした教育活動を推進するために様々な取組を行っています。

（１）学校支援地域理事・スクールボード校

地域での学校支援の機能を高め、効果的かつ円滑な学校運営を行うため、小・中学校各校に学校支援地域理事を配置しています。学校支援地域理事は、教育活動の支援、学校評価、地域や保護者と学校職員との連絡調整業務を行っています。この学校支援地域理事を設置する学校をスクールボード校と称しています。

（２）学校支援ボランティア

① 学校支援センター

家庭・地域・学校が協力して子どもを育てていく“しくみ”をつくるため、町田市学校支援センター事業を実施しています。

学校支援センターでは、学校支援ボランティア活動の総合窓口として、地域ボランティアの学校支援活動を推進するとともに、各校に配置されているボランティアコーディネーターの活動支援及び活動の活性化を図るための研修・ミーティングを実施しています。

また、学校支援センターが事務局となり、各校のボランティアコーディネーター、市内連携団体の代表、学校長の代表が情報交換をするための場である「学校支援連絡会」を実施しています。

② ボランティアコーディネーター

学校と地域ボランティアとのかけ橋となるボランティアコーディネーターは、学校のニーズに応じ、必要な学校支援ボランティア人材の手配及び調整、市内連携団体をはじめとした外部団体との連絡調整などを行います。

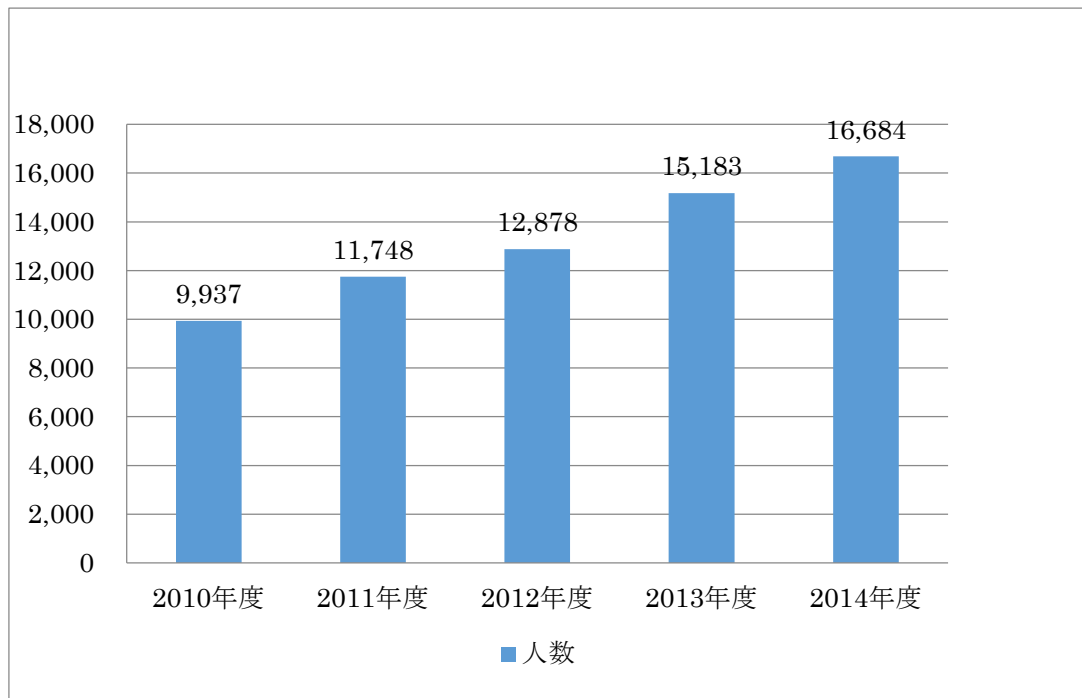
③ 学校支援ボランティア

学校支援ボランティアとは、学校の教育活動に地域の教育力を活かすため、ボランティアとして学校をサポートする保護者、地域の方々、学生、団体及び企業などのことです。このボランティアの力を教育活動に積極的に生かして「地域とともに子どもを育てる」取組を実施しています。

学校支援ボランティアは、国語、算数・数学などの教科や、道徳、総合的な学習、特別活動等での学習活動、さらに、食育、環境学習、キャリア教育、放課後学習をはじめ、委員会・クラブ・部活動指導、農業体験等の体験活動、学校花壇の整備、登下校安全指導といった、学校ニーズに対応した幅広い分野で学校の教育に携わっています。

2014年度の学校支援ボランティア活動者数は16,684人で、前年度に比べて1,501人増加しています。

学校支援ボランティア活動者数の推移（過去５年間）



8. 教育のための支援

保護者の経済的負担を軽減し、教育の振興を図るため、各種の支援を行っています。

(1) 就学援助

就学援助制度は、経済的理由により就学困難な家庭の子どもたちも等しく教育が受けられるよう援助を行うものです。対象は、小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者で、生活保護受給世帯（要保護者）及びこれに準ずる程度に生活に困っている世帯（準要保護者）です。

2014 年度 支給費目別支給額実績

支給費目	対 象					備 考
	要※	準※	学年	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	×	○	小全学年	2,926	36,969	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中全学年	1,730	39,789	
入学準備金	×	○	小1年	428	8,761	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中1年	569	13,400	
修学旅行費 (中学校)	○	○	中3年	581	27,350	生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	○	○	小全学年	3,035	8,431	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
			中全学年	1,470	4,358	
夏季施設費	○	○	小5・6年	1,142	22,223	小学5年生（移動教室を含む）、6年生（夏休み中に実施のもの）、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
			中1・2年	664	23,775	
通学費	○	○	小全学年	63	1,584	通学距離が概ね小学校1.5km、中学校2km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の実費（定期代を上限）を補助します。ただし、特別支援学級在籍の児童・生徒については、距離は問いません（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。
			中全学年	53	3,251	
給食費	×	○	小全学年	2,918	121,527	児童・生徒の給食費として、保護者が実際に負担した経費
			中喫食者のみ	710	24,853	
医療費	○	○	小全学年	80	235	児童・生徒が結膜炎、中耳炎、う歯など学校保健安全法施行令第8条に規定する疾病の治療に要する経費
			中全学年	23	105	
体育実技用具費	×	○	中全学年	286	619	中学校の体育の授業で使用する柔道着、または剣道用具の購入費
学校生活管理指導表作成費	×	○	小全学年	19	45	給食に係る学校生活管理指導表作成に要する経費
			中全学年	1	1	

※要・・・要保護者

準・・・準要保護者

要保護・準要保護児童・生徒の推移と援助総額（過去５年間）

年度	５月１日現在在籍 児童・生徒数（人）		認 定 者 数（人）		受 給 率	援 助 総 額（千円）
			要 保 護	準要保護		
10	小学校	23,968	388	3,192	14.9%	203,817
	中学校	9,626	232	1,733	20.4%	146,145
11	小学校	23,811	397	3,341	15.7%	202,638
	中学校	9,931	255	1,760	20.3%	146,532
12	小学校	23,672	357	3,131	14.7%	203,301
	中学校	10,258	270	1,767	19.9%	143,419
13	小学校	23,539	359	2,987	14.2%	196,499
	中学校	10,565	282	1,733	19.0%	139,940
14	小学校	23,304	363	2,875	13.9%	199,775
	中学校	10,729	241	1,717	18.3%	137,501

（２）通学費補助制度

通学距離が概ね小学校 1.5 km、中学校 2 km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の一部を補助します（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。

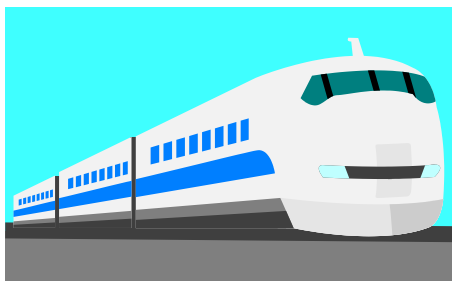
なお、１か月の定期代の 1/2 だった補助率を、2013 年度から 2/3 に引き上げました。



（３）校外学習への補助事業

校外学習で使用するバス借上料や修学旅行の交通費を補助しています。

区分	対象	補助内容
集団宿泊行事	小学５・６年生 中学１・２年生	移動教室等にバス借上料を補助しています。
修学旅行	中学３年生	修学旅行に交通費を補助しています。
社会科見学	小学３年生	市内施設等を中心とした 社会科見学にバスを配車しています。



（４）奨学金制度

町田市では、「町田市奨学資金支給条例」を制定し、有用な人材を育成するため、高等学校または高等専門学校へ進学する方に、修学上必要な学資金を支給しています。

制度の概要

資格	・支給の日の１年前から引き続き市内に住所を有する保護者の子であること。 ・東京都内または神奈川県内に所在する高等学校等に在学すること。 ・成績優秀であること。 ・経済的理由により、修学が困難であること。 ・同種の奨学金を他から支給又は貸与等されていないこと。
支給	・支給金額（2015年4月1日現在） 8,700円以内（月額） ・採用人員 50名以内（募集対象は新高校１年生）

（５）特別支援学級の就学奨励

小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図るため援助を行っています。

保護者の経済状況により、支給費目が異なります。

2014 年度 支給費目別支給額実

支給費目	小学校		中学校		備 考
	人数 (人)	支給額 (千円)	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	198	2,458	97	2,293	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
入学準備金	22	450	30	706	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
修学旅行費 (中学校)	—	—	35	1,599	生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	190	706	88	379	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
夏季施設費	65	1,227	28	977	小学5年生（移動教室を含む）、6年生（夏休み中に実施のもの）、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
通学費	176	1,618	91	2,187	通学にかかる費用の実費（ただし上限あり）の補助（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く）
給食費	197	7,796	67	2,157	児童・生徒の給食費として、保護者が実際に負担した経費
職場実習交通費 (中学校)	—	—	7	6	生徒が教育課程に従い学校長の管理のもとに、学校外の事業所等において職業教育のための実習に参加する場合の交通費
交流学习交通費	35	16	146	224	特別支援学校または他の小・中学校特別支援学級の児童・生徒と集団活動を行う場合の交通費
宿泊訓練費	308	2,695	183	3,581	特別支援学級の行事として行われる宿泊訓練に直接必要な交通費、宿泊費、見学科等
保護者付添通学費	26	610	5	131	通学に際し、児童・生徒に付添って保護者がバス・電車の交通機関を利用する場合の交通費（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く）
脳波検査料	2	4	0	0	医療機関において脳波検査を受けた場合の、保険診療の自己負担額

9. 学校給食

小学校の学校給食は、1947年12月に町田小学校（現町田第一小学校）で週1回のみそ汁給食から始まりました。1955年から徐々に完全給食に移行し、1963年に鶴川地区に最初の共同調理所（1979年廃止）が設置されて、全小学校で完全給食が実施されるようになりました。現在、小学校42校で単独校方式の完全給食を実施しています。中学校においては、弁当併用外注方式により、給食を希望する生徒に対し業者が調理した給食を提供しています。武蔵岡中学校については、2012年度に大戸小学校と小中一貫校化（小中一貫ゆくのき学園）されたことに伴い、自校調理による完全給食を実施しています。

（1）指導目標・栄養管理・学校給食摂取基準

① 学校給食の指導目標

現在の学校給食は、学習指導要領で、特別活動の中の学級活動に位置付けられています。給食の指導では、食事の正しい在り方を体得させるとともに、食事を通して好ましい人間関係を育て、児童・生徒の心身を健全に発達させることなどを目標としています。

② 学校給食の栄養管理

栄養管理は、文部科学省が定める学校給食摂取基準をもとに行っています。

献立作成に関しては、小学校は各学校の栄養士が、中学校は教育委員会事務局の栄養士が行っています。

③ 学校給食摂取基準

厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準」を参考とし、その考え方を踏まえるとともに、文部科学省が2007年度に行った「児童生徒の食生活等の実態調査」や独立行政法人日本スポーツ振興センターが行った「平成19年度児童生徒の食事状況調査」等の結果を勘案して、文部科学省が児童・生徒の健康の増進及び食育の推進を図るために望ましい栄養量を算出したものです。この基準は児童・生徒の1人1回あたりの全国的な平均値を示したものであり、適用に当たっては、個々の児童・生徒の健康状態や生活活動の実態並びに地域の実情等を十分に配慮し、弾力的に適用することとされています。

児童又は生徒 1 人 1 回当たりの学校給食摂取基準（平成 25 年 1 月 30 日文科科学省告示第 10 号による）

区分	栄養量			
	6～7歳	8～9歳	10～11歳	12～14歳
エネルギー(kcal)	530	640	750	820
たんぱく質(g)	20	24	28	30
範囲	16～26	18～32	22～38	25～40
脂質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%			
ナトリウム(食塩相当量)(g)	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満
カルシウム(mg)	300	350	400	450
鉄(mg)	2	3	4	4
ビタミンA(ugRE)	150	170	200	300
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	20	25	35
食物繊維(g)	4	5	6	6.5
マグネシウム(mg)	70	80	110	140
亜鉛(mg)	2	2	3	3

④ 食品構成

学校給食では、多様な食品を適切に組み合わせ、食事内容の充実を図っています。また米を主食としたバランスの良い食事や伝統的な食文化の継承についても配慮しています。

2015 年 4 月時点の町田市食品構成（小学校中学年）

※毎回の給食が、次の基準に沿った食事内容となることを目標に、献立を作成しています。

種類	米	パン						小麦粉及びその製品	芋及びでんぷん	砂糖類	豆もどし(干3)	豆製品	種実
		小麦	イースト	食塩	ショートニング	砂糖類	脱脂粉乳						
(g)	50	9	0.2	0.1	0.28	0.28	0.28	8	32	3.5	7	18	1.5

種類	緑黄色野菜	その他の野菜	くだもの	きのこ	藻類	魚	小魚	肉類	卵	牛乳	乳類	油
(g)	30	75	32	4	2.5	15	2	15	6	206	2	4

（２）衛生管理

学校給食では、安全性の確保に特に注意し、町田市保健所と学校薬剤師の協力を得て、衛生検査や調理員等の研修会等を開催しています。1973 年度からは食品の細菌、添加物、農薬等の検査を実施しています。また、現在は給食室のドライ運用を進めています。



※ドライ運用とは・・・

給食調理施設の床に水や食品をこぼさずに、乾いた状態で調理や洗浄作業を行うことです。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制できたり、床からの跳ね水による食品への食中毒菌の二次汚染を防いだりすることができます。

（３）食物アレルギー対応

① 小学校給食における食物アレルギー対応の手引き

近年増加傾向にある食物アレルギーをもつ児童に適切に対応できるよう「小学校給食における食物アレルギー対応の手引き(改訂版)」を2013年10月に策定しました。

この手引きは、小学校給食における食物アレルギーをもつ児童への対応手順を改めて整備するとともに、教職員一人一人が食物アレルギーに関する正しい知識をもち、緊急時には適切に対応できるよう作成したものです。

（４）町田市学校給食問題協議会

町田市学校給食問題協議会は、1983年4月に市民の直接請求に応じて設置されました。この協議会は、町田市の学校給食の望ましいあり方を確立するために、食事内容、食品の安全性、食生活のあり方、給食費等の諸問題を協議し、学校給食事業の適正かつ円滑な運営に寄与しています。

町田市給食問題協議会の答申（過去5年間）

答申名	日付	内容（骨子）
小学校給食における食物アレルギーの対応について —答申—	2012. 12. 18	小学校給食における食物アレルギー対応を実施するにあたり、対応検討の流れを統一することや、対応の判断基準等を提案。
学校給食費の改定について —答申—	2013. 9. 26	給食費について、文部科学省が定める「学校給食実施基準」を満たすとともに、安心して安全な給食を提供することができるよう給食費の改定を提案。
町田市における小学校給食の望ましいあり方 —答申—	2014. 3. 4	これまで構築してきた小学校給食の実施内容を継続していくことを求めるとともに、今後の重点事項等を提案。

10. 学校保健

学校保健は、健康診断やその他の検査を通して子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに、子どもたち自身に健康診断などの意義や目的を認識してもらい、自らが健康を守るという意識を育てていくことを目的としています。

（１）定期健康診断

全児童・生徒を対象とした定期健康診断を毎年４～６月に実施しています。身体測定、内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科の検診に加え、心臓病、腎臓病、結核などの検診を実施し、病気の予防と早期発見に努めています。以下の結果表のデータは各検診実施時点のものです。

① 各種診断・検査

2014 年度 身体計測平均値（市・都・全国平均値比較）

種別	性別	年 齢 項 目	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
身長 (cm)	男	町田市平均	116.4	122.3	128.3	133.2	138.7	144.8	152.4	159.4	165.1
		都 平 均	117.0	123.0	128.4	134.0	139.2	145.8	153.1	160.3	165.1
		全国平均	116.5	122.4	128.0	133.6	138.9	145.1	152.5	159.7	165.1
	女	町田市平均	115.6	121.5	127.1	133.1	139.8	146.6	151.9	155.1	156.7
		都 平 均	115.7	121.8	127.6	134.0	140.7	147.5	152.1	154.9	157.1
		全国平均	115.5	121.5	127.4	133.4	140.1	146.8	151.8	154.8	156.4
体重 (kg)	男	町田市平均	21.1	23.7	26.6	29.9	33.4	37.4	43.2	48.0	53.2
		都 平 均	21.6	24.2	27.0	30.4	34.1	38.9	44.1	48.9	54.0
		全国平均	21.3	24.0	27.0	30.4	34.0	38.4	44.0	48.8	53.9
	女	町田市平均	20.7	23.2	26.0	29.1	33.1	38.2	43.0	46.9	49.3
		都 平 均	20.8	23.2	26.2	30.1	34.1	39.3	43.4	46.9	50.1
		全国平均	20.8	23.4	26.4	29.8	34.0	39.0	43.6	47.2	50.0
座高 (cm)	男	町田市平均	64.6	67.3	70.2	72.4	74.8	77.4	80.8	84.3	87.8
		都 平 均	64.9	67.8	70.3	72.8	75.1	78.0	81.4	85.1	88.2
		全国平均	64.8	67.6	70.2	72.6	74.9	77.6	81.3	84.9	88.1
	女	町田市平均	64.2	66.9	69.6	72.4	75.6	79.0	81.8	83.8	84.7
		都 平 均	64.4	67.2	69.9	72.8	76.0	79.5	82.2	83.7	85.2
		全国平均	64.4	67.2	69.9	72.6	75.8	79.3	82.1	83.8	84.9

※都平均・全国平均は文部科学省実施「平成 26 年度学校保健統計調査」の結果より



2014 年度 定期健康診断疾病状況

項 目			男		女		備考
			小	中	小	中	
在 籍 者 数			12,005	5,501	11,249	5,212	
受 診 者 数			11,971	5,395	11,233	5,110	
栄養 状態	(1) 栄 養 不 良		5	5	6	3	
	(2) 肥 満 傾 向		160	29	80	24	
脊柱 胸郭	(1) 脊柱側わん症・脊柱異常		23	7	37	24	
	(2) 胸 郭 異 常		15	17	4	0	
視力	裸眼 視力	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計	11,827	5,064	11,071	4,619	
		(1) 1.0以上	8,521	2,784	7,188	2,013	
		(2) 1.0未満 0.7以上	1,341	574	1,524	521	
		(3) 0.7未満 0.3以上	1,176	810	1,426	916	
		(4) 0.3未満	789	896	933	1,169	
		裸眼視力測定者のうち眼鏡・コンタクト装用者	853	905	1,085	1,303	
	眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者		144	359	146	524	
眼 疾患	受 診 者		11,919	5,386	11,197	5,109	
	(1) 伝染性眼疾患		0	0	0	0	
	(2) アレルギー性眼疾患		204	189	174	158	
	(3) その他の眼疾患		260	55	187	45	
聴力	受 診 者		7,962	3,576	7,474	3,464	
	難 聴		48	13	61	19	
耳 鼻 咽喉 疾患	受 診 者		11,953	5,383	11,208	5,096	
	(1) 耳疾患		1,010	371	955	197	
	(2) アレルギー性鼻疾患		927	894	552	703	
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患		886	220	589	99	
	(3) 口腔咽喉頭疾患		63	11	51	11	
皮膚 疾患	(1) 伝染性皮膚疾患		3	0	4	0	
	(2) アレルギー性皮膚疾患		583	201	536	196	
結核	受 診 者		11,983	5,433	11,193	5,124	
	(1) 結核患者		0	0	0	0	
	(2) 精密検査対象者		14	4	18	1	
心臓	受 診 者 (心電図検査)		1,935	1,842	1,876	1,807	
	(1) 心臓疾患		89	44	75	34	
	(2) 心電図異常		23	31	11	22	
検尿	受 診 者		11,998	5,432	11,239	5,138	
	(1) 尿蛋白検出		29	222	71	100	
	(2) 尿糖検出		7	6	9	9	
寄生 虫卵 保有	受 診 者		5,856		5,588		
	寄生虫卵保有者		4		2		
そ 他	(1) 気管支喘息		751	318	464	196	
	(2) 腎臓疾患		17	7	15	7	
	(3) その他の疾病・異常		138	63	103	61	
歯科	(1) 歯科受診者		11,953	5,414	11,221	5,125	
	・要観 察歯	乳歯又は永 久歯のうち ア 処置完了者	3,257	1,223	2,966	1,322	
		イ 未処置歯のある者	2,780	1,003	2,498	1,048	
		ウ 永久歯のうち経験者	1,693	2,004	1,770	2,077	
		エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者	1,062	695	1,127	853	
	(3) 歯肉 の状態	ア 歯周疾患	146	264	93	98	
		イ 歯周疾患要観察者	1,048	906	808	618	
	(4) 歯列・咬合の異常		251	207	235	222	
	(5) 顎関節の異常		5	3	2	3	
	(6) その他の歯・口腔の疾病・異常		163	1	152	1	
	(7) 永久歯の う歯の内容 (小学校第6学年及び 中学校第1学年のみ)	ア 未処置歯数 (D)	448	650	429	799	
		イ う歯による喪失歯数(M)	0	4	0	0	
		ウ 処置歯数 (F)	831	1,022	896	1,258	

② 結核検診

2003年度から小・中学校の児童・生徒全員の中から問診票を使用して精密検査の対象者を選別し、X線撮影による精密検査を実施しています。

2014 年度 結核検診状況 (人)

区 分	対象者	問診調査 実 施 者	精密検査 対象者数	精密検査 受検者数	結果
					異常のあった者
小学校	23,352	23,147	29	29	0
中学校	10,760	10,523	6	6	0
合 計	34,112	33,670	35	35	0

③ 心臓検診

小学1年生と中学1年生全員、及び校医が必要と認めた他学年の児童・生徒に、心電図による検査を行っています。

2014 年度 心臓検診状況 (人(%))

区 分	対象者	一次検診				二次検診	
		受診者数	異常なし	病院管理者数	要二次検診者	受診者数	要病院受診者数
小学校 (1年生)	3,839	3,810	3,685	69	30 (0.8)	29	0
〃 (その他)	19,513	92	79	5	2 (2.2)	2	0
小学校 小計	23,352	3,902	3,764	74	32 (0.8)	31	0
中学校 (1年生)	3,683	3,651	3,513	39	57 (1.6)	50	0
〃 (その他)	7,077	89	68	1	9 (10.1)	9	0
中学校 小計	10,760	3,740	3,581	40	66 (1.8)	59	0
合 計	34,112	7,642	7,345	114	98 (1.3)	90	0

※ 要二次検診者率は一次検診受診者数に対するもの

④ 尿（腎臓）検査

児童・生徒全員に尿検査を実施しています。

2014 年度 尿検査状況 (人(%))

区分	対象者	一次検査		二次検査	
		被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	23,352	23,279	350 (1.50)	325	137 (0.59)
中学校	10,760	10,597	677 (6.39)	628	194 (1.83)
合 計	34,112	33,876	1,027 (3.03)	953	331 (0.98)

※ 陽性者率は一次被検査者数に対するもの

⑤ ぎょう虫検査

小学校の低学年（1年生～3年生）の児童に実施しています。

2014 年度 ぎょう虫検査状況 (人(%))

区分	一次検査			二次検査	
	対象者	被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	11,493	11,469	5 (0.0)	5	0 (0.0)

※陽性者率は一次被検査者数に対するもの

⑥ 貧血検査

中学1年生の女子全員、及び2～3年生女子のうち校医が必要と認めた者を対象に実施しています。

2014 年度 貧血検査状況 (人(%))

区分	対象者	被検査者	異常なし	要 経過観察 精密検査
中学校 1年女子	1,820	1,535	1,391	66 (4.3)
2年女子	1,722	67	43	18 (26.9)
3年女子	1,682	15	8	6 (40.0)
合 計	5,224	1,617	1,442	90 (5.6)

※要経過観察・精密検査の比率は被検査者数に対するもの

（２）学校環境衛生の確保

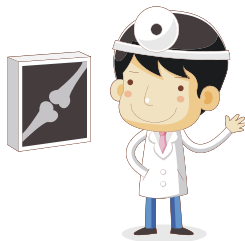
子どもたちが良好な環境の中で学習できるように、「学校環境衛生基準」に基づく各種環境衛生検査を実施しています。

＜定期検査項目の例＞

- ・換気及び保温等の検査（年１～２回）
- ・採光及び照明の検査（年２回）
- ・飲料水水質検査（年１回）
- ・プール水質検査（プール実施月に１回）

（３）町田市学校保健会

町田市学校保健会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、養護教諭、栄養士によって構成されています。小・中学校における学校保健の研究及びその普及のため、意見交換・表彰・研究発表・研修会の実施・機関紙の発行等の積極的な活動をしています。



（４）日本スポーツ振興センター

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、学校安全の普及・充実を図るとともに、学校管理下における子どもたちの負傷、疾病などに対して給付を行う災害共済給付制度を設けています。町田市では、児童・生徒全員がこの制度に加入しており、その共済掛金を公費で負担しています。

2014年度 日本スポーツ振興センター加入及び医療費の給付状況

区分	加入状況（人）	医療費の給付状況	
		給付件数（件）	給付額（円）
小学校	23,352	1,554	8,820,931
中学校	10,760	1,510	9,891,317
合 計	34,112	3,064	18,712,248

2013年度以前に発生した災害に対する給付も含まれています。

生涯學習



1. 生涯学習

生涯学習とは、市民一人一人が生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所において主体的に行う学習活動の総称です。内容は教養的なものだけでなく、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、地域社会における防災や環境、福祉など、幅広い分野を網羅します。また、学習の形態も、個人学習や公共機関が実施する講座の受講をはじめ、民間のカルチャーセンターやスポーツクラブでの活動、仲間とのサークル活動など、多岐にわたります。

行政が行う「生涯学習の推進」とは、「市民の学習活動を支援すること」を指します。市民の生涯学習をより良い地域社会づくりにつなげていくため、関係機関と連携した各種事業の実施や情報の提供のほか、市民相互の学び合いの促進、市民が学んだ成果を地域に還元できるような仕組みの構築などの支援を行っています。

（１）生涯学習審議会

生涯学習審議会は、教育委員会の附属機関として2012年度から設置されています。生涯学習の振興及び社会教育に関する基本方針の立案、施策及び事業の評価について、教育委員会の諮問を受け、調査、審議し、答申をします。

委員は15人以内で、町田市社会教育委員が8人以内、生涯学習又は社会教育に関する関係機関の代表が5人以内、公募による市民が2人以内です。委員の任期は2年です。

生涯学習審議会の答申

答申名	日付	内容（骨子）
町田市における生涯学習の進め方について —答申—	2013. 7. 2	町田市教育プランを改定するにあたり、現代社会において生涯学習の押さえるべき要点、町田の現状を踏まえた課題及び解決策の提示。



（２）社会教育委員

社会教育委員は、教育委員会への提言や社会教育に関する調査や審議を行います。また、青少年教育に関する特定の事項について社会教育関係団体や社会教育指導者に対し、助言と指導を与えることができます。

委員は８人以内で、任期は２年です。

社会教育委員の答申・提言（一部）

答申・提言名	日付	内容（骨子）
町田の地域活動を活性化させるための生涯学習プログラム～学校の特別教室を利用した生涯学習クラブの設立～ －提言－	2006. 4. 25	社会教育を取り巻く課題、市内の活動事例、事例を踏まえた生涯学習の方向の提示。学校の特別教室を活用した生涯学習プログラムの提言。
子ども行政一元化に向けた組織改正に関わる青少年教育について －提言－	2008. 2. 7	青少年教育施策を市長部局に移管するにあたり、施策の推進に向けた視点の提言。
今後の生涯学習施策について －提言－	2008. 4. 22	文化・スポーツ及び青少年教育施策を市長部局に移管するにあたり、施策の推進に向けた視点の提言。
町田市における生涯学習センターの機能、学習機会の提供のあり方について －答申－	2010. 3. 26	町田市の生涯学習センターの理念、機能と具体像の提示、それらの実現に向けた施策等の提案。
町田市生涯学習センターへの提言 －提言－	2012. 3. 27	「生涯学習」の再定義、町田市生涯学習センターの進むべき方向、まちづくりへの参画のためのプロジェクト、社会教育委員の役割の提言。

2. 歴史・文化財

町田市には縄文時代の遺跡をはじめ、先人の遺した多くの文化遺産があります。しかし、近年の宅地開発や土地区画整理、生活様式の変化によって、遺跡や古い建造物などの歴史資料と、古くからの生活用具や伝承などの民俗資料が失われつつあります。歴史資料、民俗資料などの文化財は、先人の生活ぶりを正しく知るための手掛かりとなるものです。町田市では1960年、町田市文化財保護条例を制定し、失われつつある文化財の保護に努めるとともに、郷土の歴史・文化を未来へ継承するため、資料の収集・保存、展示、調査・研究等を行っています。

（１）自由民権資料館

明治10年代、全国各地で自由と権利を求めた運動が盛り上がり、薩長を中心とした明治藩閥政治に対して国会開設・憲法制定・地租軽減・地方自治などを要求し、その実現を目指した自由民権運動が展開されました。三多摩を含む神奈川県でも活発な動きがあり、なかでも町田市域は石坂昌孝や村野常右衛門、青木正太郎、細野喜代四郎ら有力な指導者を輩出しました。彼らを中心に結社と呼ばれる組織がつくられ、政治学習運動が推し進められました。この運動のなかで、野津田村の村野常右衛門が私財を割き、1883（明治16）年2月に建てたのが「凌霜館（りょうそうかん）」という文武道場でした。

1984年11月にこの凌霜館跡地が子孫の方から町田市に寄付されたのを受け、町田市ではこのゆかりの地に自由民権運動を中心とした資料館を建てるとともに、隣接土地を所有する方の協力を得て、丘陵に続く貴重な緑を守っていくことになりました。そして、1986年11月3日に自由民権資料館が開館しました。常設展示「武相の民権／町田の民権」を行うとともに、意欲的に企画展示にも取り組んでいます。

① 施設概要

- 所在地 町田市野津田町897
- 電話 734・4508
- 構造 鉄筋コンクリート造、地下1階
地上2階建て
- 延床面積 911.15㎡

② 施設内容

- 展示施設 167.30㎡
- 収蔵施設 180.00㎡
- 閲覧室等 116.65㎡



自由民権資料館

③ 利用案内

- 利用時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 月曜日（祝休日、振替休日にあたるときは、その翌日）、
12月28日～翌年1月4日、特別休館日

④ 資料の収集等

町田を中心に、明治10年代当時に市域の民権家が運動の範囲として考えた三多摩や神奈川県などに対象地域を拡げ、自由民権運動関係資料の収集に努めています。運動に関わる直接の資料をはじめ、書簡、書籍、写真類、当時の新聞・雑誌、あるいは民権家の使ったゆかりの品や、町田市域に関わる古文書類などの資料を収集、整理、保存、管理し、常設展示やテーマを決めた企画展示などを行っています。

また、民権運動を対象とした論文や関連の文献なども、全国的な視点で幅広く収集し、自由民権運動の文献情報センターとしての役割を果たしています。

さらに、資料館の前身の市史編さん室が収集した町田の歴史に関わる資料、周辺地域の各自治体史や歴史書なども同時に収集し、閲覧できる体制を整えています。



自由民権資料館閲覧室

2014 年度 展覧会一覧

展覧会名	会期日数（日）	入館者数（人）
常設展示 「武相の民権／町田の民権」	301	7,024
企画展示 「町田市考古セレクション2」	44	1,783
企画展示 「風刺漫画に見る明治」	44	1,156
企画展示 「絵図でみる町田－Part 3－」	44	1,331
企画展示 「万葉の丘・多摩の横山」	38	1,104

（２）考古資料室

考古資料室は、市内の遺跡から発掘された遺物や調査の記録類の保管を主な目的として、1991年3月に竣工し、1993年度から収蔵資料を公開しています。

① 施設概要

- 所在 町田市下小山田町4016
- 電話 797・9661
- 構造 鉄筋コンクリート造、2階建て
- 延床面積 482.18㎡

② 施設内容

- 収蔵庫 219.8㎡
- 実習室 76.5㎡
- 撮影室 13.34㎡
- 展示室 35.0㎡



考古資料室

③ 利用案内

- 開館日 毎月第2・4土・日曜日、祝休日（12月28日～翌年1月4日は休館）
※7・8月のみ、毎週土・日曜日、祝休日
- 利用時間 午前10時～午後4時

（３）文化財の保護

文化財とは、人間と自然が遺した文化的な遺産であり、歴史上、学術上、芸術上など、様々な観点から優れた価値をもつ「有形の財」「無形の技・芸」です。

① 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、文化財の選定や文化財保護に関する教育委員会の諮問に応じて、調査、審議及び建議するもので、文化財保護条例に基づき設置されています。文化財に関し広くかつ高い識見のある者10人以内で構成しています。

② 埋蔵文化財の調査等

町田市内は遺跡の宝庫です。これまでに約1,000箇所の遺跡が確認されています。これらの遺跡は、土木工事等によって常に消滅の危機にさらされているため、できる限り保存するように指導を行っていますが、これが不可能な場合は事前に発掘調査の指導を行っています。

③ 指定文化財

町田市内には、多くの重要な文化財が残っています。それらのいくつかは、次の表のとおり、国・都・市の指定文化財になっています。

町 田 市 の 指 定 文 化 財

区 分	名 称	所 在 地	指定年月日
国・重要文化財	旧永井家住宅	野津田町 3270 薬師池公園内	S53. 1. 21
都・有形文化財	妙福寺祖師堂	三輪町 811 妙福寺	S36. 1. 31
	無極和尚坐像	下小山田町 332 大泉寺	S36. 1. 31
	観世音菩薩立像	小山町 2524 福生寺	S36. 1. 31
	旧荻野家住宅	野津田町 3270 薬師池公園内	S49. 8. 1
	異形台付土器(2点)	本町田 3562 市立博物館内	S50. 2. 6
	旧多摩郡小野路村名主小島家文書	小野路町 950 小島資料館	H 5. 3. 22
	小野路組合農兵隊関係資料	小野路町 950 小島資料館	H12. 3. 6
市・有形文化財	十六羅漢図	小山町 3629 宝泉寺	S39. 11. 25
	長福寺山門・文珠堂・本堂格天井花丸絵画	相原町 2109 長福寺	S48. 3. 8
	清水寺観音堂・鐘楼・水屋	相原町 701 清水寺	S48. 3. 8
	青木家住宅	相原町 810	S52. 2. 23
	神蔵家住宅	金井 8-26-2	S52. 2. 24
	妙福寺本堂・鐘楼門・高麗門(総門)	三輪町 811 妙福寺	S59. 2. 24
	天神社本殿	南大谷 451 天神社	S59. 2. 24
	阿弥陀三尊像	原町田 3-5-12 勝楽寺	S60. 4. 17
	阿弥陀三尊像	本町田 3654 養運寺	S60. 4. 17
	阿弥陀如来坐像・地藏菩薩立像	相原町 3729 円林寺	S60. 4. 17
	釈迦如来坐像	小山町 3629 宝泉寺	S60. 4. 17
	菩薩立像脇侍像	小山町 2524 福生寺	S62. 11. 13
	誕生釈迦仏立像	成瀬 4-14-1 東雲寺	S62. 11. 13
	聖徳太子立像	鶴間 1210 円成寺	S62. 11. 13
	薬師如来坐像	野津田町 3224 薬師堂	S62. 12. 11
	箭幹八幡宮隨身門	矢部町 2666 箭幹八幡宮	H 2. 2. 14
	熊野神社本殿	三輪町 1925-1 熊野神社	H 2. 2. 14
	村野常右衛門生家	小野路町 1256-1 他 野津田公園内	H 6. 7. 11
	能ヶ谷出土銭遺跡出土品一式	下小山田町 4016 考古資料室	H 9. 3. 25
	北条氏照朱印状 永禄 5 (1562) 年 7 月 5 日	個人所蔵	H22. 12. 22
	北条氏照朱印状 永禄 8 (1565) 年 3 月 20 日	個人所蔵	H22. 12. 22
	彫刻付大形石棒 (忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H23. 12. 16
	土偶一式 (忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H23. 12. 16
	深鉢形土器 (忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H23. 12. 16
	細野喜代四郎書斎 (処静小斎)	* 移築のため部材の状態で保管中	H23. 12. 16
	隆起線文土器 (なすな原遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H24. 12. 14
	爪形文土器 (川島谷遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H24. 12. 14
	南多摩郡各町村縮図 (127 枚一括)	野津田町 897 自由民権資料館	H24. 12. 14
	中空土偶頭部 (田端東遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H26. 1. 10

	クルミ形土器（木曽中学校遺跡）	下小山田町 4016	考古資料室	H27. 1. 9
	細野利平家（角屋）ガラス乾板	野津田町 897	自由民権資料館	H27. 1. 9
市・無形民俗文化財	金井獅子舞	金井町八幡神社		S38. 10. 22
	丸山獅子舞	相原町諏訪神社		S38. 10. 22
	矢部八幡宮獅子舞	矢部町箭幹八幡宮		S38. 10. 22
	大戸囃子	相原町大戸八雲神社		S38. 10. 22
	三ツ目囃子	小山町三ツ目日枝神社		S38. 10. 22
国・史跡	高ヶ坂石器時代遺跡(牢場、稲荷山、八幡平)	高ヶ坂 2-1418-3 他		T15. 2. 24
都・史跡	田端環状積石遺構	小山町 3112-2, 3113-2		S46. 3. 29
	青木家屋敷	相原町 810 他		S55. 2. 21
	小山田 1 号遺跡	小山田桜台 2-16-32		S60. 3. 18
	本町田遺跡	本町田 3455-36 他		H 4. 3. 30
	西谷戸横穴墓群	三輪緑山 1-25-8		H 4. 3. 30
	下三輪玉田谷戸横穴墓群	三輪町 897		H20. 3. 26
市・史跡	(通称)代官屋敷	金井 8-26-2		S39. 11. 25
	木曽一里塚	木曽西 4-14		S44. 9. 2
	白坂横穴墓群	三輪町 1720-7 他		S50. 10. 27
	(通称)鎌倉井戸	山崎町 1050-1		S54. 9. 7
	白洲次郎・正子旧宅	能ヶ谷 7-3-2 他		H14. 11. 14
都・旧跡	相原かま跡	相原町陽田谷戸		T15. 4
	井出の沢古戦場	本町田菅原神社付近一帯		T15. 4
都・名勝	福王寺旧園地(薬師池公園)	野津田町 3270		H10. 3. 13
市・天然記念物	アカガシ群落	相原町 701	清水寺内	S39. 11. 25
	シダレザクラ	小山町 2507-1	小山市民センター内	S39. 11. 25
	シイ	小野路町 5451	田極氏方	S39. 11. 25

—— 指定文化財の紹介 ——



【国指定重要文化財 旧永井家住宅】



【国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡】



【東京都指定有形文化財 旧荻野家住宅】



【東京都指定史跡 田端環状積石遺構】



【東京都指定史跡 本町田遺跡】

—— 指定文化財の紹介 ——



【町田市指定有形文化財
深鉢形土器（忠生遺跡出土）】



【町田市指定有形文化財 村野常右衛門生家】



【町田市指定有形文化財
土偶一式（忠生遺跡出土）】



【町田市指定有形文化財
能ヶ谷出土銭（約1万枚の古銭）】



【町田市指定有形文化財
中空土偶頭部（田端東遺跡出土）】



【町田市指定有形文化財
クルミ形土器（木曽中学校遺跡出土）】

3. 生涯学習センター

町田市生涯学習センターは、市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援するための教育機関として、学習に関する機会や情報の提供、市民の多様な学習活動への支援、学習施設の貸出しなどを行っています。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田 6-8-1 町田センタービル
- 構造 鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造地下2階・地上8階建ての内、6階～8階
- 延床面積 2,676.84㎡

(2) 施設貸出

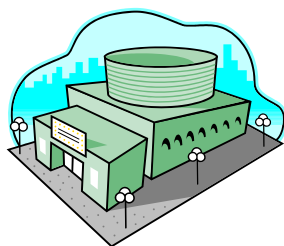
生涯学習センターでは、まちだ中央公民館として以下の施設を貸出しています。

① 貸出施設概要

- ホール 定員158名
- ホール控室 定員10名 2室
- 学習室 定員30名 1室 定員21名 1室 定員18名 1室 定員15名 2室 定員12名 2室
- 調理実習室 定員37名
- 美術工芸室 定員30名
- 視聴覚室 定員36名
- プレイルーム 定員18名
- 音楽室 定員24名 1室 定員18名 1室
- 和室 定員45名 1室 定員24名 1室
- 保育室 定員20名 1室

② 利用時間・休館日

- 利用時間 午前9時～午後10時
- 休館日 第4月曜日（祝日、振替休日にあたるときは、その翌日）、
12月29日～翌年1月3日



2014 年度 貸出施設利用状況

会議室名	利用件数 (件)	利用人数 (人)
ホール	850	43,935
学習室 1・2	1,666	24,037
学習室 3・4	1,770	13,617
学習室 5・6・7	2,701	23,665
和室 1・2	1,440	13,199
音楽室 1・2	1,963	17,809
プレイルーム	989	8,319
調理実習室	667	9,880
美術工芸室	779	10,412
視聴覚室	765	13,464
保育室	325	4,294

(3) 学習活動の支援

市民一人一人が自分にあった学習活動を進めていけるように、学習に関する相談や情報提供などを行っています。また、学習した成果を地域で活かす仕組みづくりや、地域での学び合いに対して、支援を行っています。

① 学習相談

学習者（団体含む）の学習上の問題を解決するために、学習相談を行っています。

学習者自らがテーマや方法を選んで学習活動を進めていけるように、学習者の問題や悩みを聞き、その解決に向けて援助したり、これから学習活動をする人のニーズを把握し、学習活動ができるように学習情報の提供や助言をしたり、学習活動の質を高め、継続的なものにするための助言を行ったりしています。

2014 年度 学習相談件数

区 分	面接（来館）	電 話	合 計
相談件数	116	50	166

② 情報・資料コーナー

生涯学習センターの6階に「情報・資料コーナー」を設置しています。このコーナーでは、各方面から送付される定期刊行物や講座・催し物のチラシ・ポスターを15の分野に分けて配置、掲示しており、町田市内に限らず、他の地域や学校等も含めた様々な生涯学習に関する情報を閲覧することができます。

③ 生涯学習NAVI 好き！学び！

市民が生涯学習を行う際に役立つように、町田市の講座・イベント情報誌『生涯学習NAVI 好き！学び！』を発行し、市内の公共施設で無料配布しています。



『生涯学習NAVI 好き！学び！』

2015 年度春号

④ 生涯学習ボランティアバンク制度

市民がより充実した生涯学習活動が行えるよう、様々な知識や技術、経験をもち、地域社会に役立てたいと考える市民又は団体と、身近な学習活動を通じて知識や技術を習得したいと希望する市民団体等の橋渡しをしています。また、この制度をより多くの方に利用してもらえるよう、定期的に体験講座を実施しています。



生涯学習ボランティアバンク

一日体験講座

⑤ 社会教育関係団体講師派遣制度

学習・文化活動を行うことを目的として主に町田市内で活動している団体が、会員以外にも広く参加を呼びかけ、講師を招いて実施する学習会・講演会について、その講師の謝礼を援助しています。

社会教育関係団体講師派遣制度謝礼支払額・申請団体数・実施団体数

区分	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
謝礼支払額（千円）	1,275	1,105	1,038	901	985
申請団体数	67	58	54	49	52
実施団体数	65	56	52	46	50

⑥ 学校施設「特別教室」の開放

市民の学習・団体活動等、地域活動の場として、開放区画のある次の学校の「特別教室」を開放し、学校教育に支障のない範囲で貸出しています。

○ 利用できる特別教室（2015年度）

- ・ 本町田小学校
多目的室、ランチルーム
- ・ 木曽境川小学校
音楽室、家庭科室、ランチルーム
- ・ 小山ヶ丘小学校
理科室、図工室、音楽室、第3音楽室、家庭科室
- ・ 鶴川中学校
小ホール（階段教室）、ミーティングルーム

○ 利用時間（2015年度）

- ・ 火・木曜日 午後6時30分～午後9時
※夏季期間（夏休み）の小学校は 午後1時～午後9時
- ・ 土日祝日 午前9時～午後9時
※午前・午後・夜間の3区分での利用となり、連続しての利用は原則できません。

○ 休室日

年末年始、学校行事開催日または教育委員会が指定する日

2014年度 利用状況

学校	利用教室	延べ利用人数（人）
本町田小学校	多目的室 ランチルーム	924
木曽境川小学校	理科室 図工室 音楽室 家庭科室 ランチルーム	956
小山ヶ丘小学校	理科室 図工室 音楽室 第3音楽室 家庭科室	1,787
鶴川中学校	小ホール（階段教室） ミーティングルーム 技術室 家庭科室	1,060

（４）各種講座等の開催

生涯学習センターでは、子どもから高齢者まで、あらゆる世代の市民を対象に講座や講演会、イベントなどを開催しています。

① 生涯学習センターまつり

生涯学習センターを利用している団体、サークルが、日頃の成果を発表し、交流する場として毎年実施しています。

このまつりは、企画・運営委員を公募し、参加団体、サークルが実行委員となって、生涯学習センターと共に運営しています。

2014年度に開催した第3回生涯学習センターまつりでは、展示の部25団体、発表の部24団体が参加しました。



第3回(2014年度)生涯学習センターまつり

② 市民大学事業

市民の生涯学習にかかわる条件整備の一環として、1993年6月に「まちだ市民大学HATS」を開校しました。

2015年度は通年と前・後期に分けての連続講座を開催します。通年講座は「多摩丘陵の自然入門」、前期講座は「“こころ”と“からだ”の健康学」「まちだdeエコ・ツアー」「まちだ市民法学」「町田の郷土史Ⅰ」「陶芸入門講座」「陶芸 電動ロクロ体験講座」「まちだの福祉」「現代人間科学」、後期講座は「“こころ”と“からだ”の健康学」「まちだdeエコライフ」「まちだ市民国際学」「町田の郷土史Ⅱ」「陶芸入門講座」「陶芸 電動ロクロ体験講座」「現代人間関係学」「まちだの福祉」です。連続での受講が難しい方や興味をもたれた方のために、公開講座（連続講座の1回を一般の方が聴講できるよう公開している講座）も設けています。各講座とも、市民・研究者・学識経験者などからなるプログラム委員会での議論を基に企画実施しています。

市民大学受講後には、修了生が任意で学習サークルを立ち上げて学びを継続しています。2015年4月現在、51の修了生団体が活動しています。



まちだ de エコ・ツアー(講座風景)



陶芸入門講座(作陶風景)

③ 市民企画講座

市民グループの学習成果や発想を生かした企画を基に、市民生活の向上や地域課題の解決につながる講座を行政と市民が協働で実施しています。

④ コンサート事業

幅広いジャンルの音楽や、地域で活動する人達の演奏を身近に感じられるコンサートを実施しています。また、近隣の大学・大学院を卒業した音楽家が演奏を披露する「フレッシュコンサート」を年1回開催しています。

⑤ 平和祈念事業

戦争の悲惨さや平和の尊さについて考え、次世代に語り継ぐ機会として、戦時資料の展示や講演会、被爆体験を聞く会などを実施しています。

⑥ 連携・共催事業

市役所各部局や近隣大学、専門学校などと連携し、各機関の専門性を活かした講座・講演会等を実施しています。

また、町田市と相模原市の行政と、2市を生活圏とする地域の大学、NPO法人、企業などが連携し設立された「公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム（通称：さがまちコンソーシアム）」の事業を活用し、幅広いテーマの講座等を実施しています。2015年度は、「さがまちカレッジ町田市連携講座」として、「メタボ&ロコモ予防講座」や「感じて描いてリラックス『クリニカルアート』」、「世界にひとつしかない！乾漆技法によるおまもりオブジェの制作」など、学びの楽しさを実感し、学んだことを生活に活かせるような学習講座を開催します。



ファッションイベント「まちコレ」
(大学・専門学校、民間企業連携)



さがまちカレッジ
「身近な植物でTシャツを染めよう」

⑦ 家庭教育支援事業

地域の家庭教育に関する様々な問題の解決に向け、子育て中の親を対象に、子どもの年齢に応じた家庭教育講座や、親子で参加し、親子あそびやグループトークをしながら参加者同士の交流を深める「親と子の交流ひろば事業」を実施しています。また、地域の家庭教育を支える担い手の育成を目的に「家庭教育支援学級」を実施しています。

⑧ 障がい者青年学級

障がい者青年学級は、1974年から知的障がいのある方を対象に開設しているもので、“生きる力、働く力の獲得”を目標に学習活動、自治活動、仲間づくり、集団づくりを行っています。現在、180人を超える方々が参加し、公民館学級、土曜学級、ひかり学級という3つの学級に分かれて、ボランティアスタッフと共に活動を行っています。

⑨ ことぶき大学事業

60歳以上の市民を対象に、“楽しく学んで豊かに生きる”をモットーとして学習や交流を深める講座を実施しています。1966年に始まって以来、高齢者の増加と多様な学習要望に応えるために制度や学習プログラムを変えながら現在に至っています。2015年度は、映画や歴史、美術など、8コースを実施します。

（５）町田市生涯学習センター運営協議会

町田市生涯学習センター運営協議会は、生涯学習センターが実施する事業に関し協議を行うため、2012年度から設置されています。

学識経験者（4人以内）、家庭教育支援活動経験者（1人）、公募の市民（4人以内）、小学校・中学校の校長（各1人）、生涯学習・社会教育の活動経験者（4人以内）からなる14人以内の委員で構成されています。委員の任期は2年です。



(6) 事業一覧 (2014 年度)

2014年度 生涯学習センター 実施状況

2014年度実績				
分類	事業名	件数、利用者数等		
生涯学習推進事業	- 町田市生涯学習センターのホームページ - 生涯学習NAVI 好き！学び！ - 社会教育関係事業講師派遣制度 - 特別教室開放 - 本町田小学校 924 - 木曽境川小学校 956 - 小山ヶ丘小学校 1,787 - 鶴川中学校 1,060 - 学習相談 - 面接(来館) 116 - 電話 50	アクセス数: 27,141 4回(3ヶ月毎発行) 申請: 52 実施: 50 延べ利用者数: 4,727		
	生涯学習ボランティアバンク	延べ登録件数: 91 利用: 18		
		事業数	延回数	延参加人数
	1日体験講座(全14講座)	2	2	170
	スキルアップ講座			
	市役所職員向けスキルアップ研修	1	1	40
	「人が集まる！行列ができる！講座、イベントの作り方」			
	小 計	3	3	210
	●企画・運営、出演側		12	-
	企画・運営委員会		4	(49団体)
センターまつり	実行委員会(参加団体)			(24団体)
	展示	1		(24団体)
	発表			(1団体)
	模擬店			146
	準備・片付け等			2,298
	●参加者(当日の来館者、参加団体延べ人数)		3日	2,444
	小 計	1	19	2,444

分類	事業名	件数、利用者数等		
市民大学事業	●通年講座 ・ 多摩丘陵の自然入門			
	●前期講座 ・ 「現代の人間を科学する」講座 変貌する「生老病死」 ・ “こころ”と“からだ”の健康学 「充実ライフを手に入れよう」 ・ 陶芸 電動ロクロ体験講座 ～地球にやさしいやきもののリサイクル～ ・ 陶芸入門講座 ・ まちだ市民法学 私たちにとって法とは何か ・ まちだdeエコ・ツアー ～地域環境ボランティア入門～ ・ 町田の郷土史Ⅰ 縄文から幕末まで ・ まちだの福祉 くらしを支える ～ひと・まち・こころ～	18	159	5,080
	●後期講座 ・ 現代の人間関係を再生する講座 地域社会への処方せん ・ “こころ”と“からだ”の健康学 ～60までに身につけておきたい知識と実践～ ・ 陶芸 電動ロクロ体験講座 ～地球にやさしいやきもののリサイクル～ ・ 陶芸入門講座 ・ まちだ市民国際学 解剖:グローバル経済 ・ まちだdeエコライフ ～身近なくらしから学ぶ～ ・ 町田の郷土史Ⅱ 明治から現代まで ・ まちだの福祉 くらしを支える～ひと・まち・こころ～			
	●特別講座 ・ 町田の民俗			
小 計		18	159	5,080

分類	事業名	件数、利用者数等		
公民館事業	●市民企画講座 ・ 女も男も、ともに生きやすい社会をめざして！ ・ 健康応援！詩吟体験講座 ・ 町田で自然災害発生時に何をすべきか ～東日本大震災の教訓から学ぶ～ ・ ロコモ体操～百まで歩く足腰づくり ・ わたし流子育てのを見つけ方	5	24	811
	●コンサート事業 ・ 第9回 まちだフレッシュコンサート ・ 初夏のコンサート 「タンゴトリオによる情熱のアルゼンチンタンゴ」 ・ 敬老の日イベント「みんなで歌おう♪ファミリーコンサート」 ・ 世代を超えて夢を語ろう～対談とライブ ・ クリスマスコンサート 「冬の夜の物語～オペラアリアとクリスマスソングのタベ」 ・ 新春クラシックコンサート 「ソロとアンサンブルで楽しむロマン派の音楽」 ・ 「心に残るオカリナの調べ」オカリナ＆ギターコンサート	7	7	1,029
	●平和祈念事業 ・ 映画「アオギリにたくして」 ・ 語りつぐ平和への想い ・ 語りの世界から平和を考える ・ かみしばい「平和といのち」 ・ 女優谷英美の朗読劇「永遠の火」と絵手紙体験 ・ 平和映画上映会 アニメ「夏服の少女たち」など ・ 平和映画上映会 ひまわり～沖縄は忘れないあの日の空を～ ・ 町田における戦争の記憶（基本展示）	8	14	974

分類	事業名	事業数	延回数	延参加人数
公民館事業	●連携・共催事業 ・ 昭和薬科大学共催講演会「感染症の最前線」 ・ 和光大学共催講座「発見！新しいアジア」 ・ さがまちコンソーシアム共催事業 学生活動報告会「東北復興ボランティア展」 ・ さがまちコンソーシアム共催事業 さがまちカレッジ町田市連携講座 ・ さがまち学びフェア ・ 環境・自然共生課共催講座 環境学習「ミヤマ☆仮面が今年もやってくる！！」 ・ 環境・自然共生課共催講座 ～気象予報士寺川奈津美さんと考える～ 環境講演会「異常気象と地球温暖化」 ・ 生涯学習総務課共催講座 古民家見学会 ・ 博物館共催講座「やきもののやわらかいはなし」 ・ 保健所共催講座「ひきこもる心を理解する」 ・ 和光大学ポプリホール鶴川共催講座 「映画監督直伝！私のショートムービーづくり」	11	43	1,420
	●時事問題 ・ 「障がいがあっても地域でともに生きる」	1	5	81
	●その他 ・ 健康講座「ロコモ体操～百まで歩ける足腰づくり」 ・ まちだのアーティストと、今日のアートを知ろう！ ・ 今年はササッ！と浴衣美人 みんなで夏の着付け講座 ・ 夏休み子ども週間 ～きみだけのキラキラな夏の日～ ・ まちだコレクション2014 ・ 若者応援プロジェクト第1弾「ココロも磨くファッション術」 ・ 第2弾①「憧れのギョーカイ人に聞いてみよう」 ・ 第2弾②「矢部澄翔の『好き！を仕事にする方法』」	8	25	739
小 計		40	118	5,054

分類	事業名	事業数	延回数	延参加人数
家庭教育支援事業	・ きしゃポッポ ・ パパと一緒にきしゃポッポ ・ パパきしゃスペシャル「パパの役割ってなあに？」 ・ ファミリーライブ「はるかぜに乗って」 ・ 家庭教育支援学級 ・ 乳幼児の保護者のための講座 「心をつなぐ ふれ愛子育て」 ・ 乳幼児の保護者のための講座 「心がかかるくなるキラキラ子育て」 ・ 幼児の保護者のための講座 Reborn ママ『これで完璧♪ハートフル子育て』 ・ 小学生の保護者のための講座 ・ 中学生の保護者のための講座 ・ シニア世代のための子育て支援講座	11	117	2,596 (親子788組)
小 計		11	117	2,596
障がい者青年学級事業	●青年学級を語る会、開級式、合宿（ひかり学級はバスハイク、土曜学級は日帰り旅行）、成果発表会 ・ 公民館学級 ・ ひかり学級 ・ 土曜学級 ●学級活動 ・ 公民館学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施 (会場:生涯学習センター) ・ ひかり学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施 (会場:ひかり療育園) ・ 土曜学級 原則として第2・4土曜日に月2回実施 (会場:生涯学習センター) ●スポーツ大会(東京都、町田市)、生涯学習センターまつり、40周年記念式典への参加 ●担当者会議、調整会議、学級活動総括、総括委員会、ニュース作成、40周年記念式典委員会	1	5 4 4 12 12 12 4 165	270 225 209 940 (青680,担260) ※1 ※2 787 (青631,担156) ※1 ※2 707 (青500,担205) ※1 ※2 229 1,176
小 計		1	218	4,543

分類	事業名	事業数	延回数	延参加人数
ことぶき大学事業	- 音楽 やさしい歌、楽しい歌をコーラスで！ - くらし 高齢期の生活設計を考える - 健康 くつろぎ、安らぐ、易しい気功(6月) - 健康 楽しく体を動かしましょう！(10月) ーリフレッシュダンス&ストレッチー - 日本の伝統文化 歌舞伎の楽しみ方 - 美術 西洋美術入門 ～絵画鑑賞をもっと楽しむ～ - 文学 はじめての『遠野物語』 ー山神山人、平地人を戦慄せしめよー - 歴史 黒田官兵衛とその時代	8	48	4,447
小 計		8	48	4,447
その他	印刷機講習会（年9回）	1	9	28

		2014年度実績		
		事業数	延回数	延参加人数
合 計		79	669	24,046



4. 図書館

町田市立図書館は、市民に対して資料や情報を提供することにより、市民の生活がより深く豊かなものになることを目指して運営しています。

市立図書館は、中央・さるびあ・鶴川駅前・鶴川・金森・忠生・木曽山崎・堺の8館と移動図書館及び町田市民文学館で構成されています。

（１）市立図書館のあゆみ

市立図書館の前身は、1954年3月に町田町役場内に設置された図書室で、1956年9月に「町田町立図書館」となりました。開館当初は蔵書が1,000冊にも満たない閲覧中心の施設でした。

1958年2月、市制施行に伴って館名を「町田市立図書館」と改め、更に1968年9月には中町2丁目に移転して、個人への図書の貸出しを始めました。その後移動図書館「そよかぜ号」の巡回を1970年10月から開始しました。また、1972年2月に「鶴川分館」（1977年10月に現在地に移転）、1974年6月に「金森分館」（2000年7月に現在地に移転）、1976年7月に「木曽山崎分館」、1983年9月には「堺分館」がそれぞれ開館しました。

1990年11月には中央図書館が開館し、CD、ビデオなどの貸出しや館内視聴といった新しいサービスを開始しました。これに伴って「町田市立町田図書館」は「さるびあ図書館」に、その他の分館もそれぞれ「図書館」に名称を変え、地域館として新たなスタートを切りました。1992年7月には市立の図書館全館をコンピュータで結ぶオンライン化も完了しています。

1999年4月からは祝日開館、平日の開館時間の延長及び地域館の夜間延長の実施、同年11月には貸出冊数制限の緩和を行いました。

2012年10月、小田急鶴川駅前の複合型文化施設「和光大学ポプリホール鶴川」内に「鶴川駅前図書館」が開館しました。地域の中心館として図書館のサービスを向上させ、情報拠点の役割を果たしています。

2015年3月、市立図書館全館でICタグを利用したセルフ貸出・返却システムを導入しました。5月には忠生市民センター内に「忠生図書館」が開館しています。

（２）市立図書館の概要

市立図書館一覧

館名	所在地	電話	開館年月日	建物面積
中央図書館	原町田 3-2-9	728-8220	1990. 11. 30	5,968.00 m ²
さるびあ図書館	中町 2-13-23	722-3768	1972. 5. 22	1,234.32 m ²
鶴川駅前図書館	能ヶ谷 1-2-1	737-0263	2012. 10. 17	1,190.00 m ²
鶴川図書館	鶴川 6-7-2-1-101	735-5691	1972. 2. 15	259.75 m ²
金森図書館	金森東 3-5-1	710-1717	1974. 6. 3	1,499.50 m ²
忠生図書館	忠生 3-14-2	792-3450	2015. 5. 1	1,228.79 m ²
木曽山崎図書館	山崎町 2160	793-6767	1976. 7. 15	320.60 m ²
堺図書館	相原町 795-1	774-2131	1983. 9. 25	429.00 m ²
町田市民文学館	原町田 4-16-17	739-3420	2006. 10. 27	2,156.27 m ²

開館時間と休館日

館名	開館時間		休館日
中央図書館 鶴川駅前図書館	火・水・金 木・土・日・祝休日	午前10時～午後8時 午前10時～午後5時	- 毎週月曜日（祝休日の場合は開館） - 毎月第2木曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館） - 特別館内整理期間 - 年末年始
さるびあ図書館 鶴川図書館 金森図書館 忠生図書館 木曽山崎図書館 堺図書館	火・水・金 木・土・日・祝休日	午前10時～午後6時 午前10時～午後5時	
町田市民文学館	火～日、祝休日	午前10時～午後5時	

蔵書統計（図書資料・視聴覚資料）（2015年3月31日現在）

	一般図書	児童図書	地域資料	図書資料合計 (冊)	視聴覚資料 (点)
中央	433,280	67,560	41,615	542,455	43,495
さるびあ	82,274	46,916	3,909	133,099	7
鶴川駅前	65,417	20,430	2,401	88,248	0
鶴川	28,219	20,763	1,407	50,389	0
金森	90,861	39,205	2,044	132,110	11
木曽山崎	38,509	20,933	1,901	61,343	9
堺	44,322	28,588	1,719	74,629	0
町田市民文学館	24,385	2,049	219	26,653	0
合計	807,267	246,444	55,215	1,108,926	43,522

※視聴覚資料（CD、カセットテープ、LD、ビデオテープ、DVD）

（３）貸出サービス

① 個人貸出

町田市内在住・在勤・在学の方を対象に、利用券を発行し貸出しを行っています。

利用登録後は、全館合わせて本・雑誌など1人10冊2週間（うち新刊扱いの雑誌は1人1冊1週間・貸出用レファレンス資料は1週間）、DVD・ビデオテープ・CD・カセットテープは合わせて1人3点1週間借りることができます。

個人登録者数（町田市）（2015年3月31日現在）

一般	児童	在学一般	在学児童	在勤	合計 (人)
87,066	14,968	1,850	132	2,282	106,298

2014 年度 図書資料・視聴覚資料 個人貸出冊数

	一般図書	地域資料	児童図書	雑誌	合計 (冊)	視聴覚資料(点)
中央	812, 171	3, 221	164, 492	53, 716	1, 033, 600	172, 890
さるびあ	225, 227	456	114, 125	27, 611	367, 419	6 (※2)
鶴川駅前	357, 209	1, 339	153, 346	17, 097	528, 991	0
鶴川	142, 512	339	83, 368	19, 745	245, 964	0
金森	411, 881	707	246, 674	52, 817	712, 079	0
木曽山崎	132, 960	528	54, 666	13, 667	201, 821	1 (※2)
堺	93, 162	193	63, 065	9, 286	165, 706	0
さるびあ移動図書館	35, 994	4	29, 151	5, 386	70, 535	0
堺移動図書館	17, 544	9	21, 375	2, 367	41, 295	0
町田市民文学館	5, 038	30	3, 342	575	8, 985	0
Web-OPAC (※1)	201, 130	689	52, 649	14, 395	268, 863	0
合計	2, 434, 828	7, 515	986, 253	216, 662	3, 645, 258	172, 897

※1 インターネットからの貸出延長数

※2 宅配サービスによる貸出数

② 団体貸出

図書館に利用登録がある地域文庫や読書会等を対象に、図書の団体貸出しを行っています。

2014 年度 団体登録数

区分	種別	団体数	貸出冊数・期間
①学校・地域文庫	小学校・中学校	49	600 冊・6 ヶ月
	地域文庫	14	
②読み聞かせ団体・その他	保育園・幼稚園	28	300 冊・3 ヶ月
	読書会	60	
	学童保育クラブ	18	
	その他	33	
③庁内	市役所各課	57	50 冊・1 ヶ月
合計		259	

2014 年度 図書資料 団体貸出冊数

	一般図書	児童図書	雑誌	合計 (冊)
中央	310	2,956	34	3,300
さるびあ	212	4,389	75	4,676
鶴川駅前	99	258	10	367
鶴川	95	1,017	10	1,122
金森	471	2,067	57	2,595
木曽山崎	3	82	5	90
堺	195	319	11	525
さるびあ移動図書館	26	2,077	3	2,106
堺移動図書館	643	1,937	351	2,931
町田市民文学館	24	268	0	292
合計	2,078	15,370	556	18,004

③ 学校図書館支援貸出

小・中学校での調べ学習等で使用する図書を先生の求めに応じて貸出すことで、学校図書館をサポートしています。2008 年 6 月から開始し、さるびあ図書館が担当しています。

2014 年度 学校支援貸出冊数等

	小学校	中学校
登録学校数（校）	39	15
依頼学校数（校）	25	4
依頼件数（件）	105	5
貸出総冊数（冊）	3,384	214

④ 市民センター等における図書館資料（予約資料）受渡サービス

近くに図書館がない地域の市民向けに、2010 年 9 月から忠生市民センター、小山市民センター及び南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡サービスを開始しました。

なお、忠生図書館の開館に伴い、忠生市民センターにおける本サービスは 2015 年 4 月をもって終了しました。

2014 年度 受渡冊数一覧

場所	冊数
忠生市民センター	10,992
小山市民センター	4,881
南町田駅前連絡所	31,045

（４）移動図書館サービス

図書館が身近にない地域に対して図書館サービスを継続的に提供するため、３台の移動図書館「そよかぜ号」が２週間に１回、６５か所のサービスステーション（さるびあ図書館から２台で４３か所、堺図書館から１台で２２か所）を巡回しています。



移動図書館車

2014 年度 移動図書館利用者数・巡回数

	移動図書館利用者数	移動図書館巡回数
さるびあ	13,572	961
堺	7,813	525

（５）リクエストサービス

求める図書が見当たらないときは、１人１０冊までリクエストをすることができます。対象は町田市内在住・在勤・在学の利用登録者で、申込みはリクエスト用紙によるカウンター受付のほか、館内利用者検索機、インターネットからも可能です。

リクエストを受けた図書が貸出中の場合は、返却後、受付順に貸出しています（リクエストの置ききは、用意ができてから１０日間）。図書館で所蔵していない図書の場合は、新たに購入したり、他の図書館から借入れるなどして、なるべく早く貸出しができるようにしています。

2014 年度 リクエスト件数

	カウンター	館内利用検索機	インターネット	合計（件）
中央	30,546	14,311	110,261	155,118
さるびあ	13,850	5,337	49,771	68,958
鶴川駅前	11,897	9,482	64,762	86,141
鶴川	8,481	4,235	45,567	58,283
金森	16,983	10,281	105,818	133,082
木曽山崎	11,672	2,656	32,237	46,565
堺	2,716	2,167	13,680	18,563
さるびあ移動図書館	6,295	—	—	6,295
堺移動図書館	6,122	—	—	6,122
町田市民文学館	858	248	2,219	3,325
忠生市民センター	1,316	—	10,697	12,013
小山市民センター	90	—	5,435	5,525
南町田駅前連絡所	1,763	—	32,378	34,141
合計	112,589	48,717	472,825	634,131

（６）レファレンスサービス

図書館の資料や機能を活用して、利用者のさまざまな調べものや探しものについてお手伝いするサービスです。中央図書館においては、専用カウンターを設け、各種有料データベースによる検索サービスも行っています。

2014年度 レファレンス受付件数（中央図書館のみ）

レファレンスカウンター 総受付件数（件）※	レファレンス （一般）	レファレンス （地域資料）
8,533	6,836	912

※レファレンスカウンター総受付件数には、貸出しその他を含みます。

（７）障がい者サービス

目の不自由な方に録音図書・点字図書の貸出し、製作や、対面朗読を行っています。

また、来館が困難な方には、市民ボランティアの協力により宅配貸出しのサービスも行っています。設備としては各館に車いすで利用できるトイレやスロープ等があります。

2014年度 対面朗読

実施館	実利用者数	延べ件数	実朗読者数	朗読時間
中央・鶴川駅前・木曽山崎	14	414	37	868時間34分

2014年度 視覚障がい者への障がい者用資料の郵送貸出

録音（テープ）	録音（デイジー）※	点字資料・絵本	合計（点）
393	2,101	156	2,650

※デイジー・・・専用機器やパソコンソフトで再生するデジタル録音図書の名称。DAISYという規格に基づき、CD-Rに記録してあります。

2014年度 肢体不自由利用者への宅配貸出

	実利用者数	延べ利用者数	実宅配者数	貸出点数
中央	2	46	2	178
さるびあ	2	45	2	183
鶴川駅前	1	21	4	229
鶴川	2	43	1	161
金森	4	82	5	307
木曽山崎	3	70	4	627
堺	1	5	1	0
合計	15	312	19	1,685

（８）視聴覚サービス

中央図書館では視聴覚資料の貸出しを行っています。館内ではCD・カセットテープ・ビデオテープ・レーザーディスクの視聴（試聴）もできます。

また、持込みのノートパソコンが利用できるパソコン席を設けています。携帯電話会社３社のWi-Fiスポットがあり、契約していればインターネットの利用も可能です。

（９）児童サービス

本と子どもを結びつけるため各館とも児童コーナーの充実に努めており、いつも子どもたちでにぎわっています。子どもの新刊本リスト「みんなでよもうこどもの本」の発行や、おはなし会、乳幼児向けおはなし会、子ども映画会などの行事も行っています。

2014 年度 児童向け事業

	おはなし会		乳幼児向けおはなし会		子ども映画会	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数
中央	72	674	42	880	11	497
さるびあ	27	388	22	629	—	—
鶴川駅前	27	514	20	425	—	—
鶴川	22	239	11	160	—	—
金森	46	1,663	11	238	—	—
木曽山崎	32	355	18	161	6	114
堺	38	712	11	126	10	73
合計	264	4,545	135	2,619	27	684

※子どもまつりプログラムを除く

（10）ヤングアダルトサービス

中学生から20歳くらいまでの年代を対象にしたサービスを行っています。ライトノベルや職業案内の本などが多く取揃えてあります。ヤングアダルト新刊本案内「YA通信」を毎月発行し、館内で配布するほか中学校、高等学校へも送っています。また、中央図書館のヤングアダルトコーナーには、利用者が自由に記載できる「わいわいノート」が置かれています。

（11）ホームページ上でのサービス

2015年3月の図書館システム更改にあわせて、町田市立図書館が単独で管理・運営する新ホームページを開設しました。図書館としての基本情報を利用者にわかりやすく迅速に発信していくことを目的とし、見やすさとデザイン性を重視したホームページです。利用者が知りたい情報によりアクセスしやすくなり、図書館資料の検索・予約サービスの利用も容易になりました。

【町田市立図書館ホームページURL】

<https://www.library.city.machida.tokyo.jp/>

(12) 相互利用サービス

1998年12月に相模原市と、2007年10月に八王子市と、2008年4月に府中市・調布市・日野市・多摩市・稲城市と、さらに2012年4月に川崎市との間で相互利用協定を結び、町田市民が各市の図書館を、前記各市の市民も町田市立図書館を利用できるようになりました。

なお、相互利用市の市民からの資料予約は受付けていません。

個人登録者数（相互利用市民）

2015年3月31日現在

相模原市	八王子市	府中市	調布市	日野市	多摩市	稲城市	川崎市	合計 (人)
11,561	546	29	25	45	144	53	3,167	15,570

2014年度 相互利用貸出冊数

	図書・雑誌	視聴覚資料	ハンディキャップ資料	合計（冊）
相模原市	229,938	35,963	13	265,914
八王子市	13,272	569	0	13,841
府中市	360	67	0	427
調布市	359	3	0	362
日野市	232	19	0	251
多摩市	1,111	294	0	1,405
稲城市	274	185	0	459
川崎市	48,205	2,081	0	50,286
合計	293,751	39,181	13	332,945

(13) 行事

図書館では、以下のような行事を開催しています。

○ 講演会

利用者の増加につながるよう、他団体などと連携して文化に関する講演会を開催しています。

2014年度 開催講演会一覧

講演会名	開催日	参加人数（人）
「開山・栄西禅師 800 年遠忌」（特別展「栄西と建仁寺」）	4月20日（日）	113
「バルテュス展～20世紀最後の巨匠の軌跡～」	5月17日（土）	106
「ボストン美術館華麗なるジャポニズム展」	7月12日（土）	114
「絵解き！明治の風刺まんが」	8月9日（土）	13
「10/8（水）は皆既月食を見よう！」	10月8日（水）	72
「谷中安規 1897-1946」	10月25日（土）	33

「日本国宝展のみどころ」	11月15日（土）	117
「フェルディナント・ホドラー展」	12月13日（土）	108

○ 映画会

毎週金曜日に、中央図書館6階ホールで映画を上映しています。第3金曜日は、2歳から就学前の子どもの保育付き映画会として行っています。また、通常の映画会とは別に、青少年映画会を年1回行っています。2014年7月23日に実施し、参加者は62名でした。

○ 図書館入門講座等

図書館を使い慣れていない方に、図書館の上手な利用法を知ってもらい、気軽に図書館を利用してもらえるよう、本の並べ方や利用者用検索機の使い方、館内見学を内容とした講座を実施しています。

この他、調べ物に役立つレファレンス講座や、大学図書館の利用講座（和光大学共催）なども実施しています。

○ 展示会

中央図書館のエスカレーター壁面や、4・5階にあるショーケースに、個人やグループの作品（絵画・写真・工芸品）を展示しています。展示期間は、原則2週間です。年に1度、1月頃に市広報やチラシなどで翌年度分の募集を行います。

2014年度 実施行事等一覧

行事名	回数 (回)	参加者数 (人)
講演会	8	676
映画会	48	4,607
図書館入門講座等	8	78
展示会	24	—

○ まちだとしょかん子どもまつり

2010年に開催された記念行事をきっかけに、図書館に登録している団体のうち、子どもに関わる団体を中心に呼びかけを行い「まちだとしょかん子どもまつり実行委員会」を立ち上げました。この実行委員会が企画・広報、運営を行い、毎年「まちだとしょかん子どもまつり」を開催しています。第4回目となる2014年度は、各市立図書館で行っている定例のおはなし会も子どもまつりの催しに位置づけて開催しました。

第4回まちだとしょかん子どもまつり開催実績

開催期間	延べ催し数	延べ参加者数 (人)
2015年3月25日～3月29日（5日間）	50	1,409

(14) 町田市立図書館協議会

町田市立図書館協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の主催する事業及び図書館奉仕について、審議等を行っています。

学識経験者（2人以内）、学校教育の関係者（2人以内）、社会教育の関係者（5人以内）、家庭教育の向上に資する活動を行う者（1人以内）の10人以内の委員で構成されています。

(15) 町田市子ども読書活動推進計画

町田市では、2004年12月に「町田市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動に関する総合的な施策を推進してきました。この計画の成果と課題を検討し、2010年4月からは「第二次町田市子ども読書活動推進計画（以下「第二次計画」という。）」を推進してきました。

2015年4月からは本計画の第三次計画である「第三次町田市子ども読書活動推進計画」に基づき、32の取組を行います。

計画の策定経緯

計画名	計画期間
町田市子ども読書活動推進計画	2005年4月～2010年3月
第二次町田市子ども読書活動推進計画	2010年4月～2015年3月
第三次町田市子ども読書活動推進計画	2015年4月～2020年3月

(16) 町田市子ども読書活動推進計画推進会議

町田市子ども読書活動推進計画推進会議は、「町田市子ども読書活動推進計画」を効率的に推進するため設置されている会議です。会議は市民の代表9人と、市の関係部門4課の課長、図書館長の14人で構成されており、市民と行政が一緒に委員として協議するのが特徴です。この会議では、計画の進捗状況の検証に関すること、総合調整に関すること、計画の推進に係る情報交換及び連携に関することを行っています。



町田市立図書館キャラクター「よむぽん」

5. 町田市民文学館

町田市民文学館ことばらんどは、1997 年、故遠藤周作氏の蔵書・遺品の寄贈をきっかけにおこった「町田市に文学館を」の声に応え、2006 年 10 月に開館しました。この間、小説家八木義徳氏や桜田常久氏、作詞家宮川哲夫氏の資料など、町田ゆかりの文学者の資料が次々と寄贈されました。これらの後世に伝えるべき町田の文化遺産を収集し、保存・公開を行うことを当館の大きな目的とし、市民が文学を通じて交流し、その成果を発表しあえる「市民の文学活動」の拠点となることを目指しています。

（１）施設概要

- 所在 町田市原町田 4 - 16 - 17
- 電話 739・3420
- 構造 鉄筋コンクリート、地下 2 階、地上 3 階建て
- 延床面積 2,156.27 m²



町田市民文学館

（２）施設内容

- 1 階 文学サロン、資料閲覧室、市民研究員室、印刷室
- 2 階 展示室、大会議室
- 3 階 会議室（6 室）、保育室

（３）利用案内

- 開館時間 会議室・文学サロン 午前 9 時～午後 10 時
展示室・資料閲覧室 午前 10 時～午後 5 時
(展示室入室は午後 4 時 30 分まで)
- 休館日 月曜日（休日・振替休日のときは開館）、
毎月第 2 木曜日（休日の場合は開館し、翌日休館）、
12 月 29 日～翌年 1 月 4 日、特別整理日

（４）各種機能

① 図書館機能

町田ゆかりの文学者の著作や研究書、市民著作、雑誌、文学全集、児童書、辞・事典類、全国の文学館の情報ファイルなどを文学サロン、資料閲覧室で閲覧することができます。

さらに、市立図書館の利用券を使って資料の貸出し、リクエスト制度を利用することができます。そのほか、文学資料に関する相談（レファレンスサービス）も実施しています。

※ 蔵書数、図書資料の貸出冊数、図書リクエスト件数については、【生涯学習】「4. 図書館」の統計資料を参照。

② 資料の収集・保存・展示機能

○ 収集・保存

町田ゆかりの文学者の資料を中心に、文学資料の収集・保存をしています。

○ 調査・研究

町田ゆかりの文学者の資料の調査・研究及び情報の提供を行っています。また、市民の研究活動を学芸員が支援する「市民研究員制度」があります。

○ 展覧会

町田ゆかりの文学者を取上げる展覧会を中心に、夏休み期間中の子どもたちも楽しめる展覧会を含め、年4回の展覧会とミニ展示を行っています。

2014 年度 展覧会一覧

展覧会名	会期日数	入館者数（人）
「文藝絶佳－林忠彦、齋藤康一、林義勝、タカオカ邦彦－」写真展	61	4,376
「1ねん1くみ1ばんサイコー！後藤竜二×長谷川知子」展	55	5,178
「尾辻克彦×赤瀬川原平－文学と美術の多面体」展	56	6,336
「常盤新平－遠いアメリカ」展	54	6,369
映画公開記念 三浦しをん「まほろ駅前狂騒曲」展（ミニ展示）	55	2,661



「1ねん1くみ1ばんサイコー！後藤竜二×長谷川知子」展 「尾辻克彦×赤瀬川原平－文学と美術の多面体」展

③ 学習機能

「町田の文学」の魅力を発見し、「文学のおもしろさ」や「ことばの力」に触れることができる講座、講演会、おはなし会などを開催しています。

○ 講座等

乳幼児と保護者を対象に「ちちんぷいぷい」、小学生を対象に「子ども俳句教室」、「おとなのためのおはなし会」など“ことばを楽しむ”活動を定期的に行っています。連句講座や文学講座、児童文学講座など、市民の生活を豊かにし、生きる力の糧となる講座を開催しています。また、講座終了後のサークル作りの援助も行っています。

○ 講演会

展示に関連したテーマでの講演会、ことばやさまざまな文学に関連したテーマでの講演会を開催し、“文学は面白い”のメッセージを発信します。

2014 年度実施 展示関連事業・学習事業一覧（一般対象）

※展=展覧会関連事業、学=学習事業

講演会	回数 (回)	参加者数 (人)
展 「写真家・林忠彦、父・林忠彦」	1	49
展 「文学と写真表現をめぐって」	1	52
展 「「書棚」「新・小説のふるさと」の試み」	1	22
展 「わたしが描く子どもたち」	1	61
展 「後藤竜二、あるいは、現代児童文学のうしろ姿」	1	50
展 「赤瀬川原平さんというひと」	1	75
展 「赤瀬川さんの思い出ー美学校絵・文字工房とガロの時代ー」	1	55
展 「赤瀬川さんの魅力ー猫ストーリー的視点から」	1	60
展 「ぼくらがアメリカに夢中だったころ」	1	102
展 「常盤さんの担当編集者だったころ」	1	87
学 「社会人デビュー・地域デビューに役立つことばとからだの音声学」	1	39
学 「江戸の文雅とサロン」	1	64
計	12	716

講座	回数 (回)	参加者数 (人)
展 「実践！フォトモ町田を歩く」	1	13
学 近代文学講座『吾輩は猫である』・『坊ちゃん』～読み直す名作～	7	284
学 文学講座「詩とともに半世紀、出会いと活動の日々」「若手歌人の現在」「井上井月における芭蕉の精神」	6	327
学 連句講座「連句入門講座」	5	97

学	児童文学講座「石井桃子～子ども時代の幸福感を永遠に～その1」	1	80
学	児童文学講座「石井桃子～子ども時代の幸福感を永遠に～その2」	3	192
学	実技講座「届ける声・受けとる体―声と身体 of 不思議な関係―」	4	80
計		27	1,073

イベント		回数 (回)	参加者数 (人)
展	「山田雅人「かたり」の世界」	1	60
展	映画上映会「飯沢耕太郎とみる、映画「十二人の写真家」」	1	50
展	映画上映会「利休」	1	55
展	朗読会「ドリアン助川のトーク&朗読 LIVE―常盤新平篇」	1	47
展	朗読会「耳で訪ねるニューヨーク」	1	48
展	文学散歩「常盤新平の神田界限を歩く」	1	15
展	展示解説	20	418
学	おとなのためのおはなし会	12	762
学	紙芝居・大人の時間	11	548
学	朗読会「原作で語る、もうひとつの「泣かないで」」	1	46
学	文学館まつり	1	1092
学	百人一首カルタ会	1	12
学	太筆で書く！ダイナミック書初め大会	1	13
学	ちちんぷいぷい支援隊会議	10	141
計		63	3,307



紙芝居・大人の時間



2歳児あつまれ！四季をあそぼ！

2014 年度実施 展示関連事業・学習事業一覧（子ども対象）

※展=展覧会関連事業、学=学習事業

講座	回数 (回)	参加者数 (人)
展 ワークショップ「わんぱくおもちゃ作り」	2	34
展 ワークショップ「わんぱく野外探検 in 小山田緑地」	1	15
展 ワークショップ「『1ねん1くみ』カルタを作ろう！」	1	19
展 ワークショップ「わんぱく社会科見学 in 鶴見川クリーンセンター」	1	15
展 ワークショップ「むかしあそびを体験！」	1	15
学 ちちんぷいぷい（0～1 歳児親子）	30	989
学 2 歳児あつまれ!“季節”をあそぼ!	5	230
学 2 歳児あつまれ!おはなしと絵本のへや	2	68
学 ことばであそぼう! 3・4 歳児あつまれ!	4	191
学 子ども俳句教室 春・秋（小学生）	6	71
学 町田市立成瀬台中学校社会人せんせい「絵本を描いてみたい人、あつまれ！」	2	49
学 創作講座「クレヨンでかんたんパステル画ふう暑中見舞いはがきを作ろう!」（小・中学生）	1	22
学 創作講座「子ども年賀状教室」（小・中学生）	1	19
計	57	1,737

イベント	回数 (回)	参加者数 (人)
展 1ねん1くみ1ばんサイコー! 展オープニングイベント「わんぱくあつまれ! おしゃべりおはなし会」	1	72
展 アニメ上映会「1ねん1くみシリーズ」「ディズニーの白雪姫」	2	77
展 1ねん1くみ1ばんサイコー! 展 おはなし会	6	103
学 「紙芝居の時間です」（乳幼児親子）	1	67
学 クリスマスおたのしみ会（3歳～小学生）	1	82
学 初めての人の百人一首カルタ教室（小・中学生）	1	26
学 太筆で書く! ダイナミック書初め大会（小・中学生）	1	14
学 第4回まちだとしょかん子どもまつり「春の里山ワークショップ」	1	20

学 第 4 回まちだとしょかん子どもまつり「親子で一緒にことば遊び」	1	34
学 第 4 回まちだとしょかん子どもまつり「お話と展示 カイコと町田」	1	71
計	16	566

2014 年度実施 市民研究員制度

市民研究会	回数 (回)	参加者数 (人)
五十嵐浜藻・梅夫研究会	35	185
計	35	185

④ 施設貸出機能

町田市民文学館では、文学に関する研究・創作・読書会・朗読会等を行う団体に対し、以下の施設を貸出しています。

○貸出施設概要

- ・大会議室 定員 54 名（椅子のみ 108 名）
- ・第 1 会議室 定員 12 名
- ・第 2 会議室 定員 12 名
- ・第 3 会議室 定員 6 名
- ・第 4 会議室 定員 12 名
- ・第 5 会議室 定員 12 名
- ・第 6 会議室 定員 30 名
- ・保育室 定員 12 名

○利用時間 午前 9 時～午後 10 時

2014 年度 利用実績

会議室使用回数	会議室利用者数	保育室利用回数	保育室利用者数
3,723 回	38,874 人	163 回	1,930 人

資料編



1. 歴代教育委員

(1) 教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
小菅 朴二	1958. 2. 1	1958. 3. 28
平本 精則	1958. 2. 1	1970. 3. 28
若林 順成	1958. 2. 1	1958. 3. 28
渡辺 一雄	1958. 2. 1	1966. 3. 28
井上 桂一	1958. 2. 1	1965. 3. 28
久保田 佐一	1958. 3. 29	1959. 3. 28
若林 健	1958. 3. 29	1964. 3. 28
田中 邦茂	1959. 3. 29	1971. 3. 28
鈴木 英正	1964. 3. 29	1972. 3. 28
関田 歳明	1965. 3. 29	1969. 3. 28
花形 英一	1966. 3. 29	1970. 3. 28
杉山 一人	1969. 6. 25	1973. 3. 28
木目田 至	1970. 10. 19	1982. 10. 18
前田 忠行	1970. 10. 19	1981. 3. 31
田中 邦茂	1972. 4. 1	1980. 3. 31
宮丸 郁子	1972. 4. 1	1976. 3. 31
渋谷 茂	1973. 3. 29	1981. 3. 28
坂本 孝子	1976. 4. 1	1984. 3. 31
井上 聰	1980. 4. 1	1988. 3. 31
齋藤 謹也	1981. 7. 15	1982. 10. 18
南保 正道	1981. 10. 1	1985. 9. 11
井上 直之	1982. 10. 27	1990. 10. 26
齋藤 謹也	1982. 10. 27	1998. 10. 26
五日市 恭子	1984. 4. 1	1992. 3. 31
寺田 和雄	1986. 4. 1	1989. 4. 3
川尻 泰子	1988. 4. 1	1996. 3. 31
斎藤 秀夫	1989. 4. 4	1993. 3. 31
井上 恭一	1990. 10. 27	2002. 10. 26
西村 絢子	1992. 4. 1	2000. 3. 31
米田 彰	1993. 4. 1	1998. 3. 31
小田桐 玲子	1996. 4. 1	2000. 3. 31
山田 雄三	1998. 4. 1	2010. 3. 31
江森 陽弘	1998. 10. 27	2002. 10. 26
富川 快雄	2000. 4. 1	2012. 3. 31
古舘 和江	2000. 7. 1	2002. 3. 31
名取 紀美江	2002. 4. 1	2008. 6. 30
井関 孝善	2002. 10. 28	2014. 10. 27
岡田 英子	2002. 10. 28	2014. 10. 27
高橋 圭子	2008. 7. 1	現在に至る
渋谷 友克	2010. 4. 1	2014. 3. 31
佐藤 昇	2012. 4. 1	現在に至る
坂本 修一	2014. 4. 1	現在に至る
森山 賢一	2014. 10. 28	現在に至る
八並 清子	2014. 10. 28	現在に至る

(2) 教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
平本 精則	1958. 2. 1	1970. 3. 28
田中 邦茂	1970. 10. 28	1971. 3. 28
木目田 至	1971. 7. 12	1972. 7. 11
田中 邦茂	1972. 7. 12	1978. 3. 28
木目田 至	1978. 4. 1	1982. 10. 18
井上 聰	1982. 10. 28	1985. 3. 31
齋藤 謹也	1985. 4. 1	1987. 10. 26
井上 直之	1987. 10. 27	1990. 10. 26
齋藤 謹也	1990. 10. 27	1994. 10. 26
川尻 泰子	1994. 11. 10	1995. 11. 9
井上 恭一	1995. 11. 13	1998. 10. 26
西村 絢子	1998. 11. 6	1999. 11. 5
井上 恭一	1999. 11. 6	2001. 11. 5
富川 快雄	2001. 11. 6	2011. 11. 5
岡田 英子	2011. 11. 6	2013. 3. 31
佐藤 昇	2013. 4. 1	現在に至る

(3) 教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
井上 桂一	1958. 2. 1	1965. 3. 28
関田 歳明	1965. 3. 29	1969. 3. 28
杉山 一人	1969. 6. 25	1973. 3. 28
渋谷 茂	1973. 3. 29	1981. 3. 28
南保 正道	1981. 10. 1	1985. 9. 11
寺田 和雄	1986. 4. 1	1989. 4. 3
斎藤 秀夫	1989. 4. 4	1993. 3. 31
米田 彰	1993. 4. 1	1998. 3. 31
山田 雄三	1998. 4. 1	2010. 3. 31
渋谷 友克	2010. 4. 1	2014. 3. 31
坂本 修一	2014. 4. 1	現在に至る

2. 附属機関委員

※委員構成は、すべて 2015 年 6 月 1 日現在

町田市給食問題協議会委員

氏名	区分	氏名	区分
黒 沢 志津夫	学校長	神 木 まり枝	栄養士・調理員代表
鈴 木 みどり	〃	廣 瀬 佐知子	父母代表
柳 川 誠	教職員	布 施 佐知子	〃
三 瓶 昌 信	〃	堀 田 靖 子	〃
野 村 弥 生	〃	安 岡 史 紀	保健・医療関係者
丸 山 しのぶ	〃	江 藤 不二子	〃
内 田 真由美	栄養士・調理員代表	小 峰 俊 久	労働団体の推薦する者
森 下 紀 子	〃	腰 本 ゆかり	市の職員
中 川 悟	〃		

町田市教育委員会いじめ問題対策委員会委員

氏 名	区 分	氏 名	区 分
家 田 晴 行	教 育	一 石 靖 江	福 祉
早 川 恵 子	心 理	高 橋 浩 一	法 律

町田市生涯学習審議会委員

氏名	区分	氏名	区分
宇賀神 礼 子	社会教育委員	岩 本 陽 児	生涯学習又は社会教育に関する関係機関の代表
比良田 健 一	〃	山 口 洋	〃
槻 木 珠 美	〃	安 部 徹	〃
川 田 三 郎	〃	本 橋 明 彦	〃
瓜 生 ふみ子	〃	池 野 系	〃
大 矢 真理子	〃	白 崎 好 邦	公募による市民
藺 田 碩 哉	〃	前 田 美 幸	〃
吉 田 和 夫	〃		

町田市社会教育委員

氏名	区分	氏名	区分
宇賀神 礼 子	学校教育関係者	瓜 生 ふみ子	社会教育関係者
比良田 健 一	〃	大 矢 真理子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
槻 木 珠 美	社会教育関係者	藺 田 碩 哉	学識経験者
川 田 三 郎	〃	吉 田 和 夫	〃

町田市立図書館協議会委員

氏 名	区 分	氏 名	区 分
千 田 実	学校教育関係者	多 田 美恵子	社会教育関係者
増 川 知 子	〃	鈴 木 真佐世	〃
砂 川 とき江	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	中 林 君 江	〃
久 保 礼 子	社会教育関係者	山 口 洋	学識経験者
清 水 陽 子	〃	市 村 省 二	〃

町田市文化財保護審議会委員

氏 名	区 分	氏 名	区 分
阿 部 朝 衛	考 古 学	小 島 政 孝	郷 土 史
池 上 裕 子	日本中世史・近世史	鶴 巻 孝 雄	日本近代史
内 野 秀 重	自 然 誌	浜 田 弘 明	博物館学・人文地理学
大 野 敏	建 築 史	八 木 橋 伸 浩	民 俗 学



3. 小・中学校配置図

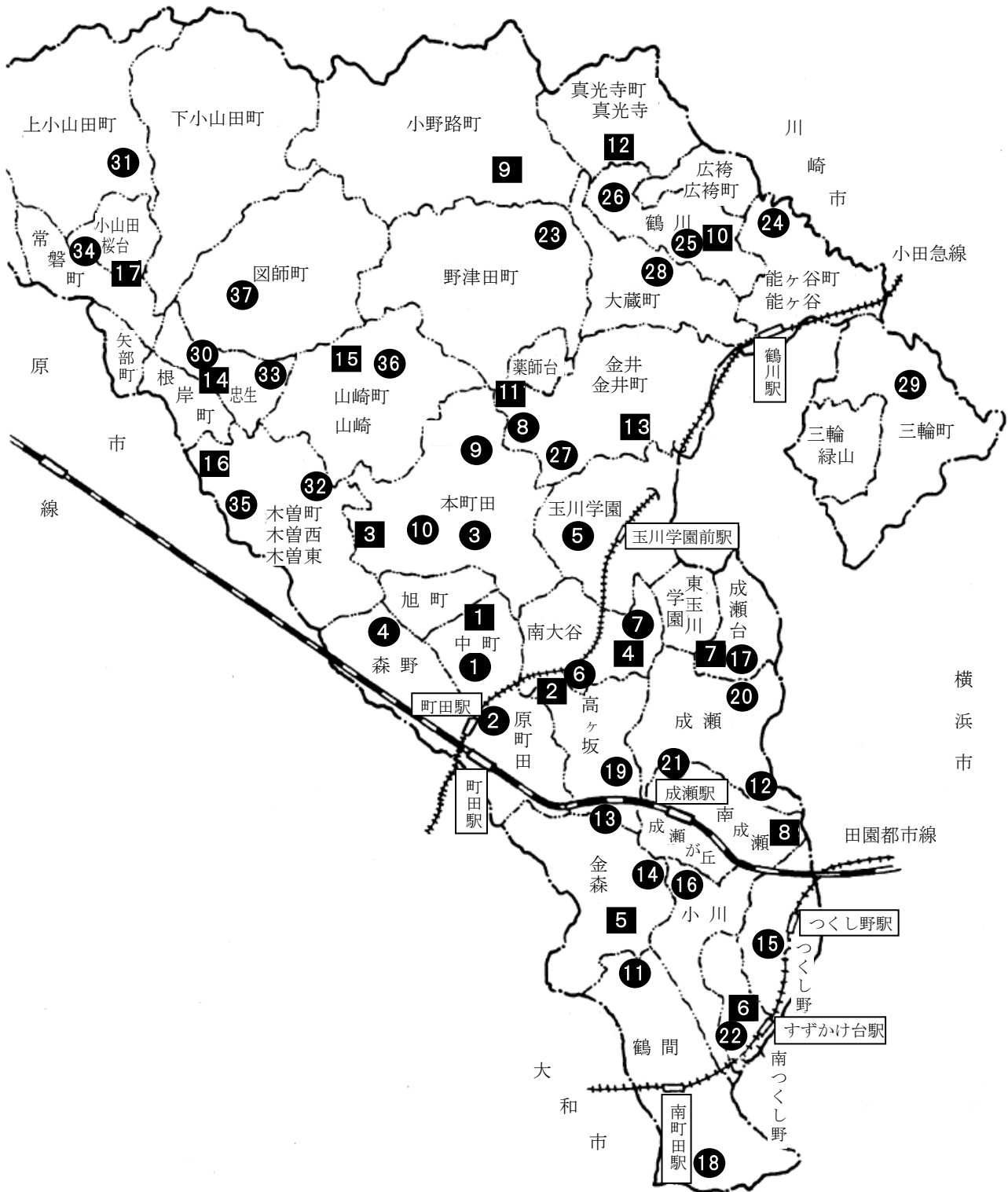


記号	小学校	記号	小学校
1	町田第一小学校	22	南つくし野小学校
2	町田第二小学校	23	鶴川第一小学校
3	町田第三小学校	24	鶴川第二小学校
4	町田第四小学校	25	鶴川第三小学校
5	町田第五小学校	26	鶴川第四小学校
6	町田第六小学校	27	金井小学校
7	南大谷小学校	28	大蔵小学校
8	藤の台小学校	29	三輪小学校
9	本町田東小学校	30	忠生小学校
10	本町田小学校	31	小山田小学校
11	南第一小学校	32	忠生第三小学校
12	南第二小学校	33	山崎小学校
13	南第三小学校	34	小山田南小学校
14	南第四小学校	35	木曽境川小学校
15	つくし野小学校	36	七国山小学校
16	小川小学校	37	図師小学校
17	成瀬台小学校	38	小山小学校
18	鶴間小学校	39	小山ヶ丘小学校
19	高ヶ坂小学校	40	小山中央小学校
20	成瀬中央小学校	41	相原小学校
21	南成瀬小学校	42	大戸小学校

記号	中学校
1	町田第一中学校
2	町田第二中学校
3	町田第三中学校
4	南大谷中学校
5	南中学校
6	つくし野中学校
7	成瀬台中学校
8	南成瀬中学校
9	鶴川中学校
10	鶴川第二中学校
11	薬師中学校
12	真光寺中学校
13	金井中学校
14	忠生中学校
15	山崎中学校
16	木曽中学校
17	小山田中学校
18	小山中学校
19	堺中学校
20	武蔵岡中学校

※2012年4月1日 大戸小学校と武蔵岡中学校が「小中一貫ゆくのき学園」として開校

多摩市

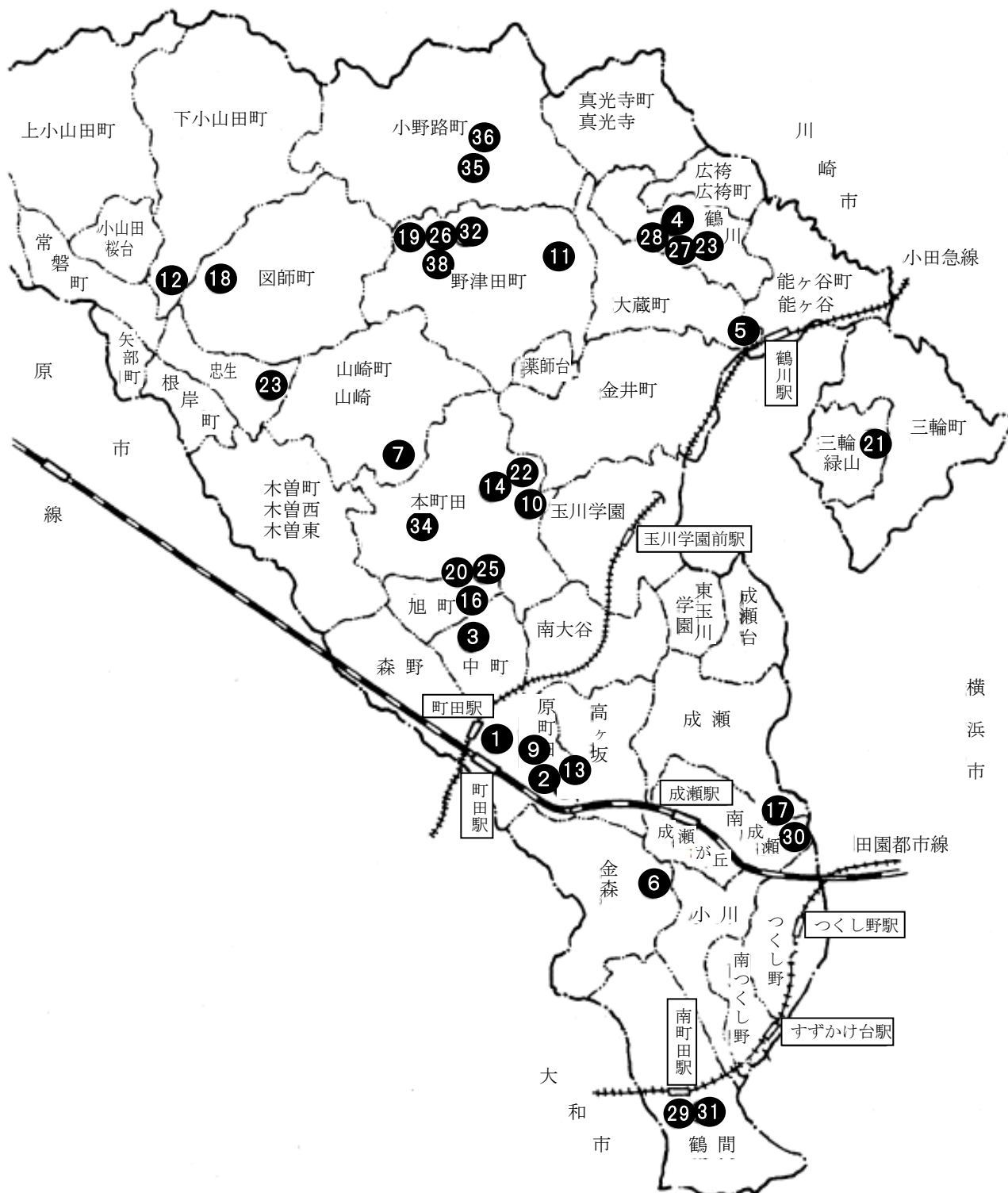


4. 社会教育施設配置図



記号	社会教育施設等	記号	社会教育施設等
①	生涯学習センター	②①	町田市民球場
②	中央図書館	②②	三輪みどり山球場
③	さるびあ図書館	②③	藤の台球場
④	鶴川図書館	②④	鶴川球場
⑤	鶴川駅前図書館	②⑤	忠生公園ソフトボール場
⑥	金森図書館	②⑥	町田中央公園テニスコート
⑦	木曾山崎図書館	②⑦	野津田公園テニスコート
⑧	堺図書館	②⑧	鶴川中央公園テニスコート
⑨	町田市民文学館ことばらんど	②⑨	鶴川第二テニスコート
⑩	市立博物館	③①	鶴間公園テニスコート
⑪	自由民権資料館	③②	成瀬クリーンセンターテニスコート
⑫	考古資料館	③③	鶴間公園運動広場
⑬	国際版画美術館	③④	上の原グラウンド
⑭	ひなた村	③⑤	相原中央グラウンド
⑮	大地沢青少年センター	③⑥	木曾山崎グラウンド
⑯	サン町田旭体育館	③⑦	小野路グラウンド
⑰	総合体育館	③⑧	小野路球場
⑱	室内プール	③⑨	相原中央テニスコート
⑲	陸上競技場	④①	野津田球場
		④②	野津田公園多目的広場

多摩市



5. 年表

明治

年	月	項目
1871 (明治 4)	2	小野郷学開校（華嚴院、万松寺、大泉寺、南仙堂を輪番隔月）
1872 (明治 5)	8	学制発布
1873 (明治 6)	3	小野郷学解体
	4～5	市域に19の小学舎開校 小野学舎（小野路）、智新学舎（野津田）、有隣学舎（上小山田）、又新学舎（下小山田）、向明学舎（図師）、励精学舎（真光寺）、育英学舎（大蔵）、研精学舎（三輪）、新民学舎（小山）、誠教学舎（小山）、開瞭学舎（鶴間）、成高学舎（成瀬）、共研学舎（金井）、昭明学舎（本町田）、真敬学舎（南大谷）、日新学舎（原町田）、誠意学舎（木曾）、孝養学舎（山崎）、相原学舎（相原）
1874 (明治 7)		この年、大戸学舎開
1875 (明治 8)	6	県の指令により小学舎を学校と改称。村立の学校は村名に改定（小野学舎が小野路学校、智新学舎が野津田学校、又新学舎が小山田学校、共研学舎が金井学校、昭明学舎が本町田学校、真敬学舎が大谷学校に改称）
1876 (明治 9)	7	小山田学校校舎新築
	8	誠敬学校が誠敬学校と改称、中村に校舎新築
1877 (明治 10)	4	大戸学校が奈良谷に移築
	7	有隣学校校舎新築
	10	金井学校校舎新築
		この年、研精学校が岡上学校と合併
1878 (明治 11)	3	成高学校が東雲寺火災により観性寺に移転
	5	橋本政直らが学習結社「責善社」を設立
	12	向明学校校舎新築
1879 (明治 12)	10	野津田学校校舎新築
1880 (明治 13)	2	研精学校から能ヶ谷学校が独立
	7	私立学校養英館が相原村に開業
		この年、細野喜代四郎・井上光治らが学習結社「琢磨会」を結成
		この年、成高学校は高ヶ坂学校が分立し、成瀬学校と改称
		この年、本町田学校が陶化学校と改称
1881 (明治 14)	1	石阪昌孝らが中心となり「武相懇親会」を開催
	11	石阪昌孝らが政治結社「融貫社」を設立
1882 (明治 15)	4	誠敬学校が小山学校と改称
	5	相原学校が中村に校舎新築（通称八丹学校）
	7	政治結社「融貫社」が学習結社「融貫社講学会」に組織変更
1883 (明治 16)	2	野津田村に文武道場「凌霄館」が設立
		この年、研精学校校舎新築
		この年、日新学校校舎が浄運寺前に新築
1887 (明治 20)	10	開瞭学校校舎が現南一小の地に新築
1889 (明治 22)	4	市制、町村制の施行により市域は5村（町田村、南村、鶴川村、忠生村、堺村）
1890 (明治 23)	3	下小山田を中心に玉南青年会が設立
1891 (明治 24)	1	小山田、高ヶ坂の青年会が結成
1892 (明治 25)	3	成瀬青年会結成
	4	鶴川村井上村長が学校の一新を図るため校名を変更。一部を統合のうえ、第一鶴川尋常小学校から第五鶴川尋常小学校の5校とする
		相原学校、新民学校等が補習科を設置
		大戸学校が大戸尋常小学校と改称
1893 (明治 26)	4	南、北、西多摩三郡を東京府へ移す
1895 (明治 28)	2	鶴川高等小学校開校
	8	向明小学校に高等小学校併置
		鶴川村教育会設立
1899 (明治 32)		この年、小川青年会結成
1900 (明治 33)	12	高ヶ坂尋常小学校設立
1901 (明治 34)	4	相原尋常小学校に高等科併設
	5	小山尋常小学校に高等科併設
		この年、南部4ヶ村教育会設立
1902 (明治 35)	3	鶴川実業補習学校が発足
1903 (明治 36)	3	日新・陶化・大谷小学校が統合されて町田尋常高等小学校となる
	5	新民学校と小山尋常高等小学校が合併
1904 (明治 37)	4	小山尋常高等小学校校舎新築
1908 (明治 41)	4	鶴川村で第一・第二・第三・第四・第五鶴川尋常小学校と鶴川高等小学校が統廃合され、鶴川尋常高等小学校となり、小野路、三輪に分教場を設置
		大戸尋常小学校と相原尋常高等小学校が合併し、大戸分教場を設置
	5	開瞭学校が南村尋常高等小学校と改称
1909 (明治 42)	6	現相原小の地に相原尋常小学校の新校舎完成

大正

年	月	項目
1912 (大正元)	9	忠生村で向明・小山田・有隣・誠意学校が統廃合され、忠生尋常高等小学校となり、小山田分教場を設置
1913 (大正 2)	9	南第一農業補習夜学校、南第二農業補習夜学校が発足
1914 (大正 3)	10	町田農業補習学校が発足 この年、図師青年会、本町田青年会が発足
1916 (大正 5)	5	堺村青年団が創立
1917 (大正 6)	1	忠生尋常小学校に忠生実業補習学校併設
1920 (大正 9)	12	南第一農業補習夜学校が南第一実業補習学校、南第二農業補習夜学校が南第二実業補習学校と改称
1922 (大正 11)	1	忠生村小山田の同人結社「紅潮社」が同人誌『紅潮』を創刊
1923 (大正 12)	3	相原尋常小学校に高等科 2 年、相原実業補習学校を併設
	9	関東大震災で相原尋常小学校校舎が大破
1924 (大正 13)	1	忠生実業補習学校が農業公民学校となる
1925 (大正 14)	10	高ヶ坂遺跡の発掘開始
1926 (大正 15)	2	高ヶ坂遺跡が国史跡に指定
	2～5	相原、南村、鶴川等各小学校併設の実業補習学校が農業公民学校と改称
	6～7	各小学校に青年訓練所を併設

昭和

年	月	項目
1927 (昭和 2)		この年、町田尋常高等小学校に青年訓練所を兼ねた町田農公民学校が併設
1929 (昭和 4)	4	玉川学園開校 私立町田女学校開校 原町田幼稚園創設
1930 (昭和 5)	5	町田高等女学校が町田女学校に併設
1932 (昭和 7)	3	町田女学校廃止
1935 (昭和 10)	10	青年学校令公布により、市域の各農業公民学校、青年訓練所が青年学校となる
1939 (昭和 14)	9	鶴川村に私立南多摩農村図書館が開設
1941 (昭和 16)	4	市域の小学校が国民学校と改称
1942 (昭和 17)	3	南村に翼賛青少年団が発会 この年、玉川学園内に興亜工業大学が開校
1943 (昭和 18)	1	南村で南多摩郡教育会第三支部教育報国挺身隊が結成 この年、南国民学校で学校給食開始
1944 (昭和 19)	8	市域の各村で品川区の鈴ヶ森、伊藤、立会国民学校の学童集団疎開を受け入れる この年、南村女子挺身隊結成
1945 (昭和 20)	3	玉川工業専門学校開校
	5	焼夷弾を受け、学童集団疎開寮の妙延寺、万松寺焼失
	9	市域の各国民学校で始業式
	10	市域の集団疎開学童の大部分が帰京
1946 (昭和 21)	5	私立桜美林学園開校 南多摩青年文化連盟発会
	9	町田図書館設置委員会設立
1947 (昭和 22)	3	南多摩郡教育研究会（町田市教育研究会の前身）創立 私立町田高等女学校が町田町に移管 市域で 6・3 制による新制中学校が設置され、男女共学による開校式（町田第一中、南中、鶴川中、忠生中、堺中）
1948 (昭和 23)	12	町田小（現町田第一小）で学校給食（みそ汁）開始
	3	町田町立町田高等女学校が東京都に移管
	4	都立町田高等学校設立
	6	南中、町田小に P T A 結成
	11	市域の教育事務は南多摩教育出張所の所管に
1949 (昭和 24)	5	町田第一中に P T A 結成
1950 (昭和 25)	5	町田町長、社会教育委員会共催で憲法記念講演会
	6	町議会の議決により町田町公民館を正式に設置
	7	堺中に P T A 結成
	10	町田少年補導協会結成
	11	第 2 回都教育委員選挙（町田町での投票率 60%） 南村が社会教育委員会を設置
1951 (昭和 26)	10	町田町社会教育委員制度発足
	11	郷土芸能「三ツ目ばやし」文部省芸術祭郷土芸能コンクールに出演
1952 (昭和 27)	4	町田第二小、町田第三小開校

1953 (昭和 28)	5	忠生第二小が独立開校 (現小山田小)
	11	市域各町村に公選制教育委員会発足
1954 (昭和 29)		町田町公民館条例施行
	8	原町田に児童館完成
1955 (昭和 30)	3	町田町役場内に図書室開設
	4	町田町と南村が合併
	10	『鶴川風土記』刊行
	4	町田第四小開校
1956 (昭和 31)	6	町田郷土研究会が「井手の沢古戦場の碑」を本町田菅原神社境内に建立
		町田第四小で完全給食開始
	2	鶴川村婦人会発足
1957 (昭和 32)	9	町田町立図書館創設
	10	市域の各町村で新教育委員会 (任命制) 発足
	4	町田第二中開校
1958 (昭和 33)	10	八木重吉詩碑完成
	2	市制施行 (町田町、鶴川村、忠生村、堺村の 1 町 3 か村が合併)
		町田市教育委員会設置
	3	町田市連合青年団発足
1959 (昭和 34)	4	南第三小開校
		町田市婦人連絡協議会結成
	10	市青少年問題協議会条例制定
		市社会教育委員設置
		市章制定
	11	第 1 回小学校音楽会 (市教委、小教研共催)
		町田市小学校 P T A (市 P 協) 発足
	4	小学校科学教育センター設置
		町田第二小に「知恵遅れ学級」開設
	8	市営プール開設
1960 (昭和 35)	1	ボーイスカウト町田第 1 団結成
	4	小学校 3 年生用社会科副読本『わたしたちの町田』創刊
	6	町田第一小玉川分校 (現町田第五小) 開校
	7	市体育指導委員設置
1961 (昭和 36)		市青少年委員設置
	12	町田市文化財保護条例制定
	3	町田市文化財専門委員会発足
	4	町田第一中に障がい学級設置
		私立鶴川高等学校開校
1962 (昭和 37)	6	市青少年対策地区委員会設置
	2	交通安全都市宣言
	4	忠生第三小が独立開校
		中学校科学教育センター設置
1963 (昭和 38)		堺中小山分教場廃止
	5	緑のおばさん通学路に立つ
	3	鶴川地区給食共同調理所開設
	4	町田第五小開校
		教育相談室開設
1964 (昭和 39)		都立町田工業高等学校開校
	5	町田市歌、町田音頭できる
	8	鶴川の遺跡発掘調査開始
	11	『忠生村誌』刊行
	4	鶴川第二小開校
		都立町田青年の家開所
1965 (昭和 40)	8	鶴川団地造成に伴う遺跡発掘調査開始 (翌年 4 月まで)
		忠生中に学校プール第 1 号が完成
	1	児童詩集『町田の子』創刊
	4	町田第六小開校
1966 (昭和 41)		市立体育館落成
	8	南地区学校プールが南中に完成
	11	第 1 回市民歩こう会
	5	青少年健全育成都市宣言
		鶴川第一小新校舎落成、移転
	8	堺地区学校プールが堺中に完成
1967 (昭和 42)		鶴川地区学校プールが鶴川第二小に完成
		愛の鐘第 1 号が市役所屋上に設置
	11	高ヶ坂石器時代遺跡復元
	3	第 1 回町田市社会教育大会開催
	4	南第三小金森分校 (現南第四小) 開校
	7	町田地区学校プールが町田第一中に完成
		本町田団地造成に伴う遺跡発掘調査開始 (翌年 4 月まで)

1968 (昭和 43)	9	鶴川第三小開校
	11	鶴川中新校舎落成、移転
	3	相原小大戸分校開校
	4	南第四小、忠生第四小、忠生第五小、町田第三中開校 市教委配属指導主事が2人制 教育委員会事務局に青少年課設置
	5	市民憲章制定 玉川学園地区が都下2番目の文教地区に指定
1969 (昭和 44)	11	小野路町に私立小島資料館開館
	4	忠生第六小開校
	5	田端遺跡保存工事完成
1970 (昭和 45)	7	学童保育クラブが市内2か所に開設
	1	市役所新庁舎オープン
	4	緑ヶ丘小、本町田東小開校
1971 (昭和 46)	10	移動図書館車「そよかぜ号」運行開始
	12	町田市学校保健会設立
	4	南第一小つくし野分校、鶴川第四小、薬師中開校 障がい者のためのスクールバスがスタート 教育委員会事務局に施設課設置 教育委員会事務局にスポーツ課設置 都立忠生高等学校開校 本町田遺跡公園開園
	7	町田第三小ほか5校にプール完成(全小・中学校に配置)
	9	移動図書館車「そよかぜ2号」スタート
1972 (昭和 47)	11	第1回町田市学校保健大会開催
	2	市立図書館鶴川分館オープン
	4	つくし野小が独立開校 日向山公園テニスコート、中央公園バレーボールコート開設
	5	市立図書館本館新築完成 D51型蒸気機関車が市立図書館本館わき(現すみれ会館横)に展示公開
	6	町田市学校給食協議会発足
1973 (昭和 48)	10	市子ども会育成会事務連絡協議会発足
		移動図書館車「そよかぜ3号」スタート
	12	町田第二中防音校舎完成
	3	市少年相談員設置
	4	本町田西小、藤の台小、鶴川第二中開校 都立町田養護学校開校 都立町田青年の家が市へ移管、青少年施設「ひなた村」としてオープン
1974 (昭和 49)	5	相原小温室プール開き
	6	町田第二小に肢体不自由児の訪問学級開級 南第一小、南第二小、小山小開校百周年
	7	移動スポーツ車スタート 青少年施設「ひなた村」が活動開始
	9	みんなの祭り「23万人の個展」
	11	郷土資料館(現市立博物館)開館
1975 (昭和 50)	2	第1回子どもマラソン大会開催
	3	旧荻野家住宅が薬師池公園に移築 『町田市史』(上巻)刊行
	4	南大谷小開校
	6	町田第一小開校百周年
		市立図書館金森分館オープン
1976 (昭和 51)	11	相原小開校百周年
	2	堺中武道館完成
	3	旧永井家住宅を薬師池公園に移築
	4	小川小、成瀬台小、南大谷中、本町田中開校 教育委員会事務局が2部制に 都立野津田高等学校開校 都立町田養護学校が野津田町に移転
	6	教育相談室に言語相談部門開設 図書館で「声の図書」貸し出し開始
1976 (昭和 51)	9	つくし野中開校
	12	『堺村誌』刊行
	2	町田第四小に「ことばの教室」開級
	3	『町田市史』(下巻)刊行
	4	忠生第七小開校 郷土資料館が「町田市立博物館」と改称 日本大学第三高等学校開校
	5	自然休暇村(長野県川上村)入村式
	7	市立図書館木曽山崎分館オープン

1977 (昭和 52)	8	桜美林高等学校が第 58 回全国高等学校野球選手権大会で優勝
	10	小山小新校舎落成、移転
	3	鶴川中の給食が中止
	4	鶴間小、原小、木曽小開校
		町田第一中に肢体不自由学級の校舎完成
		教育相談室が教育相談所と改称
		都立町田養護学校に高等部設置
		町田市文化連盟発足
	7	自然休暇村のキャビン使用開始
	8	全国選抜リトルリーグ野球大会で町田リトルリーグ優勝
1978 (昭和 53)	10	市立図書館鶴川分館が移転オープン (この年で、中学校の校舎鉄筋化率、体育館保有率、小・中学校のプール保有率 100%)
	1	旧永井家住宅が国重要文化財に指定
	4	高ヶ坂小、金井小開校
		都立成瀬高等学校開校
		学校給食に米飯給食導入
		東京女学館短大が町田に移転
	8	大地沢青少年センターが通年施設としてオープン
	10	町田市民ホールが落成
	12	町田市公民館新装オープン
	3	鶴川共同調理所廃止
1979 (昭和 54)	4	成瀬中央小、成瀬台中、山崎中開校
		学校機械警備開始
	9	少年サッカー場オープン
1980 (昭和 55)	4	南成瀬小、南つくし野小、大蔵小、山崎小、真光寺中開校
		都立小川高等学校開校
	11	小山田小新校舎完成(木造校舎解消)
		第 1 回町田市障がい学級、養護学校連合マラソン大会開催
1981 (昭和 56)	7	薬師中水泳部が都大会で優勝
	8	F C 町田が第 5 回全日本少年サッカー大会で優勝
	12	第 1 回公民館まつり
1982 (昭和 57)	4	三輪小、南成瀬中が開校
1983 (昭和 58)	2	忠生中事件起きる
	4	大戸小、木曽中、武蔵岡中開校
		都立山崎高等学校開校
	8	地域教育相談所開設
1984 (昭和 59)	9	市立図書館堺分館開館
	4	小山田南小、金井中、小山田中開校
		木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土
		法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校
		小山田遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン
1985 (昭和 60)	11	町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生
	2	忠生中が『学校再建の歩み』刊行
	8	第 1 次町田市教育交流視察訪中団
	11	民権の森に「自由民権の碑」建立
1986 (昭和 61)	12	教育研究所が原小内にオープン
	3	関東地方最古の仏像が東雲寺で発見
	8	第 2 次町田市教育交流視察訪中団
	10	塩川文相が忠生中視察
1987 (昭和 62)	11	町田市立自由民権資料館オープン
	4	町田市立国際版画美術館オープン
	6	市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足
1988 (昭和 63)	5	ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン
	8	町田市中学生中国訪問団
	12	『町田市教育史』(上巻)刊行

平成

年	月	項目
1989（平成元）	7	自然休暇村本館オープン 教育広報『まちだの教育』創刊 教育委員会事務局が森野分庁舎へ移転
	8	忠生第五小で余裕教室を一般開放
	9	忠生少年野球場オープン 第1回町田薪能
	10	市立室内プールオープン
1990（平成2）	1	自然休暇村に大型望遠鏡設置
	3	『町田市教育史』（下巻）刊行 室内プール入場者10万人
	4	国際版画美術館にハイビジョンギャラリー
	10	市立陸上競技場オープン 市立総合体育館オープン
	11	市立中央図書館オープン
	12	町田市市民大学構想検討委員会が答申
1991（平成3）	6	大地沢青少年センター本館オープン
	7	国際版画美術館に110インチのハイビジョン
	8	室内プール利用者が100万人を突破
	11	町田市公民館が文部大臣表彰
1992（平成4）	3	本町田遺跡、西谷戸横穴墓群が東京都指定史跡に 『町田市教育史』（資料編）刊行
	7	市立図書館全館がオンライン化
	8	ニュージーランドへ第1回中学生海外派遣団
	9	町田第一中体育館・温水プール落成
	11	子ども議会が開会（小学6年生）
1993（平成5）	1	ニュージーランドの中学生来訪
	6	まちだ市民大学H A T Sが開校
	7	ひなた村新装オープン
	9	忠生中体育館・プール落成
1994（平成6）	2	町田第四小内にまちだ市民大学の活動拠点が完成
	7	「町田市余裕教室活用計画案策定委員会」報告書まとまる
	10	青少年課発足
	11	市立小・中学校の余裕教室の活用による高齢者福祉施設設置事業において、町田市がパイロット自治体に指定 鶴間小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞
1995（平成7）	1	大地沢青少年センターにて町田市のジュニアリーダーと韓国の青少年が国際交流
	4	学校週5日制を月2回実施（毎月第4土曜日）
1996（平成8）	3	鶴川第二小が東京都学校給食優良学校として表彰される 町田市子どもセンター建設計画検討委員会が答申
	5	青少年健全育成都市宣言30周年記念事業スタート 子ども憲章実行委員会が子どもたちの手による「子ども憲章」を発表
	8	堺中女子バスケットボール部が全国大会優勝 成瀬台中女子バドミントン部、ダブルスで全国大会準優勝
	11	自由民権資料館新装オープン
1997（平成9）	6	南中学ラグビー部が関東大会で優勝
	10	鶴川第二小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞
1998（平成10）	4	つくし野小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「つくし野デイサービスセンター」が開所
	12	町田市立学校適正規模適正配置等審議会が答申 相模原市と図書館の相互利用開始
1999（平成11）	3	南中体育館・温水プール落成
	4	鶴川第四小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「デイサービス鶴川」が開所
	5	「町田市子どもセンター“ばあん”」がオープン
2000（平成12）	1	「南大谷子どもクラブ」がオープン
	4	教育部が学校教育部に、文化部が生涯学習部に名称変更 市教委配属指導主事が4人制
	7	金森図書館が移転新築オープン
2001（平成13）	3	『わたしとわたしたち一人権と民権を考えるー』刊行
	4	忠生第四小と木曽小を統合、「木曽境川小学校」が開校 サン町田旭体育館オープン
	8	日本大学第三高等学校が第83回全国高等学校野球選手権大会で優勝
	10	子ども議会が開会（中学生）
2002（平成14）	1	新しい成人式「二十祭まちだ」を開催 鶴川中新校舎、体育館、温水プール落成
	4	鶴川中が新校舎に移転 木曽境川小が本校舎に移転

2003 (平成 15)		本町田西小、緑ヶ丘小、原小を統合、「本町田小学校」が開校 教育研究所が旧忠生第四小に移転 学校週 5 日制が完全実施 小・中学校全校に「学校運営協議会」設置 市民大学 H A T S が森野分庁舎に移転 子どもセンター“ばあん”来館者 20 万人
	5	学生教育ボランティア制度開始
	10	まちだ中央公民館（町田センタービル 6 階～8 階）オープン 町田第一小体育館、プール、増築校舎完成
	3	「町田市立小・中学校選択制度検討委員会」報告書答申
	4	本町田小が本校舎に移転 教育センターに小学校適応指導教室を開設
2004 (平成 16)		忠生第五小・忠生第六小・忠生第七小を統合、「七国山小学校」が開校 小・中学校全校に「主幹」職の教員配置される 青少年課・学務課一部業務（私立幼稚園等保護者補助金等）を子ども生活部（子ども総務課・児童青少年課）へ組織移管替え 指導課事務見直しに伴い 4 係（事務・指導・教職員・就学相談）が 3 係（管理・教職員・就学相談）制に
	7	小山ヶ丘小学校建設に着工
	3	「町田市立中学校給食実施計画」履行を答申
	4	七国山小が本校舎に移転（学校適正規模適正配置事業に伴う小学校 3 校統合終了） 「町田市立小・中学校選択制度」開始 指導課教育センター係発足（旧教育研究所と旧教育相談所組織を改組） 教育センターに指導主事（市費負担）を新たに 1 人配属
	6	町田市教育センター改装オープン
2005 (平成 17)	7	町田市立文学館着工
	4	「小山ヶ丘小学校」が開校 小・中学校全校で「教頭」から「副校長」に名称変更 小・中学 1 年生の「生活指導補助者」91 名を 31 校に派遣 成瀬台小に「通級指導情緒障がい学級」を開設 小・中学校「授業力」向上プログラム～9 年目までの全教職員対象 『発掘された町田の遺跡』全面改訂（前回 1977 年発行以来） 教育総務課の 3 係（総務・経理・企画調整）を新たに 3 係（総務・事務・学校環境整備）に再編 上の原グラウンドオープン 相原中央グラウンドオープン
	9	中学校給食を弁当併用外注方式により 4 校（忠生中・小山田中・堺中・武蔵丘中）で開始 中学校 2 年生職場体験授業を実施
	1	小・中学校に学校サポーター導入
	3	小・中学校と教育センターを結ぶ学校ネットワークを整備 インターネットでオーストラリアの小学生と国際交流
2006 (平成 18)	4	体育施設及び自然休暇村の管理、運営を指定管理者へ移行 田端環状積石遺構を復元 小野路球場・グラウンドオープン 木曽山崎グラウンドオープン 相原中央テニスコートオープン
	5	中学校給食 4 校で追加実施（南中・つくし野中・成瀬台中・南成瀬中）
	10	町田市民文学館ことばらんどオープン
	4	組織改正により、施設課の一部業務を営繕課へ移管 特別支援教育開始 学校支援ボランティア開始
	5	中学校給食 4 校で追加実施（鶴川中・真光寺中・薬師中・鶴川第二中）
2007 (平成 19)	6	e ラーニング実施
	8	野津田球場オープン
	10	八王子市と図書館の相互利用開始
	12	図師小学校建設に着工 『武相自由民権史料集』（全 6 巻）刊行
	3	堺中学校体育館・プール改築・増築校舎完成
2008 (平成 20)	4	組織改正により、スポーツ課・博物館・国際版画美術館を文化スポーツ振興部へ、ひなた村・大地沢青少年センターを子ども生活部へ移管 組織改正により、社会教育課を生涯学習課に名称変更し、一部業務を文化振興課に移管 学校環境整備係（教育総務課）を学校施設管理センター（施設課）へ所管替え 都立町田養護学校の学校名称が「都立町田の丘学園」に変更 小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」が開始 京王沿線七市の図書館の相互利用開始
	5	中学校給食 3 校で追加実施（町田第一中・町田第三中・南大谷中）
	6	中学校給食 1 校で追加実施（町田第二中）
		さるびあ図書館を基点に学校図書館支援貸出事業スタート
	8	「町田市の教育に関する市民意識調査」実施

2009（平成 21）	10	「町田市学校支援実行委員会」設立
	11	小山中央小学校建設に着工
	2	町田市教育プランを策定
		町田市民文学館来館者 10 万人
	3	『町田市立小・中学校校歌集』発行
2010（平成 22）	4	保健給食課を新設し、学務課の一部業務を移管
		「図師小学校」が開校
	5	中学校給食 4 校で追加実施（本町田中・金井中・山崎中・木曽中）し、全中学校で給食を実施
	6	モデル校に学校支援地域理事を設置。その学校を「スクールボード校」としてスタート
	3	第 1 回中学生「東京駅伝」大会において男女とも優勝
2011（平成 23）	4	「小山中央小学校」が開校
	9	忠生センター、小山市民センター、南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡しサービスを開始
	10	小山中学校建設に着工
	11	「フェスタぶらりライブラリー in まちだ」開催（中央図書館）
	3	本町田中学校開校
2012（平成 24）	8	日本大学第三高等学校が第 93 回全国高等学校野球選手権大会で優勝
		中学校普通教室のエアコン設置
	9	忠生第一小学校が忠生小学校に名称変更
	10	鶴川二中合唱団が「第 78 回 NHK 全国学校音楽コンクール全国大会」で優良賞、「第 64 回全日本合唱コンクール全国大会中学校部門（混声合唱の部）」で金賞受賞
	11	「2011 年度町田市子ども教育委員会」を開催
2013（平成 25）	4	大戸小学校と武蔵岡中学校が「小中一貫ゆくのき学園」として開校
		「小山中学校」が開校
		生涯学習センターオープン
		川崎市と図書館の相互利用開始
	7	市役所移転
2014（平成 26）	10	鶴川駅前の複合型文化施設「町田市文化施設和光大学ポプリホール鶴川」内に、鶴川駅前図書館がオープン
	3	鶴川二中合唱団が「こども音楽コンクール中学校合唱部門」で文部科学大臣奨励賞受賞
		第 4 回中学生「東京駅伝」大会において男女総合優勝
	4	組織改正により、教育センターが指導課から独立し課相当となる
	6	教育センターに中学校適応指導教室を開設
2015（平成 27）		教育センターに「まちだ JUKU」を開設
		図書館事業計画策定
	7	町田市文化財総合活用プランを策定
	2	町田市教育プラン（改定版）を策定
	3	町田市生涯学習推進計画を策定
	4	小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」が「規範教育」、「キャリア教育」、「食育」の 3 領域になる
		教育総務課の 2 係（総務・事務）を新たに 2 係（総務・学校運営支援）に再編
		成瀬中央小学校に「言語障がい学級」を開設
	9	小・中学校給食費を改定
		町田市いじめ防止基本方針策定
	10	鶴川第一小学校校舎改築工事着工式を実施
		NHK 全国学校音楽コンクール中学校の部で鶴川第二中学校が金賞受賞
	3	図書館情報システムリニューアル
	4	教育総務課の車両担当が、財務部管財課車両管理係に統合
		町田市教育委員会いじめ問題対策委員会及び町田市いじめ問題調査委員会条例を制定
		小学校給食の調理業務委託を開始（初年度は、町田第三小・町田第六小・南第四小・鶴川第四小・小山田小・木曽境川小の 6 校）
		町田市文化財保護条例を改正し、登録文化財制度を導入
	5	忠生市民センター内に、忠生図書館がオープン
		町田市学力向上推進プラン、家庭学習の手引き作成
		町田市学力向上推進フォーラムを開催
		町田市特別支援教育推進計画策定
		学校施設管理センターが忠生第六小跡地へ移転

6. 町田市子ども憲章

みんな自分に素直に生き、
そしてお互いを認め合うそんな社会へ…

それは、みんながそれぞれの生き方を追うことができるということ。
そして、他の誰とも違うかけがえのないわたしが、
まわりのすべてのものとともに、生きるということ。

人間尊重社会の実現

すべての人には平等な権利がある。でも、自分勝手に行動するだけはいけない。
——相手の立場になって気持ちを理解し、お互いを認め合える社会をつくっていきます。

自主性の確立

「自分から」。それがいちばん大切なこと。人にやってもらうばかりではだめなんだ。
いつも楽しくなるよう
——自分の道は自分で切り開いていきます。

個性の尊重

人はみんな一人ひとり違う。みんなと違っててもこわくない。当たり前のことなんだ。
だから、
——それぞれが持っている自分らしさを大切にします。

命の大切さ

いのちがあるのは人間だけではない。動物にも植物にもいのちがある。だから、
——みんなで助け合って生きていきます。

学ぶ心の大切さ

経験から学ぶことは、自分の可能性を広げる。むだなことなんてない。だから、
——ものごとに前向きに取り組んでいきます。

友情の大切さ

世界中のどんな人でも、友だちはかけがえのないもの。いつも気持ちがわかり合える、
そんな仲間。だから、
——仲間を大切に続けます。

夢を追う気持ち

現実にとらわれなくともいい。わずかな可能性でも、
——自分の夢をもち続けます。

7. 問い合わせ先



学校教育部

教育総務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2172
施設課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2174
学校施設管理センター	山崎町 1298-1	042-791-6101
学務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2176
保健給食課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2177
指導課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2154
教育センター	木曽東 3-1-3	042-793-2481

生涯学習部

生涯学習総務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2181
生涯学習センター	原町田 6-8-1	042-728-0071
図書館 (中央図書館)	原町田 3-2-9	042-728-8220
町田市民文学館	原町田 4-16-17	042-739-3420



町田の教育 2015

発行 2015 年（平成 27 年）12 月
編集・発行 町 田 市 教 育 委 員 会
学校教育部 教育総務課
町 田 市 森 野 2-2-22
電話 042・724・2172

刊行物番号

1 5 - 5 3

[庁内印刷]